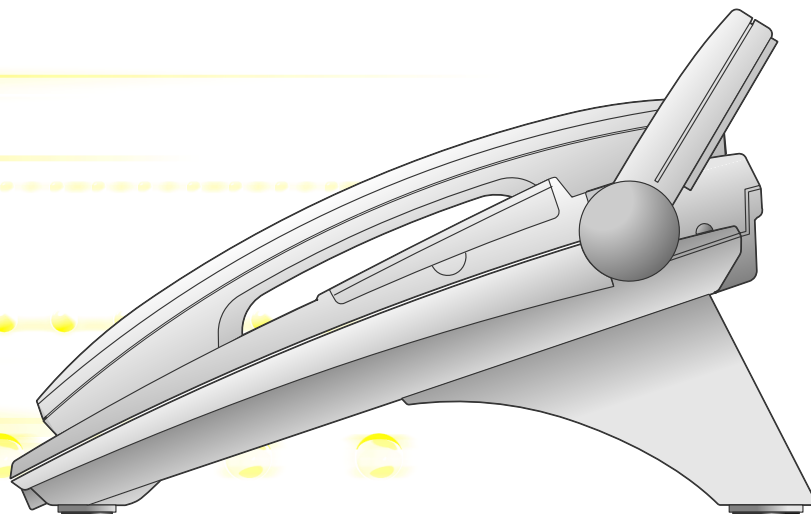


マルチアクセスステーション

SOABLE

ソアブル

取扱説明書



このたびは、マルチアクセスステーションSOABLE（ソアブル）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、お読みになったあとも本商品のそばなど、いつも手もとに置いてお使いください。

IWATSU

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
I-SDN

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に




安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本商品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。

⚠ 警告

●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●主装置から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

●主装置や電話機などをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

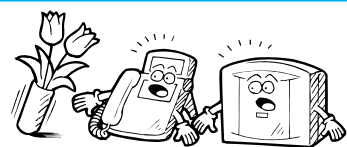
●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●万一、主装置内部に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●主装置や電話機などを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください(分解、改造された主装置や電話機などは修理に応じられない場合があります)。



●主装置や電話機などのそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



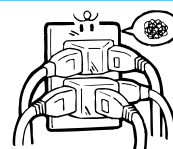
●ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●主装置からの電源コードおよび電話機までの配線を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電話機までの配線が傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



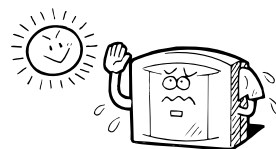
安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

- お客さまによる主装置の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。主装置の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 主装置の電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

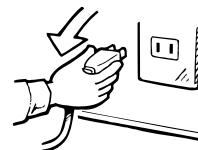
⚠ 注意

- 主装置は直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 主装置や電話機などを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置などはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置などの上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 電話機を壁掛用に取り付ける場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- 電話機底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと主装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・主装置を収納棚や本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・主装置にテーブルクロスなどをかける。

⚠ 注意

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 万一、電話機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電話機を電話機コードから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをしておそれがあります。

お願い

- 主装置や電話機などをめれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。
 - 他の内線電話機は使えません。
 - ドアホンは使えません。
- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
 - 製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
 - 塵・ほこり・鉄粉・有害ガスなどが発生する場所。
- 電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。
- 電話機は平らな面に置いてお使いください。

目次

安全にお使いいただくために
必ずお読みください……………2

1. ご利用いただく前に

システムの構成……………9
特長……………10
各部の名称……………12
ランプ表示……………13

2. 多機能電話機

外へ電話をかけるとき……………14
受話器を取ってかけるとき……………14
受話器を置いたままかけるとき……………14
ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき……………14
最後に電話した相手に再びかけ直すとき……………15
短縮ダイヤルを利用するとき……………16
相手先の電話番号の登録方法……………16
外線グループ番号も含めた登録……………16
相手先名の登録方法……………17
登録を変更するとき……………17
かける方法……………18
相手先を確認してからかけるとき……………18
応答しない相手に何度もかけ直すとき……………19
オートリピートダイヤルの解除方法……………19
外からの電話を受けるとき……………20
内部の人を呼び出すとき……………20
音または声による呼び出し……………20
ダイヤル途中で内線番号をかけ直すとき……………21
呼び出したい部署の空いている電話機を
呼び出すとき……………22
相手が通話中か応答がなく
続けて別の内線を呼び出すとき……………22
内部からの呼び出しを受けるとき……………23
受話器を取り上げて応答するとき……………23
受話器を置いたまま応答するとき……………23
お待ちいただくとき・再びお話しするとき……………24
外線の保留・再びお話しするとき……………24
内線の保留・再びお話しするとき……………24
保留した外線を他の人が
受けないようにするとき……………25
外線キーを選択せずに
自動的に応答する方法……………25
通話を他の人に回すとき……………26
近くの人に声をかけて回すとき……………26
特定の内線電話機に回すとき……………26

〔機能〕 ボタンの使い方……………27
多機能電話機のさらに便利な使い方……………27
フレキシブルキーアサイン……………28
フレキシブルキーの機能内容を確認するとき……………28
設定可能な機能一覧……………28
プリセットダイヤル……………30
個別パーク保留・応答……………31
個別パーク保留するとき……………31
再び通話するとき……………31
他の電話機から「リモート応答操作」で
再び通話するとき……………32
個別パーク保留で通話相手を切り替えるとき……………32
グループパーク保留・応答……………33
グループパーク保留を行うとき……………33
再び通話するとき……………33
他の電話機から「リモート応答操作」で
再び通話するとき……………33
クイックオペレーション……………34
話中着信……………34
ドント・ディスターブ……………35
設定方法……………35
解除方法……………35
通話モニタ……………36
秘話／秘話解除……………36
秘話解除／秘話再設定……………36
外線会議通話……………37
「転送」キーと「会議」キーによる方法……………37
「保留」ボタンと「秘話解除」キーによる方法……………37
複数外線会議通話……………38
外線を会議通話に参加させるとき……………38
特定の外線を会議通話から解除するとき……………38
外線間会議通話……………39
バージ・イン……………39
内線会議通話……………40
「転送」キーと「会議」キーによる方法……………40
「保留」ボタンと「秘話解除」キーによる方法……………40
プリセクション……………41
空外線自動捕捉……………42
外線着信自動応答……………42
セーブナンバリダイヤル……………43
電話番号を記憶させるとき……………43
記憶させた電話番号にかけるとき……………43
メモダイヤル……………44
電話番号を記憶させるとき……………44
記憶させた電話番号にかけるとき……………44
ダイヤルリバース……………45
LCR発信……………45
外線自動発信……………46

外線着信信号識別／外線別着信音色指定	46
外線着信グループ応答	46
着信代理応答	47
電話機パスワード	48
外線の発信規制	48
発信規制の解除方法	48
空内線自動捕捉	49
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ ページング呼び出し	49
ミーティング・ミー応答	50
内線ホットライン	50
内線コールバック	51
設定方法	51
呼び返しがきたら	51
解除方法	51
オーバーライド	52
内線ハンズフリー応答	52
不在転送／話中転送／未応答転送	53
転送機能のON／OFF	53
転送先の登録方法	53
転送モードの切り替え方法	53
登録内容の取り消し方法	54
別の電話機から転送先を変更する方法	54
内線キャンプオン	55
リレーコントロール	55
タイムコール	56
時刻の設定方法	56
登録時刻の解除方法	56
メッセージウェイト	57
メッセージウェイトの設定方法	57
メッセージウェイトの解除方法	57
連絡を待っている相手の呼び出し	57
不在メッセージ	58
不在メッセージの登録方法	58
不在メッセージの消去方法	58
ドアホン接続	59
キータッチトーン	59
電子ボリューム	59
ヘッドセット接続	60
保留した外線を特定内線に自動転送する方法	60
通話中の外線または内線を切るとき	60
秘書応答	61
他の内線電話機への着信に応答する場合	61
設定された他の内線電話機の呼び出し	61
秘書応答着信音のモードの変更	61
内線サービスクラス切り替え	62
指定されている2つのサービスクラスの 切り替え方法	62

時刻調整	63
時刻の設定方法	63
時刻の微調整方法	63
保留音切り替え	64
LCD表示切り替え	64
ディスプレイ表示の主な例	65
カレンダー・時刻表示	65
ダイヤルモニタ	65
内線相手番号表示	65
通話時間・料金表示	66
電話機番号表示	66
通話料金集計表示	67
通話料金使用率表示	68
通話料金集計	69
不在メッセージ表示	70
ナンバーディスプレイ表示	70
ナンバーディスプレイを利用するとき	71
相手先の電話番号の登録方法	71
相手先名の登録方法	71
多機能電話機の音について	72
多機能電話機の受話器で聞こえる音	72
多機能電話機で鳴る音	73

3. 単独電話機

基本的な使い方	75
電話がかかってきたとき	75
内部の人を呼び出すとき	75
外へ電話をかけるとき	76
電話を内部の人に回すとき	76
機能特番の使い方	77
機能特番をダイヤルするとき	77

4. ISDN

基本サービス	78
「INSネット64」で電話をかけるとき	78
呼び返し発信	79
「INSネット64」で電話を受けるとき	79
ISDN機器の接続	80
付加サービス	80
着信転送	81
着信転送動作を登録するとき	81
着信転送動作を解除するとき	81
通話中転送	82
三者通話	82

目次

INSボイスワープ	83
INSボイスワープ開始操作	83
INSボイスワープ停止操作	83
INSボイスワープ転送先電話番号の登録操作	84
INSボイスワープ確認操作	84

5. システムコントローラ

システムに関する概要	85
このシステムで使用できる回線	85
システムのデータ設定に関して	85
外線に関する機能	85
市外発信クラス切り替え・市外発信規制	85
外線グループ分け	85
システムにおける機能	86
夜間切り替え・分散切り替え	86
夜間切り替え方法	86
分散切り替え方法	86
プライムステーション	87
外線着信鳴音指定・外線代表着信	
スライド着信	87
外線応答規制	88
転送電話	88
転送先の登録方法	88
転送先電話番号の確認方法	89
転送電話の取り消し方法	89
NTTダイヤルイン	89
着番号毎転送	90
転送先の登録方法	90
転送先電話番号の確認方法	90
転送先電話番号の取り消し方法	91
転送の一時解除方法	91
転送の開始方法	91
外出先から転送先変更・登録変更	92
外出先から転送先の取り消し方法	92
外出先から転送の一時解除方法	92
外出先から転送の開始方法	93
i・ナンバー	93
固定不在転送	93
内線に関する機能	94
フレキシブルナンバリングプラン	94
内線テナント	94
内線通話規制	94
通話料金に関する機能	94
通話明細プリントアウト	94
課金装置接続	94
予算オーバー発信規制	94
専用線に関する機能	95

対磁石専用線アダプタ方式	95
TLAD接続	95
その他の機能に関して	95
着信鳴音優先順位	95
内部保留音	96
外部保留音	96
BGM	96
多機能電話機のスピーカの場合	96
外部スピーカで音楽を流す場合	96
ハウラ音送出	96
停電のとき	97
アナログ回線用	97
ISDN回線用	97

6. ご参考に

故障！とお考えになる前に	98
アフターサービスについて	99

システムの構成

◆ SO-3000主装置



◆ 多機能電話機



◆ デジタルコードレス子機



◆ SLTコンセント



◆ PC-KTアダプタ



◆ デジタルコードレス接続装置



◆ デジタルドアホン



◆ 局線表示箱



1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
ISDN

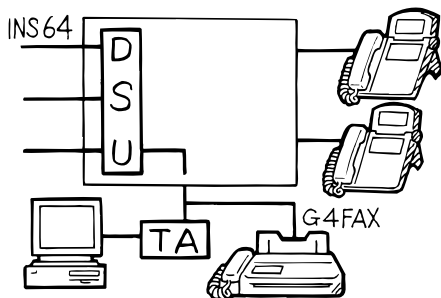
5
システムコントローラ

6
ご参考に

特長

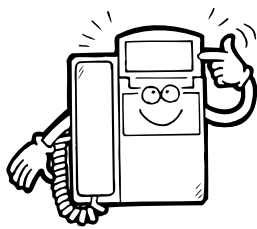
1. ISDN回線収容

- INSネット64を最大3回線まで収容できます。INSネット64、1回線はアナログ2回線より安く、コストダウンにもつながります。さらにDSUが内蔵されていますので、NTTから買い取ったりレンタルする必要がありません。
- INSネット64の増設ユニットにS/T点を搭載していますのでG4FAXやインターネットに適しています。



2. 見やすい可動式大型ディスプレイ (多機能電話機)

- 現在の時刻、通話料金や通話料金集計など大型液晶ディスプレイに見やすくわかりやすく表示します。



3. 便利なマルチラインコードレスホン (mujo II/mujo III/コードレスキー テレホン)

- 通常のビジネスホン感覚で、外線状態を2色ランプ表示で保留、転送もらくらくできます。
- 移動自由でレイアウトフリー、工事費も大幅に節約できます。
- 社外では、そのままPHSとして使えます（別途PHS事業者との契約が必要です。また、コードレスキーテレホンは公衆登録できません）。



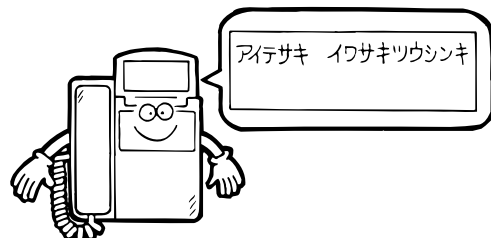
4. モバイル/コンピューティングもOK

- PHS網を利用して、32Kbpsデータ通信ができます。〈PIAFS準拠〉
- オフィスを離れても、インターネットや社内LANにアクセス可能。資料作成などの業務ができビジネスチャンスを逃しません。



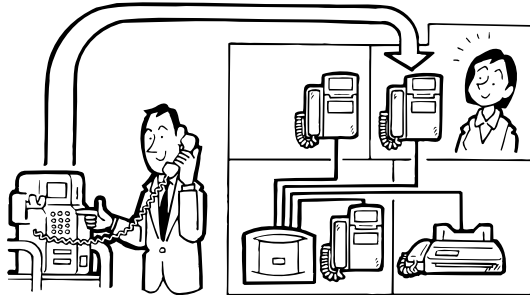
5. ナンバーディスプレイ対応

- 受話器を取る前にかかってきた相手の電話番号や相手の名前がディスプレイに表示されます。



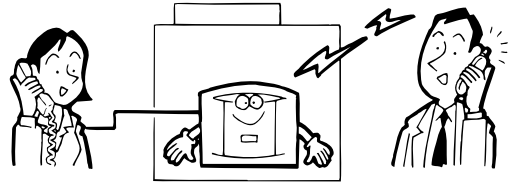
6. ダイヤルインサービス対応

- 個々の電話機やFAX専用番号が登録できます。



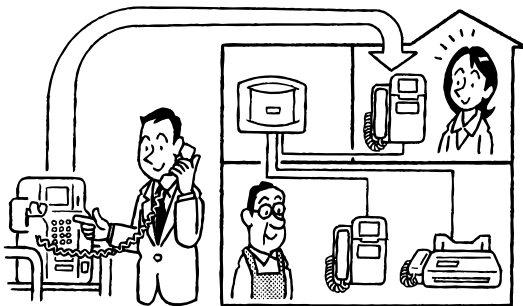
9. 外線転送機能

- かかってきた電話を外出先に転送できます。また、あらかじめ転送先を登録すれば自動転送もできます。



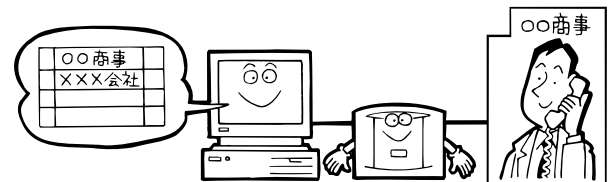
7. i・ナンバーサービス対応

- ISDN回線1本で最大3つの電話番号を持つサービスに対応しています。自宅・店舗・FAXなど手軽に専用の番号を利用できます。



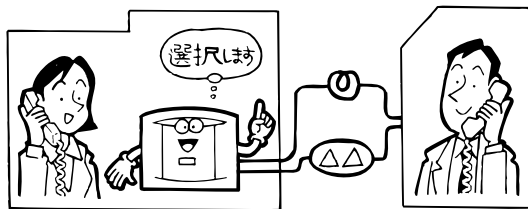
10. PC-KTアダプタ接続で、**オプション** CTIが構築できます

- データベースと連携したCTI (Computer Telephone Integration) は、オフィスの業務処理を大幅に効率化します。
- PC-KTアダプタとパソコンを接続すれば、パソコンが電話として使えます。
- ナンバーディスプレイとの組み合わせで、顧客管理もできます。

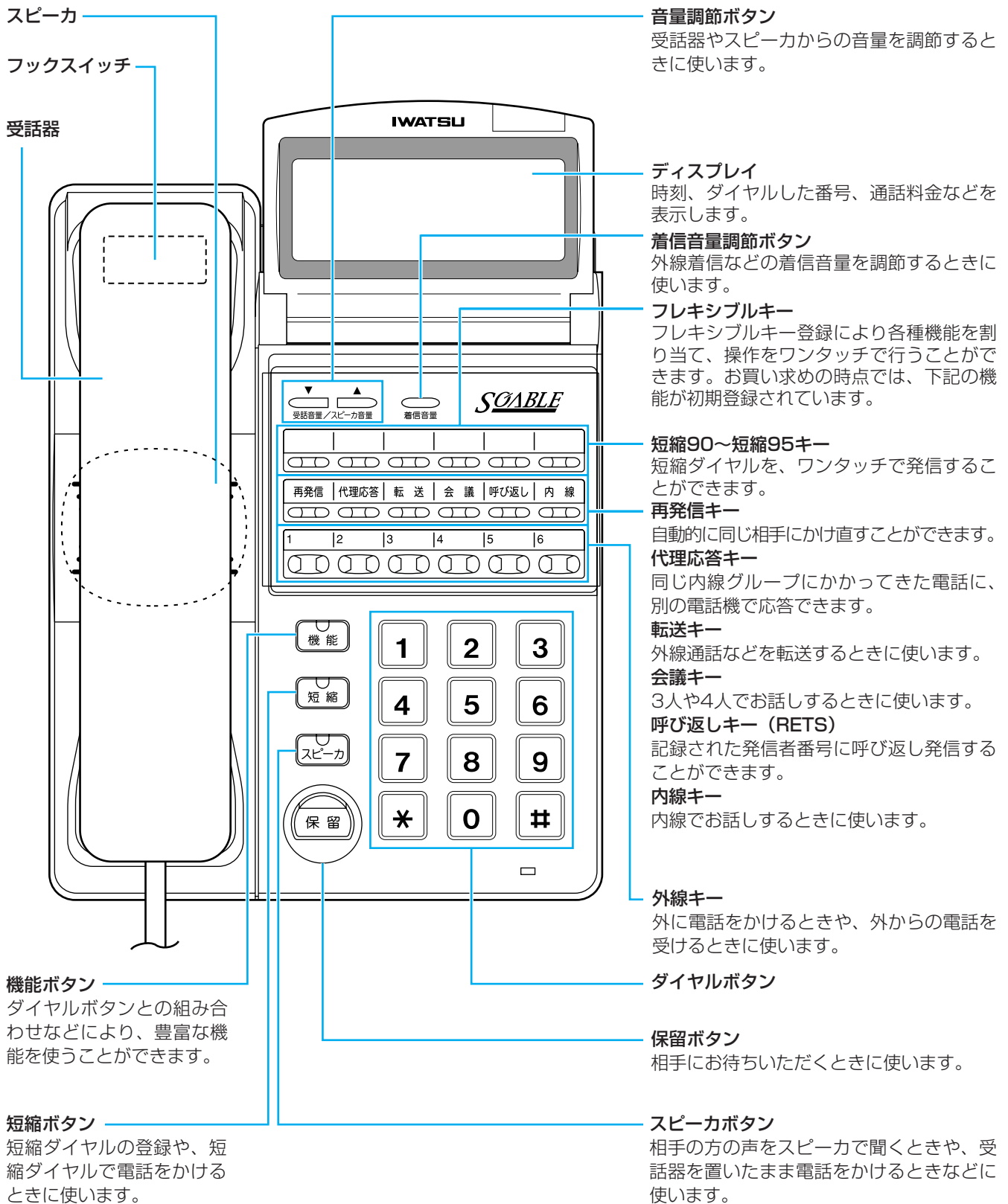


8. LCR (回線自動選択) 機能 **オプション**

- 回線事業者を選択して電話することができます。



各部の名称



機能ボタン
ダイヤルボタンとの組み合わせなどにより、豊富な機能を使うことができます。

短縮ボタン
短縮ダイヤルの登録や、短縮ダイヤルで電話をかけるときに使います。

音量調節ボタン
受話器やスピーカからの音量を調節するときに使います。

ディスプレイ
時刻、ダイヤルした番号、通話料金などを表示します。

着信音量調節ボタン
外線着信などの着信音量を調節するときに使います。

フレキシブルキー
フレキシブルキー登録により各種機能を割り当て、操作をワンタッチで行うことができます。お買い求めの時点では、下記の機能が初期登録されています。

短縮90~短縮95キー
短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信することができます。

再発信キー
自動的に同じ相手にかけ直すことができます。

代理応答キー
同じ内線グループにかかってきた電話に、別の電話機で応答できます。

転送キー
外線通話などを転送するときに使います。

会議キー
3人や4人でお話しするときに使います。

呼び返しキー (RETS)
記録された発信者番号に呼び返し発信することができます。

内線キー
内線でお話しするときに使います。

外線キー
外に電話をかけるときや、外からの電話を受けるときに使います。

ダイヤルボタン

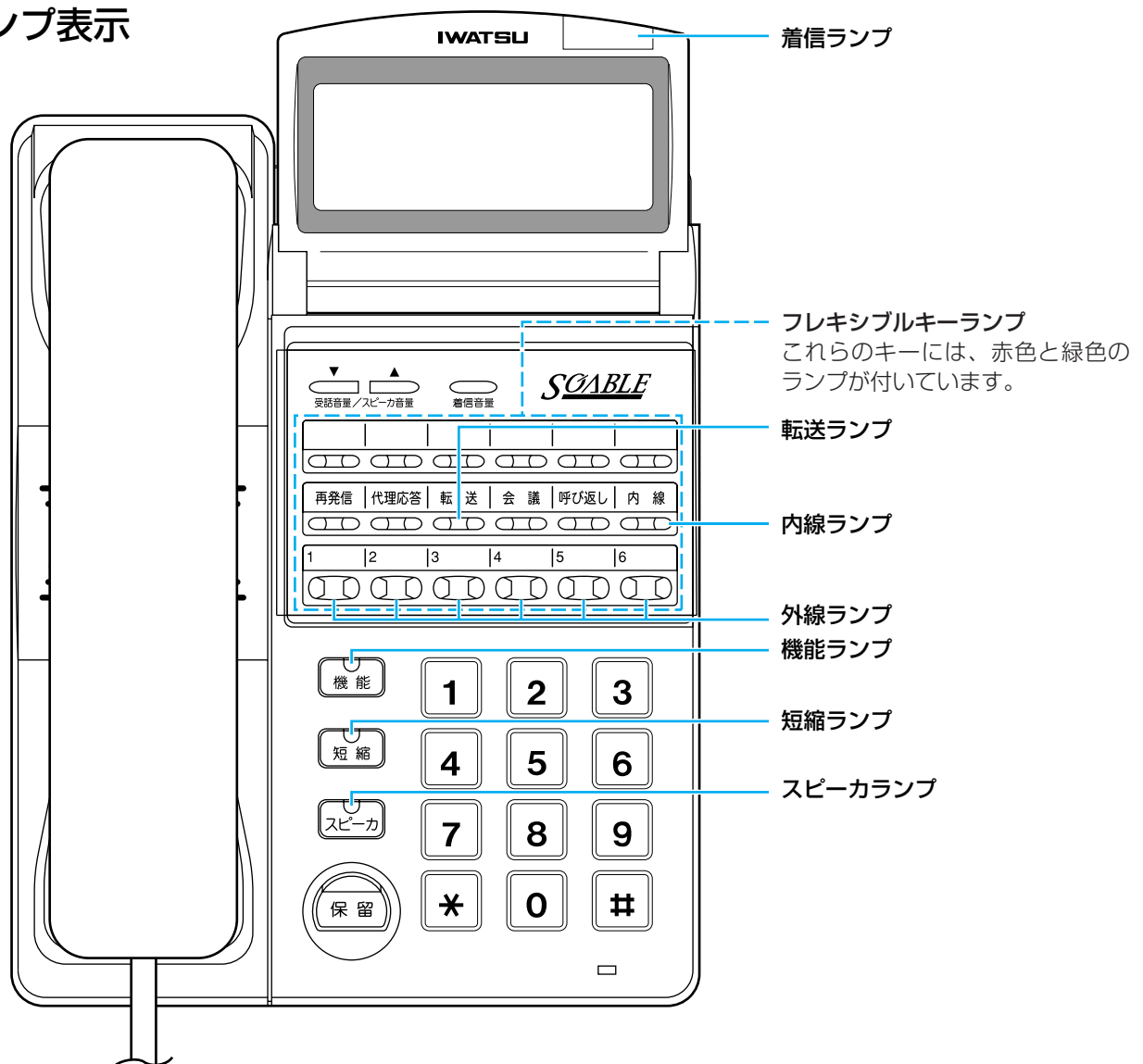
保留ボタン
相手にお待ちいただくときに使います。

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くとときや、受話器を置いたまま電話をかけるときなどに使います。

Note

各機能はデータ設定によって設定されています (この図は初期設定状態をあらわしています)。

ランプ表示

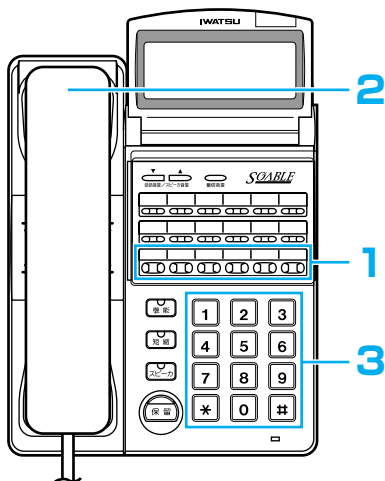


ランプについては、以下のようなつき方をします。

ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
着信ランプ	点滅 (赤)	電話がかかってきたとき
転送ランプ	速い点滅 (赤)	転送を使用しているとき
内線ランプ	点灯中に1回消える (赤)	内線で呼び出されているとき
	点灯中に2回消える (緑)	自分の電話機で内線通話するとき
	遅い点滅 (緑)	自分の電話機で内線を保留中のとき
外線ランプ	点灯中に2回消える (緑)	自分の電話機で外線と通話するとき
	点灯 (赤)	他の電話機が外線で通話しているとき
	遅い点滅 (緑)	自分が保留しているとき
	速い点滅 (赤)	電話がかかってきたとき
機能ランプ	遅い点滅 (赤)	他の電話機で保留中のとき
	速い点滅 (赤)	機能を選択したとき
短縮ランプ	速い点滅 (赤)	短縮登録を行っているとき
	点灯 (赤)	短縮を使用しているとき
スピーカランプ	速い点滅 (赤)	スピーカを使用しているとき

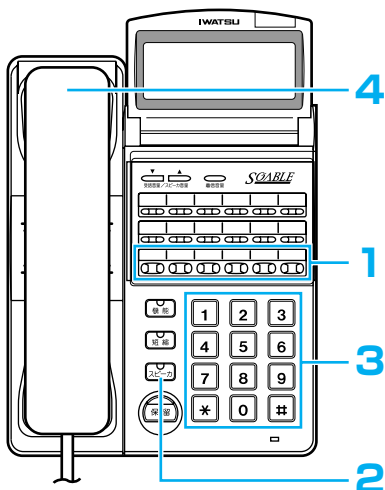
1
前に
ご利用いただく2
多機能
電話機3
単独
電話機4
I S D N5
システム
コントローラ6
ご参考
に

外へ電話をかけるとき〈外線発信〉



受話器を取ってかけるとき〈一般発信〉

- 1 空いている「外線」キーを押します。
緑色のランプが点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
※手順(2) → (1)の順でもかかります。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイにダイヤル番号が表示されます。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。
- 4 相手とつながり、お話しができます。

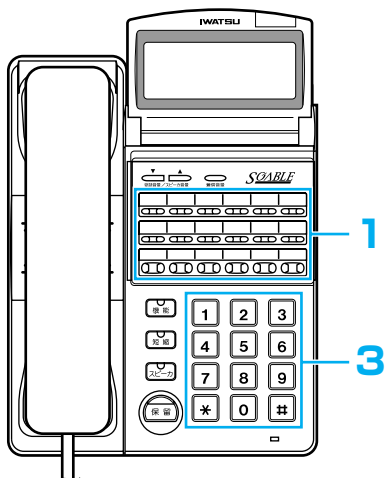


受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉

- 1 空いている「外線」キーを押します。
緑色のランプが点滅します。
- 2 「スピーカ」ボタンを押します。
電話機のスピーカから「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
※手順(2) → (1)の順でもかかります。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイにダイヤル番号が表示されます。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。
- 4 相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器を取り上げお話しします。

Note

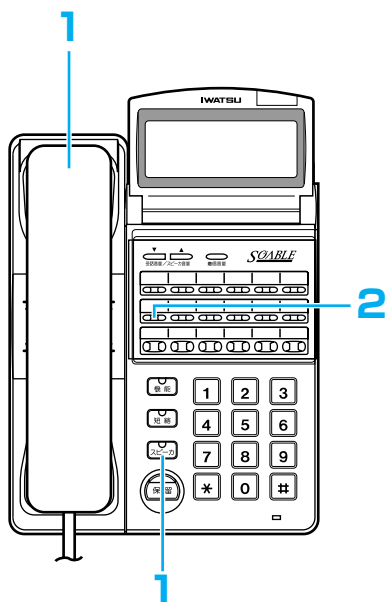
- 国際自動即時発信外線、ファクシミリ専用外線を指定して発信することもできます。
- 設定により外線発信ができない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉

- 1 ダイヤルの途中で「フック」キー（または「機能」ボタン+「1」「1」）を押します。
※「フック」キーはデータ設定により、あらかじめ電話機のフレキシブルキーに登録する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 2 発信状態に戻ります。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
- 3 ダイヤルし直します。

最後に電話した相手に再びかけ直すとき〈ラストナンバリダイヤル〉



1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。

2 「再発信」キー（または「短縮」＋「#」ボタン）を押します（内線から外線にかける場合）。

※外線を指定してかける場合は「外線」キーに続き「再発信」ボタンを押します。

3 すぐ前にかけた相手の電話番号が自動的にダイヤルされ、相手につながります。

ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。



Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 転送中、通話中のダイヤルは、ラストナンバリダイヤルの対象にはなりません。
- 外線を指定せずに発信し、該当する外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

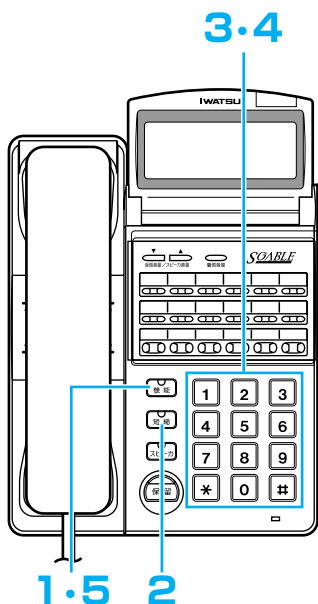
3
単独
電話機

4
I
S
D
N

5
シ
ス
テ
ム
コ
ン
ト
ロ
ー
ラ

6
ご
参
考
に

短縮ダイヤルを利用するとき



相手先の電話番号の登録方法

- 1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 登録する短縮番号（90～99）を押します。
- 4 相手の電話番号をダイヤルします。
- 5 「機能」ボタンを押します。

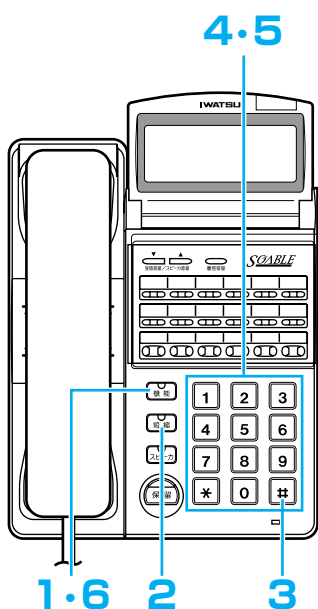


Note

- 個別短縮番号（90～99）は、電話機ごとに登録できます。
- 1つの短縮番号には32桁以内のダイヤルと、10桁以内の文字が登録できます。
- システム全体の共通短縮番号（00～89）は指定電話機、またはデータ設定で登録します。指定電話機は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ISDN回線で短縮ダイヤルを利用するときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

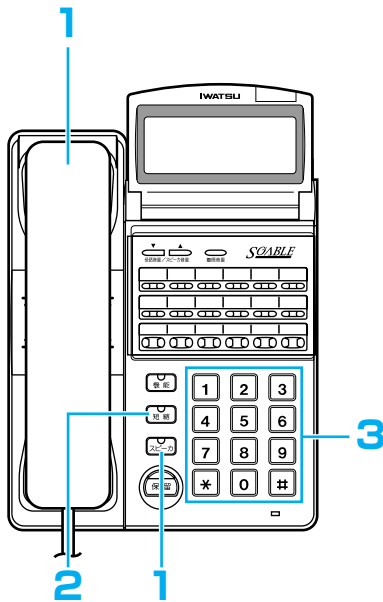
外線グループ番号も含めた登録

※外線グループ番号とは、発信できる外線番号です。



- 1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号（90～99）を押します。
- 5 使用する外線グループ番号（01～10）を押します。
- 6 「機能」ボタンを押します。

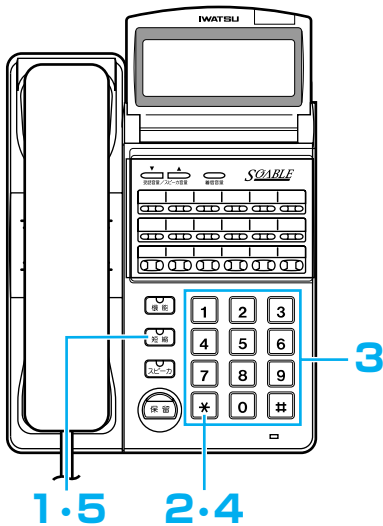
短縮ダイヤルを利用するとき



かける方法

- 1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 相手の短縮番号をダイヤルします。
ディスプレイには登録されている電話番号と、相手先名が表示されます。

相手先を確認してからかけるとき〈スクロール発信〉



- 1 「短縮」ボタンを押します。
- 2 「*」ボタンを押します。
- 3 思い当たる短縮番号をダイヤルします。
ディスプレイには登録されている電話番号と、相手先名が表示されます。
- 4 短縮番号が違っていたら、「*」ボタンまたは「#」ボタンを押し、かけたい短縮番号を探します。
※ 「*」ボタンを押すと次の短縮番号の登録内容が、
「#」ボタンを押すと1つ前の短縮番号の登録内容が表示されます。
- 5 「短縮」ボタンを押します。
登録されている電話番号がダイヤルされます。

応答しない相手に何度もかけ直すとき「オートリピートダイヤル」

1
前に
ご利用いただく

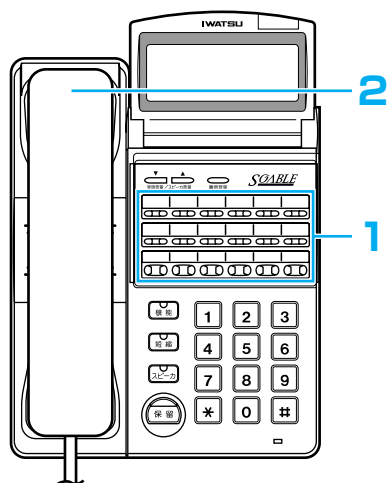
2
多機能電話機

3
単独電話機

4
I
SDN

5
システムコントローラ

6
ご参考に



1 相手が出ないか通話中のとき、「リピート」キーを押します。

オートリピートする電話番号が登録されます。

※記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。

※内線から外線にかけるときの外線アクセス番号、外線グループ番号も登録対象となります。

※記憶できる電話番号は、電話機ごとに1つです。登録操作を行うと、既存の登録番号は消されます。

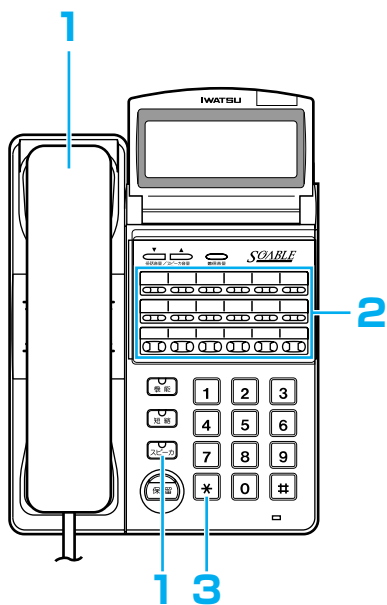
※「リピート」キーはあらかじめ、データ設定によるフレキシブルキー登録を行う必要があります。再ダイヤル間隔、呼び出し時間、再ダイヤル回数も設定されます。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

2 受話器を置きます。

3 設定内容に応じて再ダイヤルされます。

※電話機のスピーカーで呼び出し状態を確認できます。

オートリピートダイヤルの解除方法

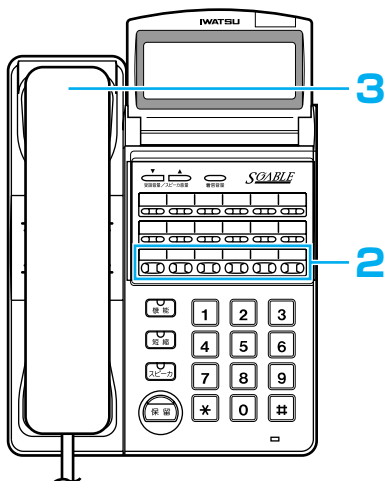


1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。

2 内線発信状態で、「リピート」キーを押します。

3 「*」ボタンを押します。

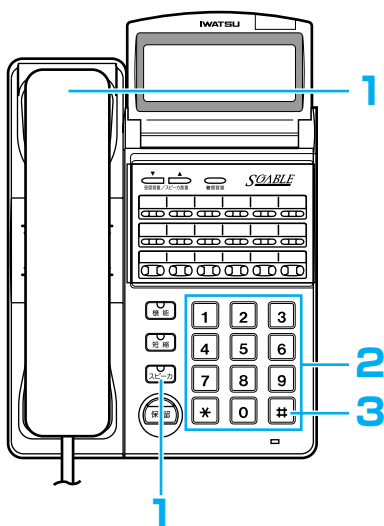
外からの電話を受けるとき 〈外線着信〉



- 1 着信音が鳴ります。
着信している「外線」キーのランプと大型着信ランプが、赤色に点滅します。
※着信音を止めている場合でも、「外線」キーのランプと大型着信ランプは点滅します。
- 2 赤色に点滅している「外線」キーを押します。
ランプが、緑色に変わります。
- 3 受話器を取り上げます。
- 4 お話します。

内部の人を呼び出すとき 〈内線発信〉

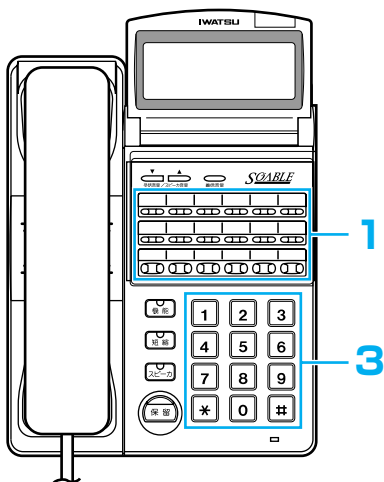
音または声による呼び出し〈内線トーン呼び出し／内線音声呼び出し〉



- 1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
※電話機を個別に呼び出す「DSS」キーを設定することができます。
「DSS」キーは、あらかじめデータ設定が必要です。
- 3 声で呼び出す場合は、「#」ボタンを押します。
※受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
- 4 相手が応答したら、お話します。
※受話器を置いたままの場合は、取り上げてお話します。

Note

- 内線番号がどのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 外線着信時でも内線を優先して使用したい場合には、「内線」キーを押して使用することができます。
- 内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定することができます。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「DSS」キーはあらかじめ、データ設定によるフレキシブルキー登録を行う必要があります。



ダイヤル途中で内線番号をかけ直すと「ロングフラッシュ」

- 1 そのままの状態ですべての「フック」キー（または「機能」ボタン+「1」「1」）を押します。

※「フック」キーはデータ設定により、あらかじめ電話機のフレキシブルキー登録をする必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 2 発信状態に戻ります。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

- 3 ダイヤルし直します。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

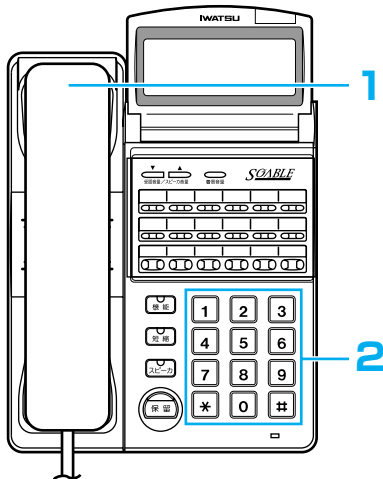
4
I
S
D
N

5
シ
ス
テ
ム
コ
ン
ト
ロ
ー
ラ

6
ご
参
考
に

内部の人を呼び出すとき〈内線発信〉

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉



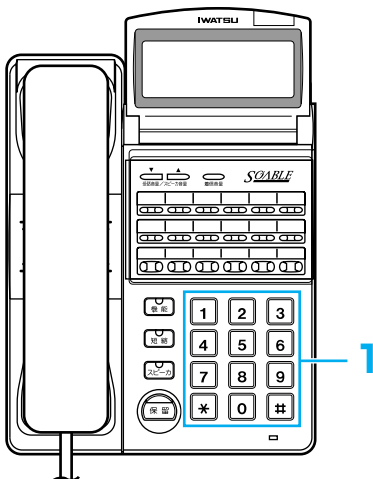
- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。
※内線グループごとの代表番号は、あらかじめデータ設定が必要です。
お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 3 内線グループの空き電話番号を呼び出します。
- 4 お話します。



Note

- 内線グループは最大10グループ以内、1グループの電話機は最大16台以内です。
- フレキシブルキー登録により、ワンタッチで代表番号を発信できる「内線代表」キーを、設定できます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

相手が通話中か応答がなく、続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉



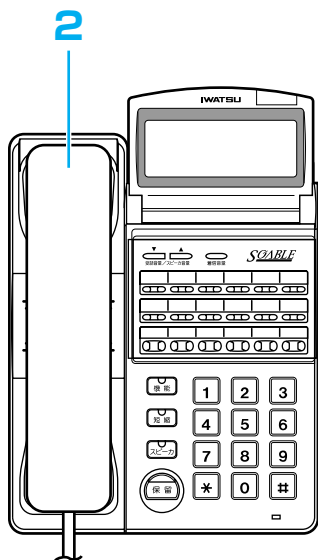
- 1 そのままの状態、クリアコールの場合、別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
シフトコールの場合、最初にダイヤルした内線番号の下1桁をダイヤルします。
- 2 お話します。



Note

- クリアコールまたはシフトコールは、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- クリアコールとシフトコールは両方を設定することはできません。

内部からの呼び出しを受けるとき〈内線応答〉



受話器を取り上げて応答するとき〈内線自動応答〉

- 1 「トゥルトゥルトゥル」という呼び出し音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

受話器を置いたまま応答するとき〈内線ハンズフリー応答〉

- 1 「〇〇さん」のように音声で呼ばれます。
- 2 お話します。
※あらかじめマイクをONにしてください。マイクのON操作は、「機能」ボタンを押し、続けて「6」「1」とダイヤルしてください。



Note

内線から音声で呼ばれたときのみハンズフリー通話が可能です。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
I
SD
N

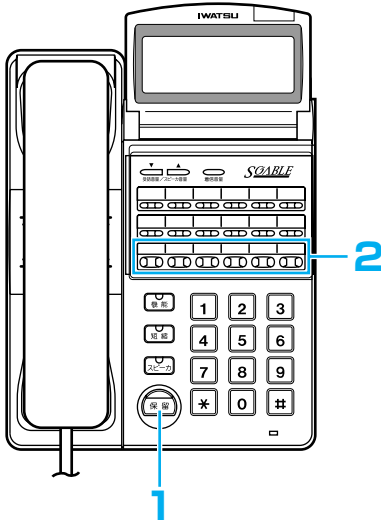
5
シ
ス
テ
ム
コ
ン
ト
ロ
ー
ラ

6
ご
参
考
に

お待ちいただくとき・再びお話しするとき〈保留・応答〉

外線の保留・再びお話しするとき〈外線保留／応答〉

●外線の保留〈外線保留〉

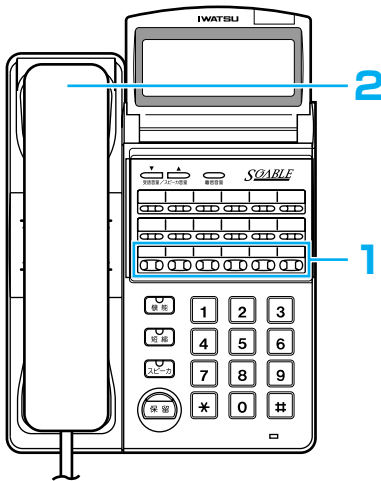


1 そのままの状態です。「保留」ボタンを押します。

2 保留状態になります。
「外線」キーは緑色で、ゆっくり点滅します。
※他の電話機では「外線」キーは赤色で、ゆっくり点滅します。

3 受話器を置きます。
保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。
※あらかじめ保留警報機能がデータ設定されている場合は、保留状態が設定時間を超えると「ブブブブ」と警報が鳴ります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●保留していた外線との応答〈保留外線応答〉



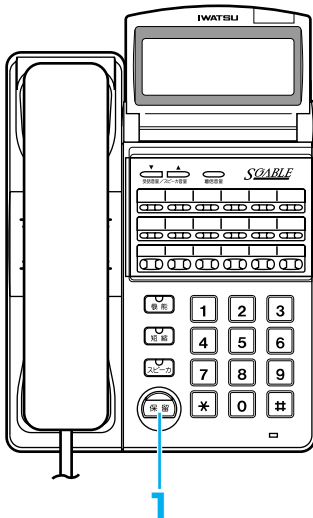
1 保留中の「外線」キーを押します。
「外線」キーは緑色で、ゆっくり点滅します。
※他の電話機では、「外線」キーは赤色で、ゆっくり点滅します。

2 受話器を取り上げます。

3 お話しします。

内線の保留・再びお話しするとき〈内線保留／応答〉

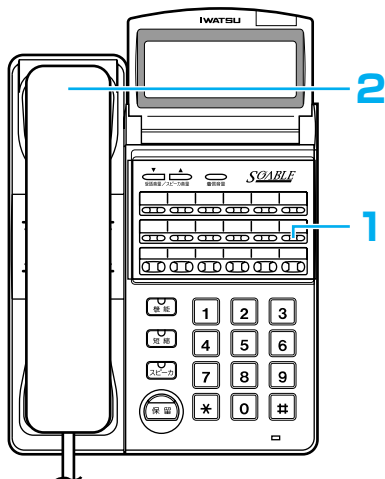
●内線の保留〈内線保留〉



1 そのままの状態です。「保留」ボタンを押します。
※会議通話中（3人で通話中）でも保留できます。

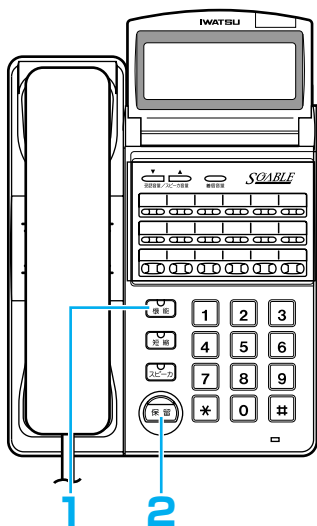
2 保留状態になります。
保留中は受話器を置いても内線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。

●内線の保留応答〈内線応答〉



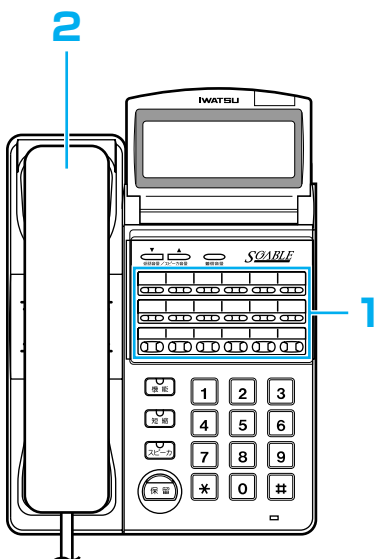
- 1 「内線」キーを押します。
保留中の「内線」キーは、緑色でゆっくり点滅しています。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

保留した外線を他の人が受けないようにするとき〈外線自己保留〉



- 1 そのままの状態です。「機能」ボタンを押します。
通話中は、「外線」キーは緑色で点滅しています。
- 2 「保留」ボタンを押します。
「外線」キーの緑色の点滅が、ゆっくりになります。
※自己保留した外線は、他の電話機では「外線」キーが赤色で点灯し、応答できません。
- 3 受話器を置きます。
保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。
※あらかじめ自己保留制限時間と保留警報機能がデータ設定されている場合には、保留状態が設定時間を超えると「ブブブブ」と警報が鳴ります。その後、共通保留となり、他の電話機による応答が可能となります。

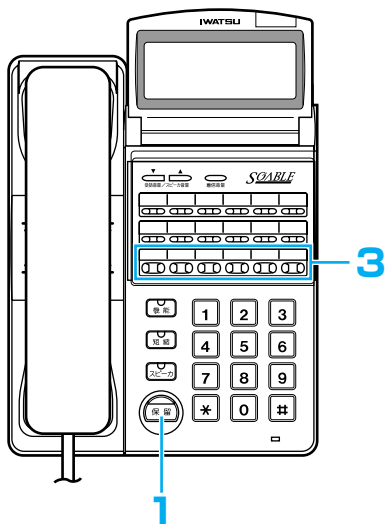
外線キーを選択せずに自動的に応答する方法〈保留外線自動応答〉



- 1 「保留外線自動応答」キーを押します。
最後に保留した外線が自動的に捕捉されます。
※転送保留中の外線がある場合は、最後に保留した外線より優先されます。
※「保留外線自動応答」キーはデータ設定により、あらかじめ電話機のフレキシブルキー登録をする必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

通話を他の人に回すとき〈外線転送〉

近くの人に声をかけて回すとき〈保留転送〉

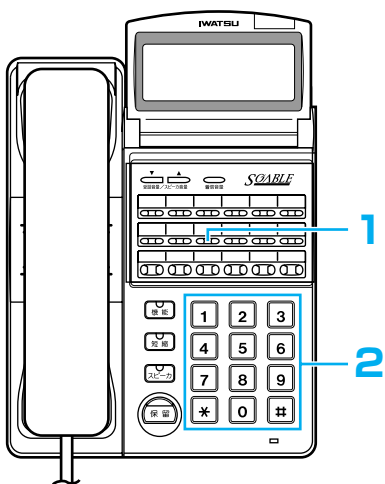


- 1 そのままの状態ですべて「保留」ボタンを押します。
- 2 「〇〇さん、××番に電話です」のように呼びかけます。
- 3 呼ばれた人は、該当する××番の「外線」キーを押し、お話しします。

Note

保留されている外線が「索線」キーを押して使用するように登録されている電話機では、保留表示はされません。

特定の内線電話機に回すとき〈外線自動転送／転送キャンプオン〉



- 1 そのままの状態ですべて「転送」キーを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 転送先の内線番号をダイヤルします。
※専用線に転送する場合は、専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。
※強制的に転送する場合（転送キャンプオン）は、そのあと受話器を置きます。転送先が別の通話をしているときは、転送を知らせる音が聞こえます。このとき該当する「外線」キーが、赤色で1秒間隔で点滅します。あらかじめデータ設定されているキャンプオン監視時間を経過しても、転送先が応答していない場合は、他の電話機でも応答できるようになります。
- 3 内線がつながったら、「〇〇さん、電話です」のように連絡します。
※転送できない場合は、「転送」キーを再び押せば、保留した外線に回答できます。
- 4 受話器を置きます。
転送された人は、そのままお話しします。

Note

- あらかじめ「DSS」キー、「内線代表」キーのどちらかが登録されている場合は、手順（1）～（3）の操作にかえて、これらのキーを使用できます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- あらかじめ内線グループ分けのデータ設定で、保留中の外線が外線応答規制されている電話機には転送できません。内線グループ分けがどのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

【機能】 ボタンの使い方

以下の機能は工事によって設定する必要があるものです。

データ設定がされているかどうかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

オプション マークがついている項目は、機器の追加が必要です。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
I S D N

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

■多機能電話機のさらに便利な使い方

「機能」ボタンと「0」～「9」のダイヤルボタン、「＊」ボタン、「＃」ボタンを組みあわせて、以下のような豊富な機能を実行できます。おもに、電話機のフレキシブルキーに機能が設定されていない場合に使用します。

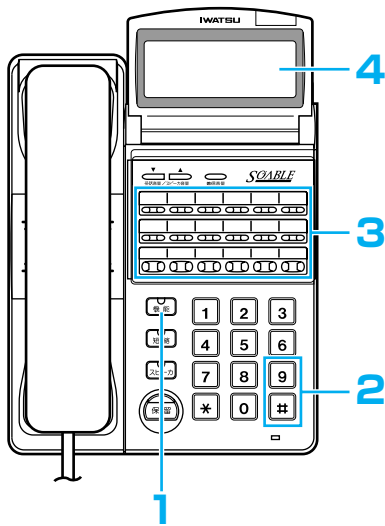
操 作	機能の名称	用 途	参照ページ
「機能」 「1」 「1」	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直すときに使用します。	14・21
「機能」 「1」 「2」	ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します。	82
「機能」 「1」 「3」	ダイヤルリバース（ブッシュ）	ブッシュ信号を送出できます。	45
「機能」 「1」 「4」	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます。	36
「機能」 「2」 「1」	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ再びかけ直すことができます。	43
「機能」 「2」 「2」	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ、かけ直すことができます。	44
「機能」 「3」 「1」	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます。	47
「機能」 「3」 「2」	グループ外代理応答	他の内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます。	47
「機能」 「3」 「3」	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます。	47
「機能」 「3」 「4」	パーク応答 （コールパークピックアップ）	パーク保留に反応するときに使用します。	32
「機能」 「3」 「5」	ページ応答（ミート・ミー応答）	スピーカ呼び出しに反応するときに使用します。	50
「機能」 「4」 「1」	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします。	56
「機能」 「4」 「3」	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことを知らせます。	51
「機能」 「4」 「4」	電話機パスワード	外線の発信規制ができます。	48
「機能」 「6」 「1」	マイク	マイクのON/OFF切り替えを行えます。	52
「機能」 「6」 「2」	BGM	スピーカからBGMを流します。	96
「機能」 「6」 「3」	LCD表示切り替え	ディスプレイの表示内容を切り替えることができます。	64
「機能」 「6」 「4」	時刻調整	時刻の調整を行えます。	63
「機能」 「6」 「6」	保留音切り替え	システムの保留音を切り替えることができます。	64
「機能」 「7」 「1」	通話料金表示（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します。	67
「機能」 「7」 「2」	通話料金表示（本日分）	当日分の料金を表示します。	67
「機能」 「7」 「3」	通話料金表示（今月分）	当月分の料金を表示します。	68
「機能」 「7」 「4」	通話料金表示（先月分）	先月分の料金を表示します。	68
「機能」 「7」 「5」	グループ予算額設定、 グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します。	68
「機能」 「9」 「9」	自内線番号表示	自分の電話機の内線番号を表示します。	66
「機能」 「＃」 「9」	キー案内	各キーに何が割り当ててあるか確認できます。	28

フレキシブルキーアサイン

データ設定により、あらかじめ電話機のフレキシブルキーに各種機能を登録することによって、ワンタッチ操作で豊富な機能を活用できます。

どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

フレキシブルキーの機能内容を確認するとき〈キー案内〉



- 1 「機能」 ボタンを押します。
- 2 「#」「9」とダイヤルします。
- 3 機能内容を確認したいフレキシブルキーを押します。
- 4 設定された機能内容が、約10秒間ディスプレイに表示されます。

■設定可能な機能一覧

あらかじめ電話機のフレキシブルキーに割り付けることができる機能は、以下のものです。

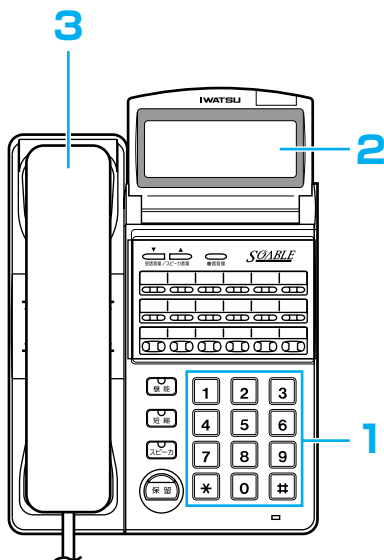
キーにつける名称	機能の名称	用途	参照頁
外線	外線	外線を発信するときに使用します。	14
グループパーク	グループパーク保留	グループパーク保留を行うときに使用します。	33
DSS	ワンタッチ内線個別呼び出し	電話機を個別に呼び出すことができます。	20
内線代表	内線代表呼び出し	部署などの内線グループごとにより呼び出すことができます。	22
ページンググループ	一斉呼び出し（グループページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます。	49
外線応答	外線応答	外線キーを選ばずに応答できます。	46
内線呼び返し	内線コールバック	話中の内線通話が終了したことを知らせます。	51
不在メッセージ	不在メッセージ	不在中の連絡事項をメッセージとして伝えることができます。	58
会議	会議通話	3人または4人で通話できます。	37
BGM	バックグラウンドミュージック（BGM）	スピーカからBGMを流します。	96
個別代理応答	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして、かわりに応答できます。	47
転送電話	転送電話1～4	着信した外線を転送します。	88
表示切り替え	LCD表示切り替え	ディスプレイ表示内容を切り替えることができます。	64
夜間切り替え	夜間切り替え	昼間と夜間で、着信音を鳴らす電話機を切り替えることができます。	62・86
自番号	自内線番号表示	自分の電話機の内線番号を表示します。	66
機能	機能	各種機能が活用できます。	27
不在転送	不在転送	不在中にかかってきた電話を、指定した電話へ転送できます。	53
ダイレクトステーションSPD	個別短縮ダイヤル	電話機ごとに90～99の短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます。	16
ダイレクトシステムSPD	共通短縮ダイヤル	システム全体で00～89の短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます。	16
フック	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直すときに使用します。	14・21

キーにつける名称	機能の名称	用途	参照頁
グループ外代理応答	グループ外代理応答	他の内線グループにかかってきた電話に、別の電話機で応答できます。	47
内線	内線	内線を捕捉します。	25
パスワード	電話機パスワード	外線発信規制ができます。	48
ページング	一斉呼び出し（ページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます。	49
ページ応答	ミート・ミー応答	スピーカ呼び出しに回答するときに使用します。	50
メモダイヤル	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ、再びかけ直すことができます。	44
マイク	マイク	マイクのON/OFF切り替えを行います。	52
伝言	伝言（メッセージウェイト）	不在中、または通話中の相手に、折り返し連絡してほしいときに使用します。	57
モニタ	通話モニタ	他の電話機の通話内容が聞けます。	36
強制呼び出し	強制呼び出し（オーバーライド）	応答しない電話機（着信拒否/話中）を、強制的に呼び出します。	52
個別パーク	個別パーク保留	保留した外線を他の人が取らないようにできます。	31
グループ内代理応答	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に、別の電話機で応答できます。	47
パーク応答	パーク応答（コールパークピックアップ）	パーク保留に回答するとき使用します。	32
プッシュ	ダイヤルリバース（プッシュ）	プッシュ信号を送出できます。	45
リピート	オートリピートダイヤル	自動的に繰り返し、何度もかけ直すことができます。	19
タイムコール	タイムコール	タイムコール設定した時刻に電話機を鳴らして、お知らせします。	56
リレー番号	リレーコントロール1~2	電話機から別のユニットの電源などを、ON/OFFできます。	55
スピーカ	スピーカ	受話器を置いたまま発信・着信・応答状態になります。	14
短縮	短縮	短縮ダイヤルがかけられます。	16
ショートフック	ショートフラッシュ（ショートフック）	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します。	82
セーブナンバ	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ、再びかけ直すことができます。	43
転送	転送	転送するときに使用します。	26
秘話解除	秘話解除、会議	通話中の外線に割り込みができます。	36
ドント・ディスターブ	ドント・ディスターブ	着信拒否ができます。	35
使用率	グループ予算額設定、グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します。	68
保留	保留	保留状態にします。	24
前回	通話料金（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します。	67
本日	通話料金（本日分）	当日分の料金を表示します。	67
今月	通話料金（今月分）	当月分の料金を表示します。	68
先月	通話料金（先月分）	先月分の料金を表示します。	68
LCR	LCR	回線事業者を自動選択します。	45
保留外線自動応答	保留外線自動応答	受話器を取り上げずに保留した外線に回答できます。	25
再発信	再発信（ラストナンバリダイヤル）	最後に発信した相手に再び発信できます。	15
着信転送	着信転送	ISDN回線を転送するときに使用します。	81
呼び返し	呼び返し（RETS）	記録された発信者番号に再び発信できます。	79
着信記録	着信記録	電話をかけてきた相手が回答するまえに電話を切ったとき、その発信者番号を記録することができます。	—
記録削除	記録削除	記録された着信記録の削除をします。	—
通話中転送	通話中転送	現在行っている通話を第三者に転送できます。	82
DIN転送	着番号毎転送	NTTダイヤルインサービスを利用して外部の電話機に転送します。	90

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
ISDN5
システムコントローラ6
ご参考に

プリセットダイヤル

ディスプレイでダイヤル番号を確認してから電話する方法です。
電話機が空き状態であることを確認してから操作してください。



1 受話器を置いた状態で、相手の電話番号、または内線番号をダイヤルします。

※ セットできる番号は32桁以内です。

※ 使用できるボタンは「0」～「9」、「*」ボタン、「#」ボタンのみです。

※ 外線接続のための待ち時間（ポーズ時間）も一緒にセットできます。保留ボタンに続けて、1～9の数字ボタンを押します。

2 ディスプレイにダイヤル番号が表示されます。

※ ダイヤルが間違っている場合は

1. 訂正箇所まで「機能」ボタンを押して戻ります。
（「機能」ボタンを押すたびに、末尾の番号が消えます）
2. ダイヤルし直します。
3. 「外線」キーまたは「内線」キーを押します。

3 受話器を取り上げます。

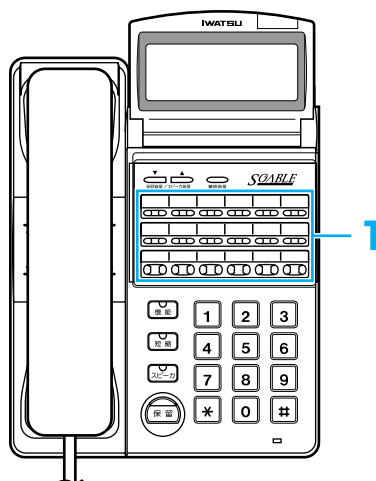
ディスプレイに表示されている番号が自動的にダイヤルされます。

※ クイックオペレーションを使用することもできます。

4 相手とつながったら、お話しします。

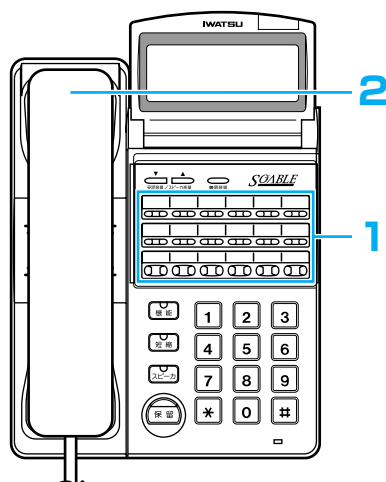
個別パーク保留・応答

個別パーク保留は、保留した電話を他の電話機で応答できないようにするものです。
電話機に登録できる「個別パーク」キーは1つだけです。



個別パーク保留するとき

- 1 通話状態で「個別パーク」キーを押します。
- 2 他の電話機では応答できなくなります。



再び通話するとき

- 1 保留状態の「個別パーク」キーを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

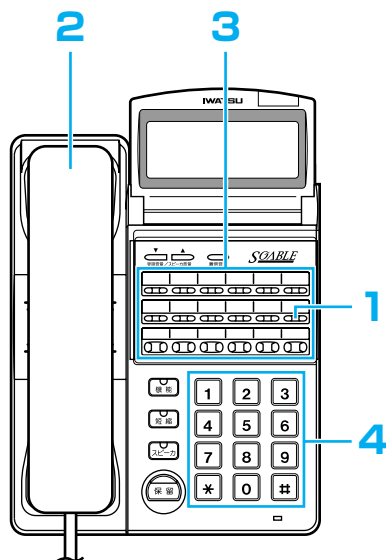
3
単独
電話機

4
I
SDN

5
システ
ムコント
ローラ

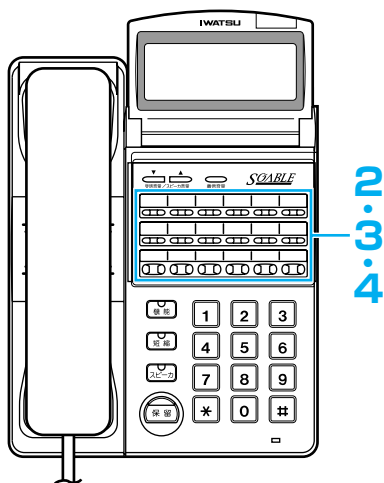
6
ご参考
に

個別パーク保留・応答



他の電話機から「リモート応答操作」で再び通話するとき

- 1 「内線」キーを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 「パーク応答」キー（または「機能」ボタン+「3」「4」）を押します。
- 4 個別パーク保留した電話機の内線番号を、ダイヤルします。
- 5 お話しします。



個別パーク保留で通話相手を切り替えるとき

- 1 通話中に他から着信があると、「外線」キーまたは「内線」キーのランプが赤で点滅します。
- 2 「個別パーク」キーを押します。
通話中の外線、または内線が個別保留されます。
- 3 着信している他の「外線」キーまたは「内線」キーを押して応答します。
- 4 新規の相手と通話中に「個別パーク」キーを押します。
- 5 もとの通話相手とつながります。
今度は新規の通話相手が個別パーク保留されます。

Note

手順 (2) ~ (5) の操作の後、「個別パーク」キーを押すことにより、2つの通話相手との保留、応答が瞬時に切り替えられます。

グループパーク保留・応答

内線グループ単位の管理で、保留した電話を他の電話機で応答できないようにする方法です。グループパーク保留できるのは外線と、専用線の着信のみです。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

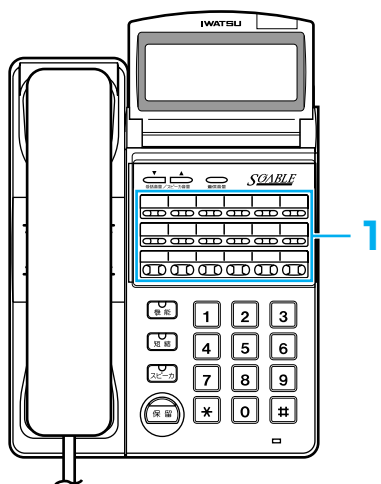
3
単独
電話機

4
I
SDN

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

グループパーク保留を行うとき

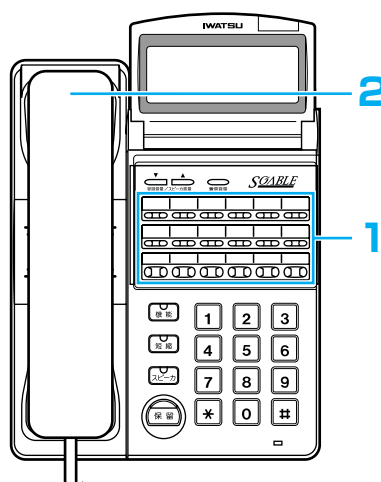


1 通話状態のまま、使用できる「グループパーク」キーを押します。

2 他の電話機から応答できなくなります。
※グループパーク保留した電話機以外の同じ内線グループ電話機では、該当する「グループパーク」キーが赤色に点灯しています。

Note
あらかじめ最大10個以内でパークオービット番号と、「グループパーク」キーをデータ設定しておきます。

再び通話するとき

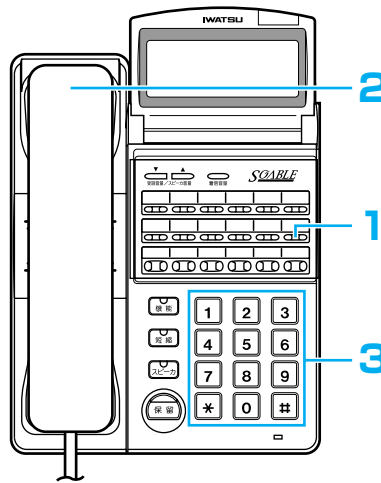


1 使用した「グループパーク」キーを押します。
※他の通話中に「グループパーク」キーを押しても、保留応答はできません。他の通話を終えてから、操作してください。

2 受話器を取り上げます。

3 お話しします。

他の電話機から「リモート応答操作」で再び通話するとき



1 「内線」キーを押します。

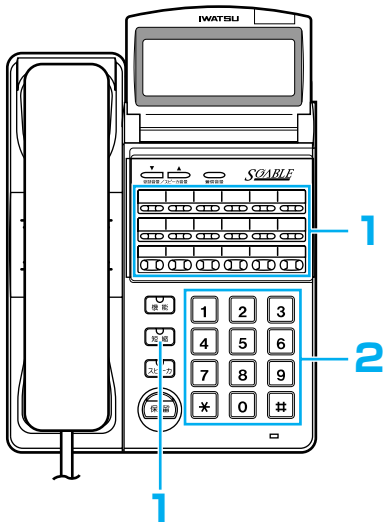
2 受話器を取り上げます。

3 応答したい「グループパーク」キーに該当するパークオービット番号をダイヤルします。
※パークオービット番号は、あらかじめデータ設定が必要です。

4 お話しします。

クイックオペレーション

電話をかけるときの操作を省略できます。



1 該当するキーを押します。

スピーカから発信音が聞こえます。

- 外線を指定するとき
→ 「外線」キー
- 空いている外線を自動捕捉するとき
→ 「索線」キー
- 内線にかけるとき
→ 「内線」キー
- 短縮ダイヤルするとき
→ 「短縮」ボタン

2 相手の電話番号、または内線番号をダイヤルします。

※短縮の場合は、短縮番号をダイヤルします。

※「DSS」キー、「内線代表」キー、「セーブナンバー」キーを押した場合は、自動的にダイヤルされます。



Note

クイックオペレーションできるかは、あらかじめデータ設定が必要です。

話中着信

通話中に他の外線に着信があったとき、「プルプル」という小さな着信音を鳴らせます。

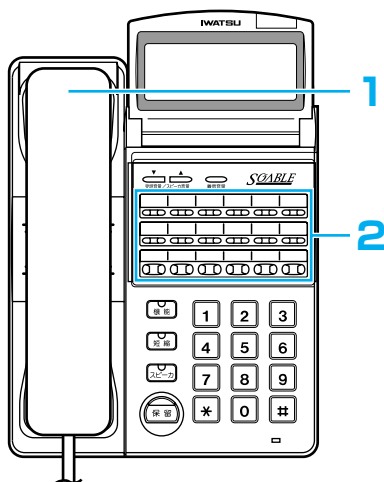


Note

- 話中着信機能がデータ設定されていない電話機では、通話中の着信音は鳴りません。
- 話中着信機能を付けない電話機を、データ設定することもできます。
- FAX端末に対しては話中着信しないでください。

ドント・ディスターブ (DND)

一時的に着信を拒否できます。

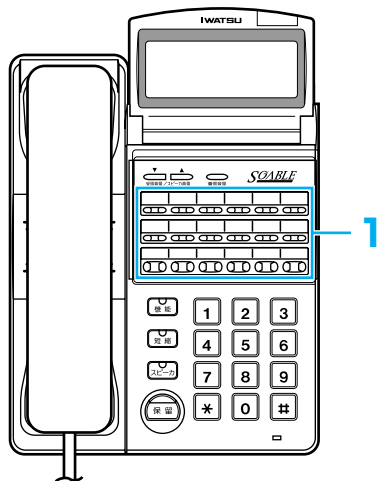


設定方法

- 1 受話器は置いたままにします。
※電話機が空き状態であることを確認してください。
- 2 「ドント・ディスターブ」キーを押します。
「ドント・ディスターブ」キーのランプが赤色に点灯し、着信拒否状態になります。

解除方法

- 1 着信拒否中の「ドント・ディスターブ」キーを押します。
着信拒否中は「ドント・ディスターブ」キーのランプが、赤い色で点灯しています。
- 2 通常の状態になります。



Note

- 着信拒否中でも、リコール、プライベートラインは、着信すると電話機の音が鳴ります。
- 着信拒否中の電話機に内線電話した場合は、発信電話機に「ブーブーブーブ」という着信拒否音が聞こえます。
- 着信拒否中の電話機でも発信に関する制約はありません。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

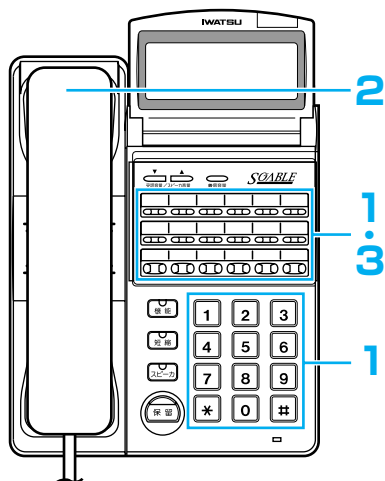
4
I
SDN

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

通話モニタ

他の電話機の通話内容が聞けます。



1 該当する通話を選択します。

- 外線の場合
通話中の「外線」キーを押します。
- 内線の場合
通話中の内線番号をダイヤルします。

2 受話器を取り上げます。

3 「モニタ」キーを押します。

通話内容を聞くことができます。

Note

- モニタしている側の声は、相手に聞こえません。
- 内線グループ分けなどで外線応答規制されている外線の通話は、モニタできません。
- データ設定で保護（プロテクト）設定されている電話機の通話は、モニタできません。
- 4人による通話（会議）中の内容はモニタできません。

秘話／秘話解除

通話状態の外線に、他の電話機からの割り込みを許可できます。秘話解除の状態の外線は、通話終了後に秘話設定状態に戻ります。

秘話解除／秘話再設定

1 外線と通話中に「秘話解除」キー（または「機能」ボタン+「1」「4」）を押します。

秘話解除の状態となります。

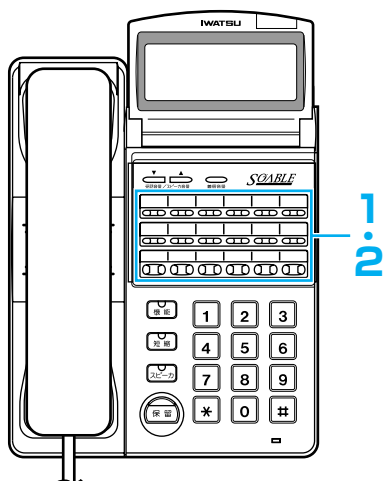
2 再び「秘話解除」キー（または「機能」ボタン+「1」「4」）を押します。

秘話設定の状態となります。

※「秘話解除」キーを押すごとに、秘話解除／秘話設定が切り替わります。

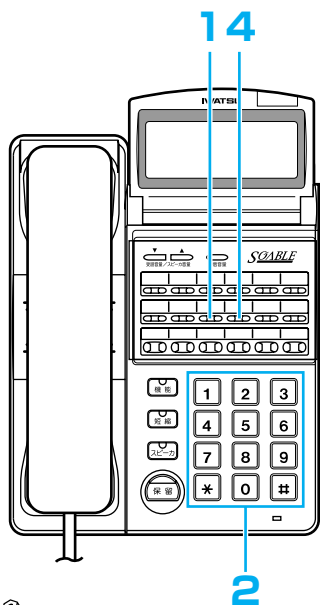
Note

外線に応答することで自動的に秘話解除にする場合は、あらかじめデータ設定が必要です。



外線会議通話

外線と通話中に、他の内線電話機を呼び出して3人または4人で通話できます。



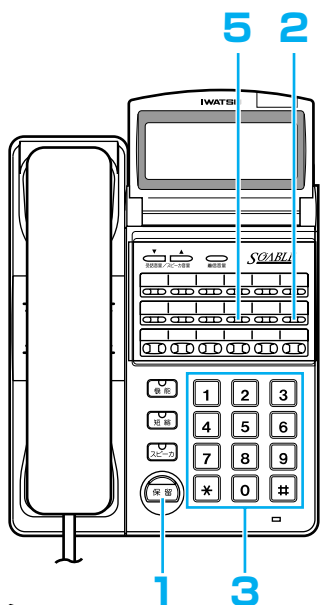
4人で通話するとき

「転送」キーと「会議」キーによる方法

- 1 通話状態のまま「転送」キーを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。
- 4 外線通話中に「会議」キーを押します。
会議通話の準備ができると、外線および内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（3）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
- 5 会議通話を始めます。

Note

内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループがどのように分けられているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



4人で通話するとき

「保留」ボタンと「秘話解除」キーによる方法

- 1 通話中に「保留」ボタンを押します。
外線は共通保留になります。
- 2 「内線」キーを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 3 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 4 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 5 外線通話中に「秘話解除」キーを押します。
会議通話の準備ができると、外線および内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。
- 6 会議通話を始めます。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（5）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

Note

内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループがどのように分けられているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

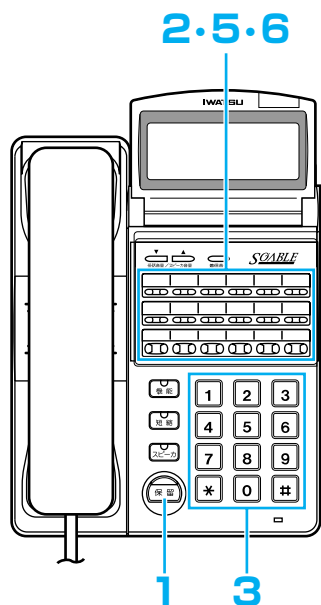
4
I
SDN

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

複数外線会議通話

外線と通話中に外線を呼び出して3人または4人で通話できます。

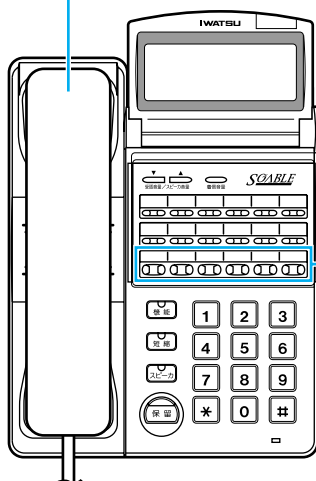


4人で通話するとき

外線を会議通話に参加させるとき

- 1 通話状態のまま「保留」ボタンを押します。
- 2 空いている「外線」キーを押します。
- 3 呼び出す相手の電話番号をダイヤルします。
- 4 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 5 通話状態のまま「会議」キーを押します。
- 6 上記手順(1)の操作で保留となった「外線」キーを押します。
- 7 会議通話を始めます。
※この状態で、さらに上記手順(1)～(6)の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
※会議中に、さらに内線を呼び出す場合は、「転送」キーと「会議」キーによる内線呼び出しを行ってください。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

2.4



1.3

特定の外線を会議通話から解除するとき

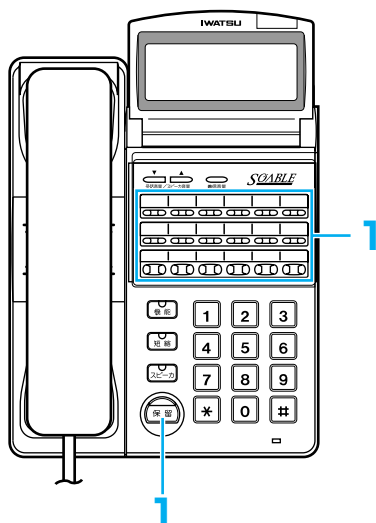
- 1 通話を続けたい相手の「外線」キーを押します。
通話を続けたい相手の外線は保留状態になります。通話を切りたい相手の外線とは通話状態を維持します。
- 2 受話器をいったん戻します。
通話を切りたい相手の外線が切れます。
- 3 保留中の「外線」キーを押します。
※保留中の外線が2つある場合は、いずれか1つの「外線」キーを押します。
- 4 受話器を取り上げます。
- 5 お話しします。

Note

2外線、2内線で4人による通話をしている場合は、特定の外線を解除することはできません。

外線間会議通話

会議通話終了後に、外の人（外線）同士で通話していただけます。



1 複数外線会議通話中に、「保留」ボタン、「個別パーク」キー、「グループパーク」キーの1つを押します。

外線同士は通話状態のままです。

※自己保留、共通保留のいずれかを、あらかじめデータ設定する必要があります。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

2 外線同士でお話しいただけます。

自分の電話機は保留状態になります。

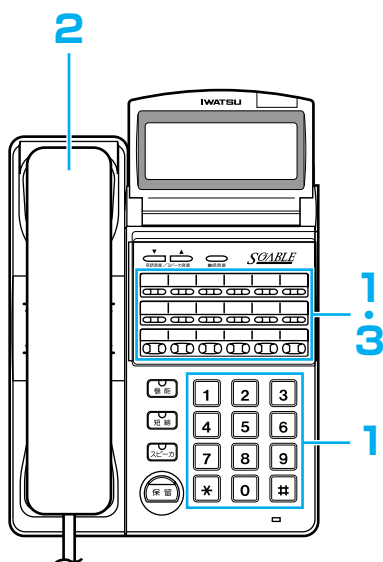
※外線同士で通話中に、該当する「外線」キーを押すと、再び会議に参加できます。

Note

- ISDN回線でご使用になれます。
- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するためのデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

バジー・イン

通話中の他の電話機に割り込んで、3人または4人で通話できます。



1 該当する通話を選択します。

- 外線の場合
通話中の「外線」キーを押します。
- 内線の場合
通話中の内線番号をダイヤルします。

2 受話器を取り上げます。

3 「会議」キーを押します。

3人で通話できます。

Note

- 割り込むとき通話中の相手に、「ブー」という音で知らせます（データ設定）。
- バジー・インできるかは、あらかじめデータ設定が必要です。
- 内線グループ分けなどで外線応答規制されている外線への割り込みはできません。
- データ設定で保護（プロテクト）設定されている電話機への割り込みはできません。
- 4人による通話（会議）中には、割り込みはできません。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

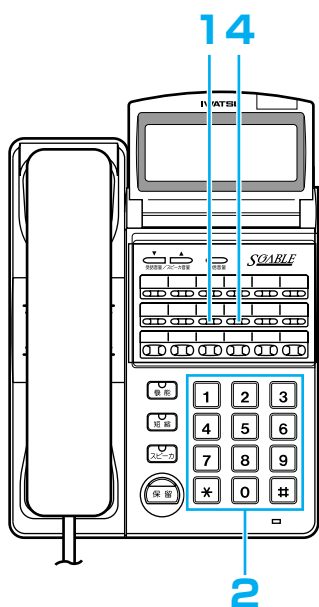
4
ISDN

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

内線会議通話

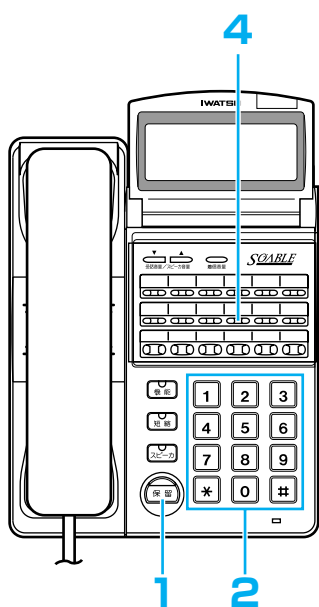
内線通話中に他の内線を呼び出して、3人または4人で通話できます。



4人で通話するとき

「転送」キーと「会議」キーによる方法

- 1 内線通話の状態ですべて「転送」キーを押します。
「ツツツツツ」という内線着信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。
- 4 そのままの状態ですべて「会議」キーを押します。
会議通話の準備ができると「プー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。
- 5 会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで上記手順（1）～（4）の操作を繰り返せば、4人による内線会議通話もできます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。



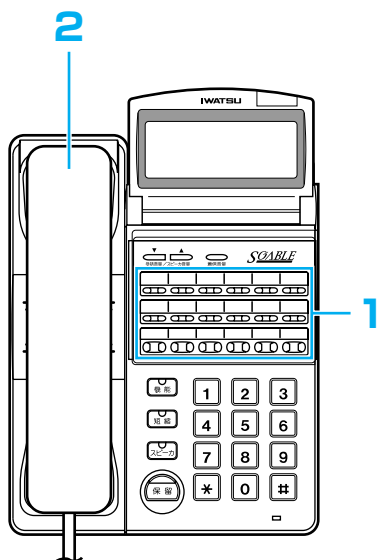
4人で通話するとき

「保留」ボタンと「秘話解除」キーによる方法

- 1 内線通話の状態ですべて「保留」ボタンを押します。
内線保留になり、「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。
- 4 そのままの状態ですべて「秘話解除」キーを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「プー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。
- 5 会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで上記手順（1）～（4）の操作を繰り返せば、4人による内線会議通話もできます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

プリセクション

受話器を上げる前に外線発信または内線発信を予約できます。



1 フレキシブルキーに登録してある以下のキーの、いずれかを押します。

- ・「外線」キー
- ・「索線」キー
- ・「内線」キー
- ・「一斉」キー
- ・「ゾーン」キー
- ・「内線代表」キー
- ・「DSS」キー
- ・「個別パーク」キー
- ・「着信応答」キー
- ・「内線グループ」キー
- ・「グループパーク」キー

押したキーのランプが緑色で点滅し、外線、内線を予約できます。

2 10秒以内に受話器を取り上げます。

予約した外線、内線につながります。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

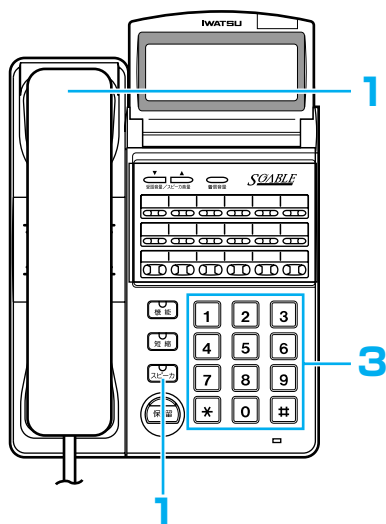
4
I
S
D
N

5
シス
テム
コン
トラ
ロー
ラ

6
ご参
考に

空外線自動捕捉

受話器を上げるだけで自動的に空いている外線を探せます。



1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。

2 空いている外線が自動的に捕捉されます。
「ツー」という外線発信音が聞こえます。
※すべての外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。

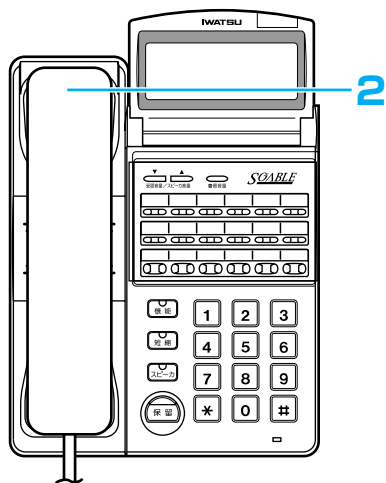
3 相手の電話番号をダイヤルします。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

Note

空外線自動捕捉機能を使用する場合は、電話機ごとに使用する外線アクセス番号、または外線グループアクセス番号があらかじめデータ設定されます。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信自動応答

受話器を取り上げるだけで、自動的にかかってきた外線に応答できます。



1 着信音が鳴ります。

2 受話器を取り上げます。

3 お話します。

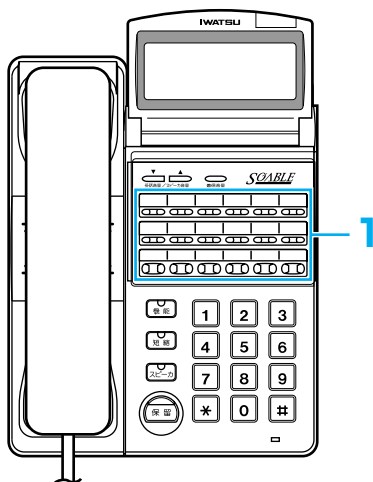
Note

複数の外線に対して外線着信自動応答機能が設定されると、応答の優先順位は着信順となります。

セーブナンバーダイヤル

今かけている相手の電話番号を記憶させることで、再びかけ直すとき自動的にダイヤルできます。

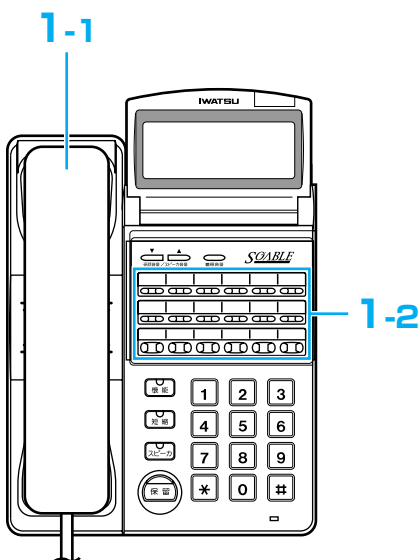
電話番号を記憶させるとき



- 1 電話番号をダイヤルしてから電話を切るまでの間に、「セーブナンバ」キー（または「機能」ボタン+「2」「1」）を押します。

※記憶させる電話番号は、発信中の電話番号が対象となります。登録操作は発信中に済ませてください。

- 2 ダイヤルした電話番号が記憶されます。



記憶させた電話番号にかけるとき

- 1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）、「セーブナンバ」キー（または「機能」ボタン+「2」「1」）を押します。

- 2 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 内線から外線につなぐ際の外線アクセス番号、外線グループアクセス番号も登録対象となります。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと以前の登録電話番号は消去されます。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
I
SDN

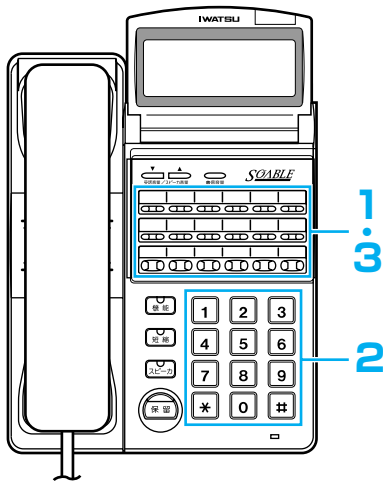
5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

メモダイヤル

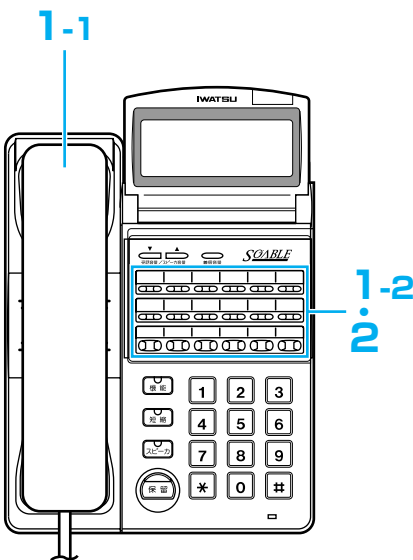
外線通話中に別の電話番号を記憶させ、あとでかけられます。

電話番号を記憶させるとき



- 1 通話中に「メモダイヤル」キー（または「機能」ボタン+「2」「2」）を押します。
- 2 記憶させておきたい別の電話番号をダイヤルします。
※接続待ち時間（ポーズ時間/1～9秒）も一緒に登録できます。「保留」ボタンに続けて1～9の該当するダイヤルボタンを押します。
- 3 再び「メモダイヤル」キー（または「機能」ボタン）を押します。
- 4 ダイヤルした電話番号が記憶されます。

記憶させた電話番号にかけるとき



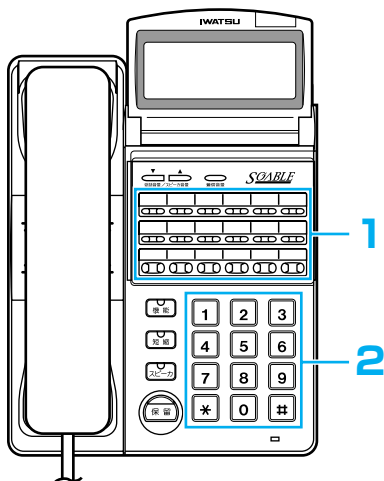
- 1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）空いている「外線」キーを押します。
- 2 「メモダイヤル」キー（または「機能」ボタン+「2」「2」）を押します。
- 3 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと、以前の登録電話番号は消去されます。
- ISDN回線でメモダイヤルを利用するときは、記憶させる相手の電話番号のあとに「#」ボタンを押して、登録してください。

ダイヤルリバーズ

回転ダイヤル式回線でもプッシュ信号が使えます。



1 外線に接続した状態で「プッシュ」キー（または「機能」ボタン+「1」「3」）を押します。

※再度この操作を行なうと、回転ダイヤル信号に戻ります。

2 ダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が出ます。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
ISDN

5
システム
コントローラ

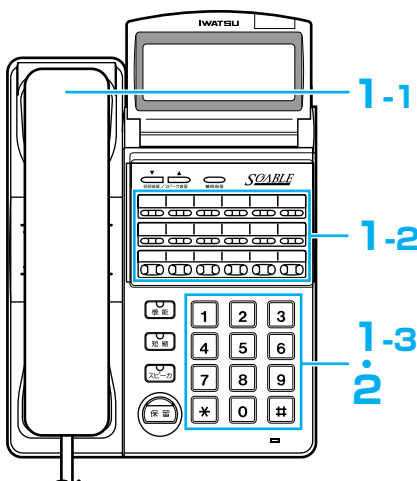
6
ご参考
に

Note

- 自動ダイヤルリバーズモードに、あらかじめデータ設定しておく、自動的にプッシュ信号に切り替わります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ダイヤルリバーズ機能は、回線が回転ダイヤル式のときのみ使用できます。

LCR発信

回線事業者を選択して電話することができます。この機能はNTT、KDDI、日本テレコムなど、複数のNCC各社と契約している場合に使用できます。



1 受話器を取り上げ、NCCと契約している「外線」キーを押します。

※あらかじめ自動LCRモードが設定されていない電話機の場合は、「LCR」キーを押したあと1の操作をします（フレキシブルキーに「LCR」キーの設定が必要です）。自動LCRモードが設定されている場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

2 相手の電話番号をダイヤルします。

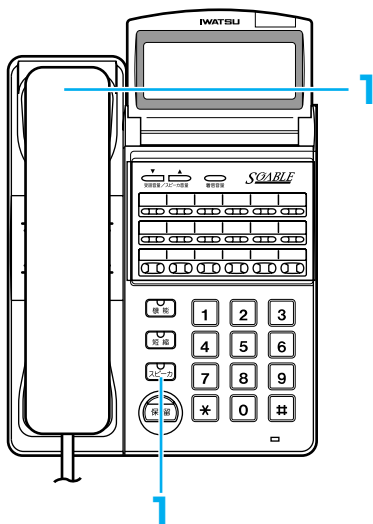
NTTおよびNCC各社の中から、回線を自動的に選んで発信します。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

Note

- NTTおよびNCCの料金変更などがあったときは、適切なNCCを選べなくなることがあります。このような場合のプログラム変更などは、有償となります。
- ディスプレイに表示される料金は、地域差などにより多少誤差が生じます。

外線自動発信

ダイヤルを押さずに特定の相手先に自動発信するように設定できます。



- 1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 個別短縮番号（99）に登録されている電話番号が自動的にダイヤルされます。



Note

外線自動発信を行う電話機は、あらかじめデータ設定されます。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信信号識別／外線別着信音色指定

着信音の鳴り方を4種類まで、外線ごとに分けられます。別の内線グループが近くにあっても鳴り方で区別できたり、専用線やPBX 内線などの区別も可能になります。どのように設定するかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

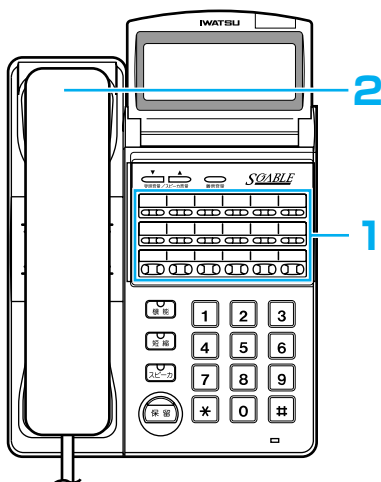


Note

- セントレックス内線（ビル電話）の識別有無は、あらかじめデータ設定されます。
- セントレックス内線の着信を識別する場合は、常にパターン番号2となります。
- 鳴り方は「多機能電話機で鳴る音」（73ページ）をご参照ください。

外線着信グループ応答

他の電話機にかかってきた外線に、ワンタッチで応答できます。



- 1 赤で点滅している「外線」キー、または「外線応答番号」キー、または「外線応答」キーを押します。
※着信した他の電話機では、それまで着信音が鳴っています。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

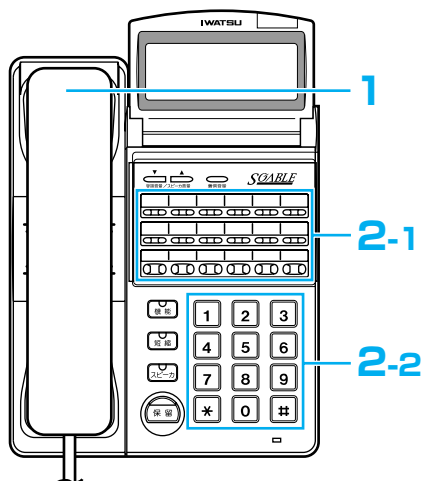


Note

- 応答する電話機の「外線」キー、「外線応答番号」キー、「外線応答」キーに割り当てられていない外線には、応答できません。
- 「外線応答番号」キー、「外線応答」キーに複数の着信がある場合は、先着順の応答となります。

着信代理応答

鳴っている電話機の着信を、他の電話機で応答できます。



Note

- あらかじめ外線応答規制されている外線には代理応答できません。どのようにデータ設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 代理応答を行う場合は、あらかじめ代理応答できるグループを設定する必要があります。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 受話器を取り上げます。

2 該当する特番と必要な番号をダイヤルします。

- グループ内への着信の場合
「グループ内代理応答」キー（または「機能」ボタン+「3」「1」）を押します。
- 他の内線グループ（部署など）への着信の場合
「グループ外代理応答」キー（または「機能」ボタン+「3」「2」）と、応答したいグループ番号を押します。
- 着信している電話機の内線番号を指定して応答する場合
「個別代理応答」キー（または「機能」ボタン+「3」「3」）と、着信している電話機の内線番号を押します。

3 お話しします。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

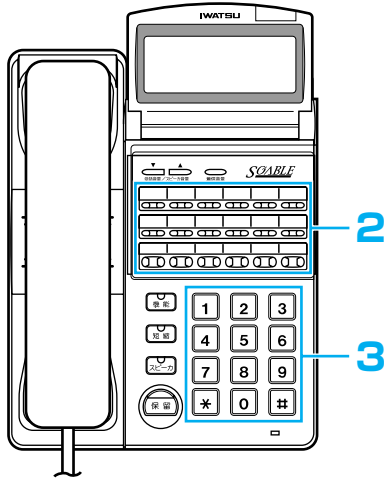
4
I
S
D
N

5
シ
ス
テ
ム
コ
ン
ト
ロ
ー
ラ

6
ご
参
考
に

電話機パスワード

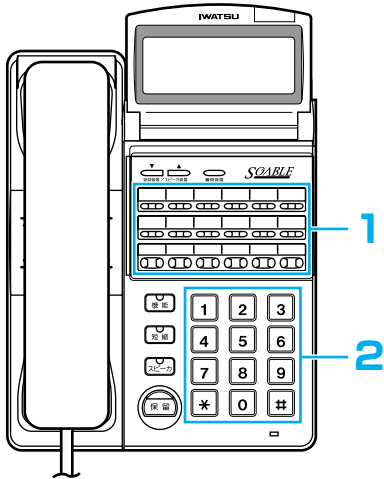
外線の無断使用をパスワードで規制できます。



外線の発信規制

- 1 内線に接続します。
- 2 「パスワード」キー（または「機能」ボタン+「4」）を押します。
- 3 決められたパスワード（最大6桁）をダイヤルします。
その電話機からは外線の発信ができなくなり、「パスワード」キーのランプが赤色で点灯します。

発信規制の解除方法



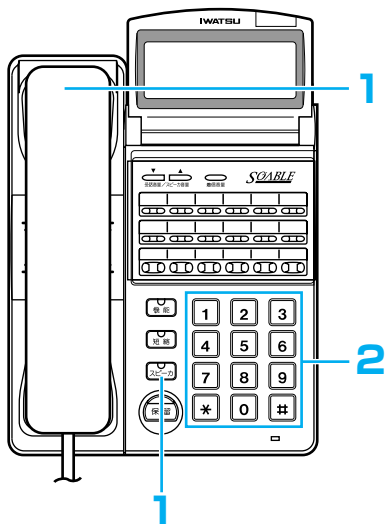
- 1 「パスワード」キー（または「機能」ボタン+「0」「4」「4」）を押します。
- 2 決められたパスワード（最大6桁）をダイヤルします。
発信規則が解除され、「パスワード」キーのランプが消灯します。その電話機からの外線発信が可能になります。

Note

電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）を、あらかじめデータ設定する必要があります。

空内線自動捕捉

空いている内線を自動的に捕捉できます。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 内線番号をダイヤルします。

1
前に
ご利用
いただく

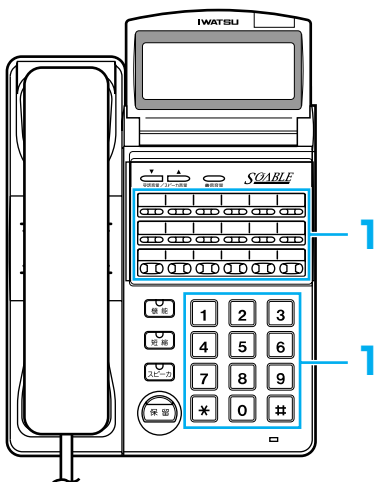
2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
I
SDN

一斉呼び出し/グループ呼び出し/ページング呼び出し オプション

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに、一斉に呼びかけることができます。



1 内線に接続、または外線通話中の状態で番号をダイヤル、または該当するキーを押します。

- 一斉に呼び出す場合
一斉呼び出し番号をダイヤル、または「一斉」キーか「ページング」キーを押します。
- グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合
グループ呼び出し番号をダイヤル、または「内線グループ番号」キーを押します。
- 外部スピーカを対象に呼び出す場合
ページング呼び出し番号をダイヤル、または「ゾーン番号」キーを押します（オプション）。

2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。

Note

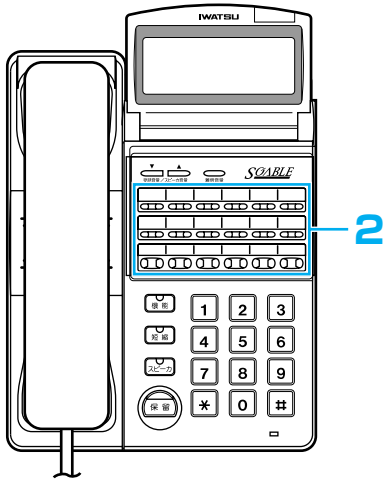
- 各呼び出しの対象となる多機能電話機と外部スピーカは、あらかじめデータ設定されます。どのようにデータ設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- グループ呼び出しの対象として登録できる多機能電話機は、最大5グループ、1グループ当たり最大16台の電話機となります。
- ページング呼び出しの対象として登録できる外部スピーカは、最大5グループ、1グループ当たり最大2台のスピーカとなります。
- これらの呼び出しにはミート・ミー応答でしか応答できません。

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

ミーティング・ミー応答

外部スピーカの呼び出しに応答できます。



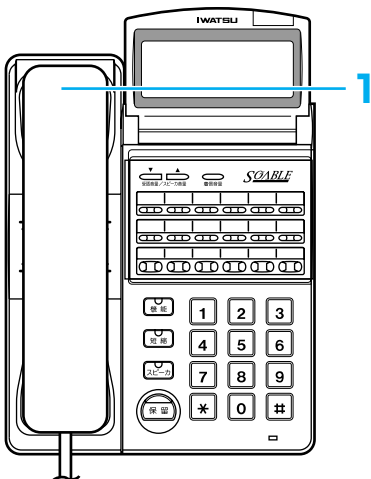
- 1 近くの電話機で内線に接続します。
- 2 「ページ応答」キー（または「機能」ボタン+「3」「5」）を押します。
呼び出しもとの電話機とつながります。
- 3 お話します。

Note

ミーティング・ミー応答機能は、一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しに応答するためのものです。使用する電話機は、あらかじめどの呼び出しに応答するか、データ設定しておきます。

内線ホットライン

受話器を取り上げるだけで、特定の内線電話機を呼び出せます。



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 データ設定された内線番号を自動的に呼び出します。

Note

内線ホットライン機能を使用するには、あらかじめデータ設定します。内線番号、パイロット番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号を登録できます。

内線コールバック

通話中の内線通話が終了したことをお知らせします。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

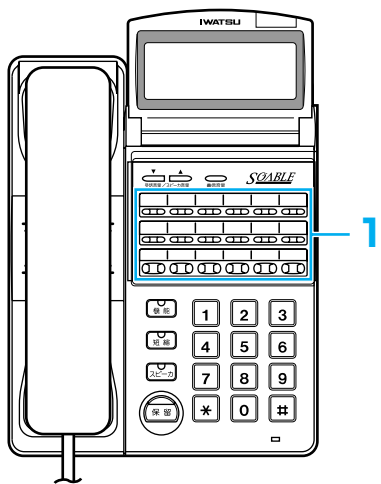
3
単独
電話機

4
I
SDN

5
システム
コントローラ

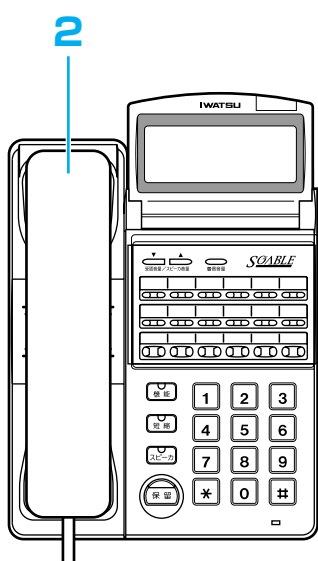
6
ご参考
に

設定方法



1 内線の相手が通話中、または着信拒否をしている場合に、その状態で「内線呼び返し」キー（または「機能」ボタン+「4」「3」）を押します。

2 受話器を置きます。



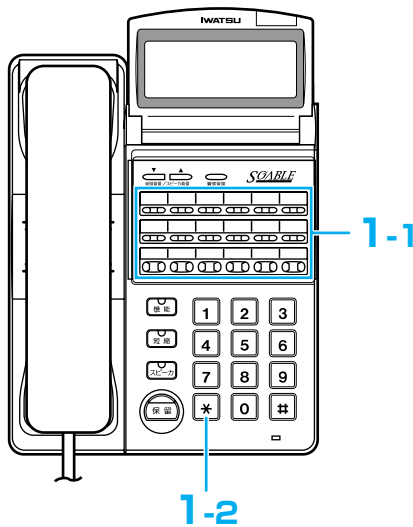
呼び返しがきたら

1 内線コールバック音が鳴ります。

2 受話器を取り上げます。
「ブルルルル」という呼び出し音に切り替わります。
※あらかじめデータ設定された時間内に応答しないと、キャンセルされます。

3 相手とつながったら、お話しします。

解除方法

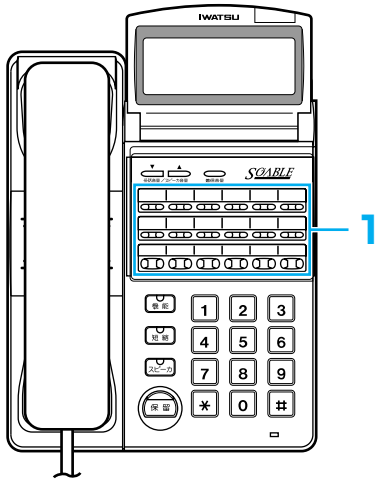


1 「内線呼び返し」キーを押し、続けて「*」ボタンを押します（または「機能」ボタン+「0」「4」「3」を押します）。

2 受話器を置きます。

オーバーライド

応答しない内線電話機（着信拒否、話中）を強制的に呼び出せます。この機能は、オーバーライド可のデータ設定をされた電話機か、フレキシブルキーに「強制呼び出し」キーを登録した電話機で利用できます。



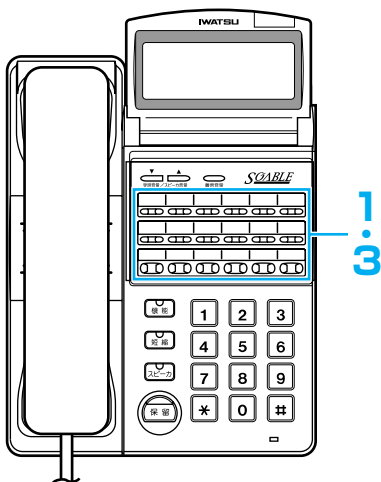
1 呼び出し先が通話中の場合、「強制呼び出し」キーを押します。

※あらかじめオーバーライド可のデータ設定をしている電話機では、この操作は必要ありません。

2 相手が通話中でも呼び出しを行います。

内線ハンズフリー応答

音声による内線呼び出しに対して、受話器を取り上げずに応答できます。



1 「マイク」キー（または「機能」ボタン+「6」「1」）を押します。

電話機内蔵マイクがONになり、「マイク」キーのランプが赤色で点灯します。

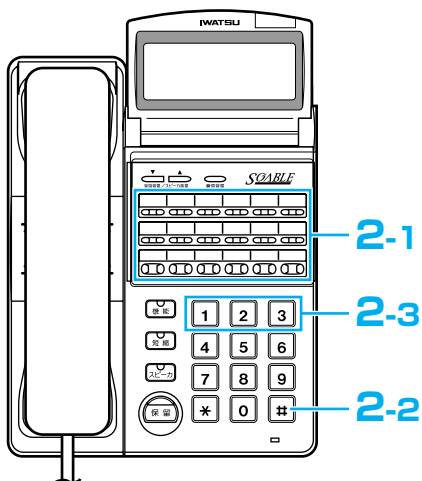
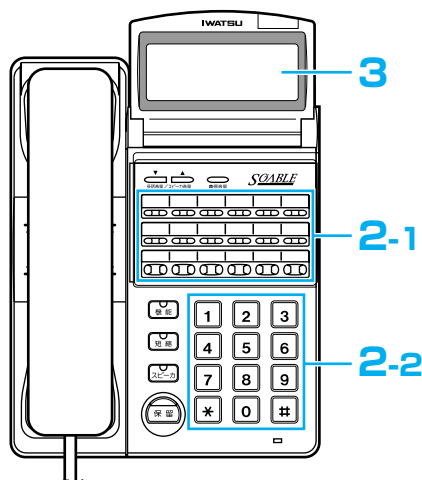
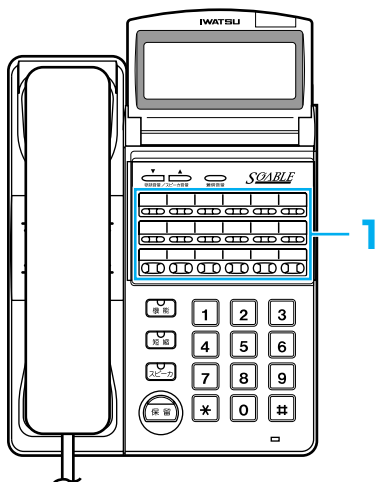
2 そのままお話しします。

3 通話が終わったら、「マイク」キー（または「機能」ボタン+「0」「6」「1」）を押します。

電話機内蔵マイクがOFFになり、「マイク」キーのランプが消灯します。
※「マイク」キーを押すごとに、マイクのON/OFFが切り替わります。

不在転送 / 話中転送 / 未応答転送

自席に不在中または通話中のときなど、かかってきた電話を、指定した電話機へ自動的に転送することができます。この機能は不在転送可の設定がされた電話機で利用できます。



Note

- 不在転送、話中 / 未応答転送、未応答転送機能を使用する電話機は、あらかじめ不在転送可をデータ設定します。
- 未応答転送機能を使用する電話機は、あらかじめ未応答時間をデータ設定します。
- 内線通話規制されている電話機への転送はできません。

転送機能のON/OFF

1 「不在転送」キーを押すごとに、転送機能のON/OFFが切り替わります。

ONにすると、「不在転送」キーのランプが赤色で点灯、または点滅します。着信した外線は、登録された転送先に自動的に転送されます。

転送先の登録方法

1 内線に接続します。

2 「不在転送」キーを押し、続いて転送先の内線番号をダイヤルします。

登録が完了すると「プッププッ」という確認音が聞こえます。

3 ディスプレイに、不在転送、または話中 / 未応答転送、または未応答転送であることが表示されます。

転送モードの切り替え方法

1 内線に接続します。

2 「不在転送」キー、「#」ボタン（2回押す）の順に押し、続いて該当する数字ボタンを押します。

登録が完了すると「プッププッ」という確認音が聞こえます。

- 不在転送モード → 「1」ボタン
- 話中 / 未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

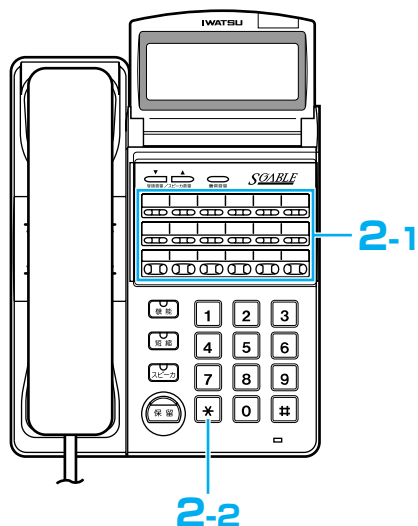
4
I S D N

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

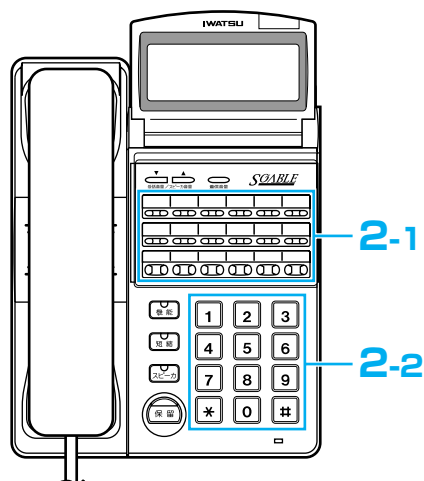
不在転送 / 話中転送 / 未応答転送

登録内容の取り消し方法



- 1 内線に接続します。
- 2 「不在転送」キーに続き、「*」ボタンを押します。

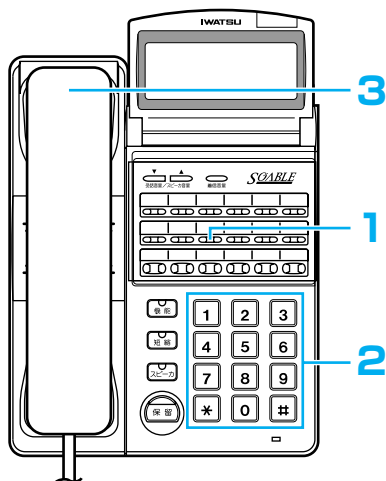
別の電話機から転送先を変更する方法



- 1 内線に接続します。
- 2 「不在転送」キー、「#」ボタンの順に押し、続いて転送を登録している電話機の内線番号をダイヤルします。
登録が完了すると「プッププッ」という確認音が聞こえます。
※転送先を登録している電話機が転送機能を休止（OFFの状態）にしている場合は、別の電話機から転送先の変更はできません。
- 3 受話器を置きます。
転送変更の操作を行った電話機が新しい転送先になります。

内線キャンブオン

自分が通話していた内線を、他の電話機に強制的に転送できます。この機能は、あらかじめオンフックキャンブオンを設定された電話機で利用できます。



- 1 内線で通話中に、「転送」キー（または「保留」ボタン）を押します。
- 2 転送先の内線番号をダイヤルします。
- 3 受話器を置きます。
- 4 強制的に転送されます。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
I
S
D
N

5
シ
ス
テ
ム
コ
ン
ト
ロ
ー
ラ

6
ご
参
考
に

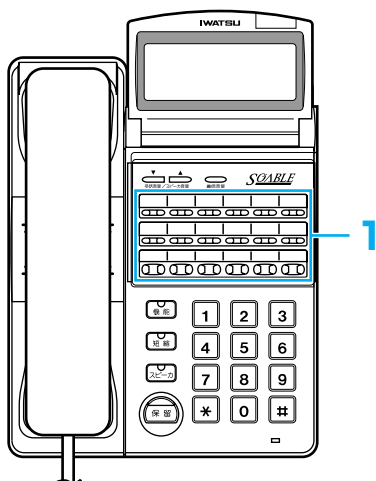
Note

- 転送先が通話中でも内線を転送することができます。
- 「転送」キーのランプが赤色で点滅中のとき「転送」キーを押すと、保留した内線に再び応答できます。

リレーコントロール

オプション

ドアロックの解除など、電話機から別のユニットの電源などをON/OFFできます。



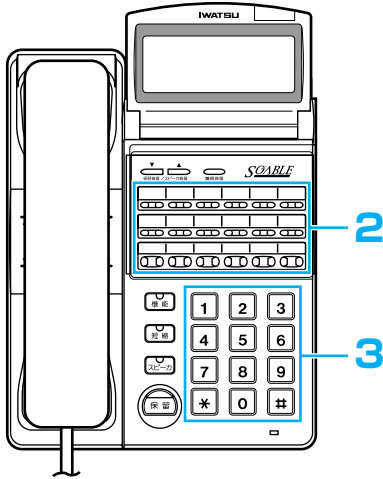
- 1 「リレー番号」キーを押します。
「リレー番号」キーのランプが、ONのときは赤色で点灯し、OFFのときは消灯します。
- 2 該当するリレースイッチがON/OFF、または一定時間ONします。

Note

- 操作できるリレーは最大2個です。
- リレーのスイッチ番号は、あらかじめデータ設定されます。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- リレーを一定時間ONする場合は、あらかじめ時間をデータ設定します。

タイムコール

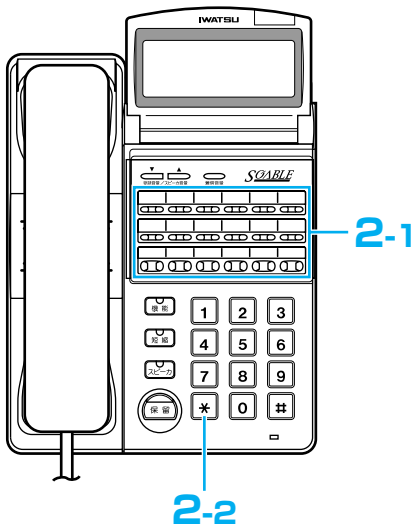
設定した時刻に電話機のアラーム音を鳴らせます。アラーム音継続時間は、あらかじめデータ設定する必要があります。



時刻の設定方法

- 1 内線に接続します。
- 2 「タイムコール」キー（または「機能」ボタン+「4」「1」）を押します。
- 3 アラーム音を鳴らす時刻を24時間表記でダイヤルします。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」とダイヤルします。
設定が登録されると「プッププッ」という確認音が聞こえ、「タイムコール」キーのランプが赤色で点灯します。
- 4 設定時刻に「ププププ」というアラーム音がなります。

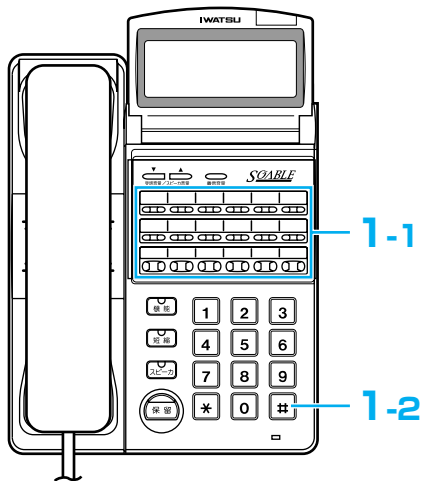
登録時刻の解除方法



- 1 内線に接続します。
- 2 「タイムコール」キーを押し、続けて「*」ボタンを押します（または「機能」ボタン+「0」「4」「1」とダイヤルします）。

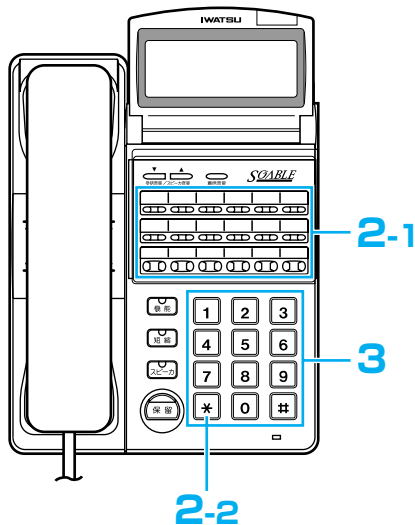
メッセージウエイト

不在または通話中で応答しない内線相手に、折り返し連絡してほしい旨のメッセージを伝えられます。



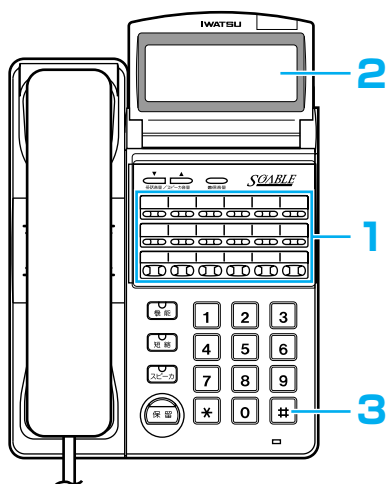
メッセージウエイトの設定方法

- 1 呼び出したい相手が通話中または応答しないとき、そのままの状態、「伝言」キー、「#」ボタンの順に押します。
- 2 受話器を置きます。
相手の電話機の「伝言」キーのランプが点灯します。



メッセージウエイトの解除方法

- 1 内線に接続します。
- 2 「伝言」キー、「*」ボタンの順に押します。
- 3 メッセージウエイトを登録した先の内線番号をダイヤルします。
- 4 受話器を置きます。
登録が取り消され、相手の電話機の「伝言」キーのランプが消灯します。



連絡を待っている相手の呼び出し

- 1 内線に接続し、赤色で点灯する「伝言」キーを押します。
メッセージウエイトが登録されていると、「伝言」キーが押されるまでランプは点灯しています。
- 2 ディスプレイにメッセージ内容が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
連絡を待っている相手の内線が自動的に呼び出されます。
※この操作で「*」ボタンを2回押すと、メッセージを消すことができます。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
I S D N

5
システムコントローラ

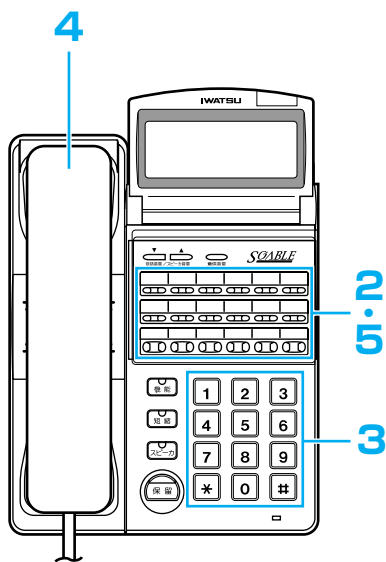
6
ご参考に

Note

- 1台の電話機に対して4通のメッセージウエイトを記憶させることができます。
- メッセージウエイトの登録、受け取りを行う電話機は、あらかじめデータ設定します。

不在メッセージ

内線をかけてきた相手に対し、不在中の連絡事項を相手の電話機のディスプレイ上にメッセージとして表示できます。

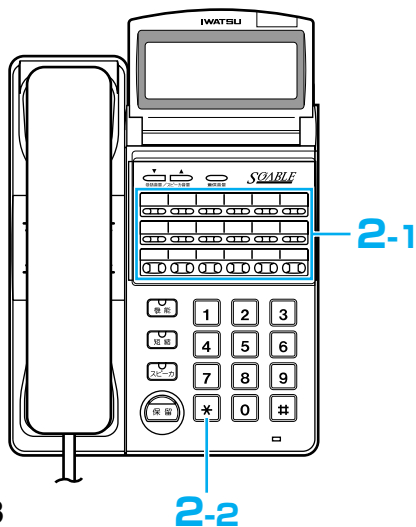


不在メッセージの登録方法

- 1 内線に接続します。
- 2 「不在メッセージ」キーを押します。
- 3 残したいメッセージを登録します。
 ※登録できる不在メッセージは1つだけです。
 - 戻り時間
「1」を押し、続けて戻り時間を24時間表記でダイヤルします。
 〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」とダイヤルします。
 - 戻り日
「2」を押し、続けて戻り日を2桁でダイヤルします。
 〈例〉5日に戻る場合は、「0」「5」とダイヤルします。
 - 会議終了時間
「3」を押し、続けて会議終了時間を24時間表記でダイヤルします。
 - 行き先電話番号
「4」を押し、続けて行き先電話番号を11桁以内でダイヤルします。
 11桁以内の場合は、最後に「#」を押してください。
- 4 メッセージを入力したら、受話器を置きます。
- 5 「不在メッセージ」キーのランプが点滅しているのを確認します。
- 6 内線で呼び出されると、相手の電話機のディスプレイに上記手順（3）で登録したメッセージ内容が表示されます。

不在メッセージの消去方法

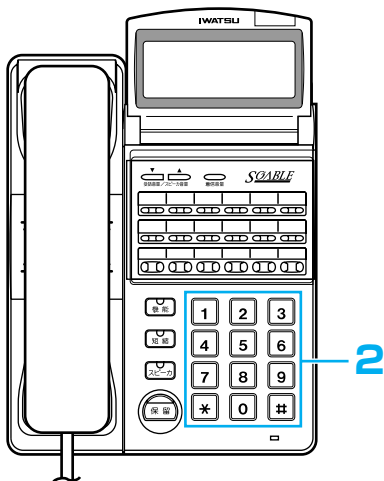
- 1 内線に接続します。
- 2 「不在メッセージ」キーに続き、「*」ボタンを押します。



ドアホン接続

オプション

内線からドアホンを呼び出せます。



- 1 内線に接続します。
- 2 呼び出すドアホンの内線番号をダイヤルします。
- 3 相手が出たら、お話しします。

Note

- ドアホンと通話するには、あらかじめドアホンごとに内線番号をデータ設定します。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ドアホン1台ごとに、呼び出せる内線電話機は16台までです。

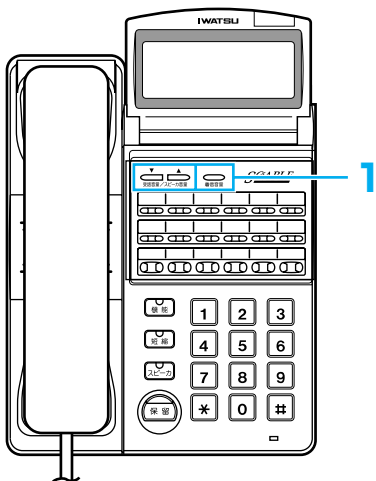
キータッチトーン

ダイヤルボタンが押されているか、音で確認できます。

※ダイヤルボタンを押すごとに、「ピッ」という音がします。キータッチトーンを送出するには、あらかじめ電話機ごとにデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電子ボリューム

ボタンを押すことで、着信音、受話音量をそれぞれ調節できます。



- 1 「着信音量」 ボタンを押すと、着信音の大きさを4段階に切り替えられます。
「受話音量／スピーカ音量」 ボタンを押すと、通話を受けるときの大きさを3段階に切り替えられます。
※受話音量の調節は、初期値に戻るモードと変更した音量を維持するモードがあります。

Note

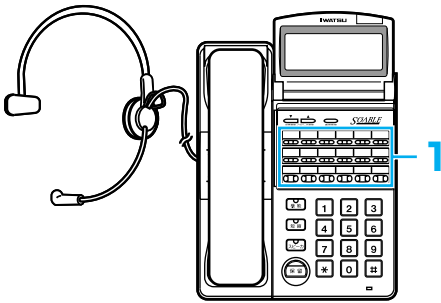
受話音量の初期値およびモードは、あらかじめデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1
前に
ご利用
いただく2
多機能
電話機3
単独
電話機4
I S D N5
システム
コントローラ6
ご参考
に

ヘッドセット接続

オプション

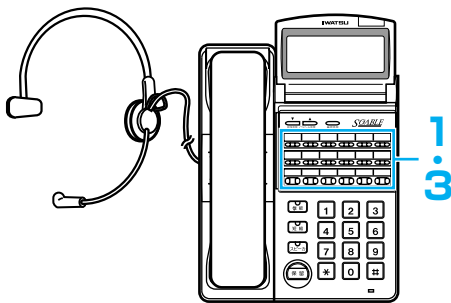
ヘッドセットを使用して通話ができます。



- 1 「ヘッドセット」キーを押します。
「ヘッドセット」キーのランプが点灯します。

- 2 接続したヘッドセットを利用して、多機能電話機を使用します。

保留した外線を特定内線に自動転送する方法

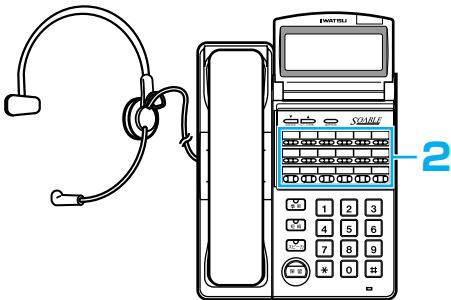


- 1 通話中に転送先の「DSS」キーを押します。

- 2 転送先の相手とつながったら「〇〇さん、××番に電話です」のように連絡します。

- 3 「接続」キーを押します。
転送された人は、そのまま通話を始めます。

通話中の外線または内線を切るとき



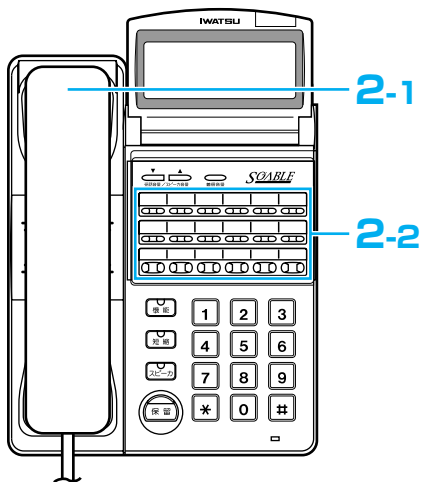
- 1 外線、または内線で通話しています。
外線会議通話、複数外線会議通話または内線会議通話の状態になっています。

- 2 「切断」キーを押します。

- 3 通話が切れます。
会議通話から抜けます。

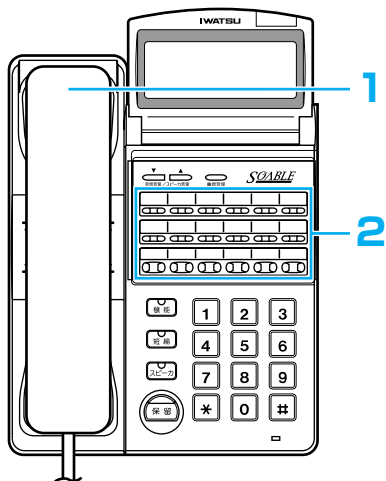
秘書応答

設定された他の電話機（たとえば上司の電話機）にかかってきた着信に応答できます。この機能は、あらかじめデータ設定された電話機で利用できます。



他の内線電話機への着信に応答する場合

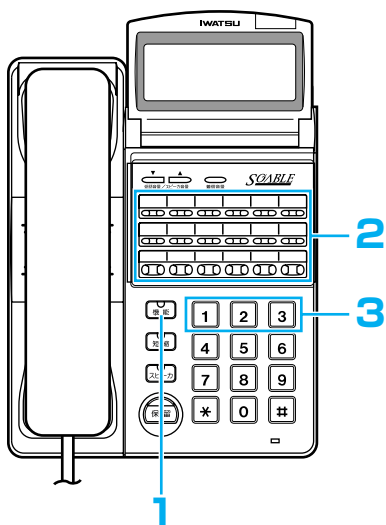
- 1 「秘書応答」キーが緑色に点滅し、秘書応答着信音が鳴ります。
※ランプが高速点滅なら外線着信、低速点滅なら内線着信です。
- 2 受話器を取り上げ、「秘書応答」キーを押します。
- 3 お話します。



設定された他の内線電話機の呼び出し

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「秘書応答」キーを押します。
- 3 相手が応答したら、通話を始めてください。
呼び出す電話機は、着信に応答する電話機（たとえば上司の電話機）と同じです。

秘書応答着信音のモードの変更



- 1 受話器を下ろした状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「秘書応答」キーを押します。
現在の秘書応答着信音のモードが、ランプとディスプレイで表示されます。
- 3 設定したいモードに該当する数字ボタン（1～3）を押します。
秘書応答着信音のモード即時鳴音、遅延鳴音、無鳴音の3種類があります。
 - 即時鳴音 → 「1」ボタン
 - 遅延鳴音 → 「2」ボタン
 - 無鳴音 → 「3」ボタン

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
I S D N

5
システムコントローラ

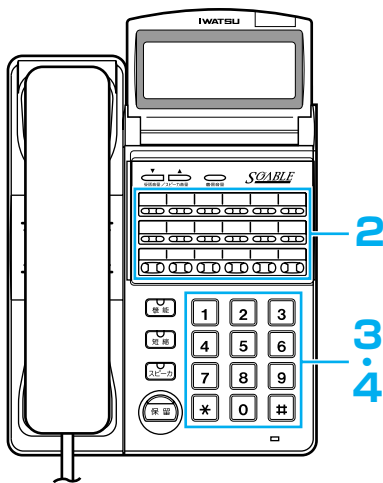
6
ご参考に

内線サービスクラス切り替え

電話機ごと、または内線グループごとの市外発信規制範囲を切り替えられます。

サービスクラス	規制内容
0	規制はありません。
1~4	指定外線に、あらかじめ設定された48桁以内の規制ダイヤルコードと一致する番号がダイヤルされた場合は、市外発信できます。
5	システム短縮ダイヤルのみ発信できます。
6	外線発信は全面的に禁止されます。ただし、外線着信には応答できます。
7	外線発信、外線着信ともに全面禁止です。ただし、鳴音指定されている外線の着信、および外線自動転送の着信には応答できます。

指定されている2つのサービスクラスの切り替え方法



1 内線に接続します。

2 「サービスクラス切り替え」キーを押します。
内線グループごとの切り替えは、「サービスクラス切り替え」キーを押し、続けて「*」ボタンを押します。

3 切り替え対象の内線番号をダイヤルします。
内線グループごとの切り替えは、切り替え対象の内線グループ番号をダイヤルします。

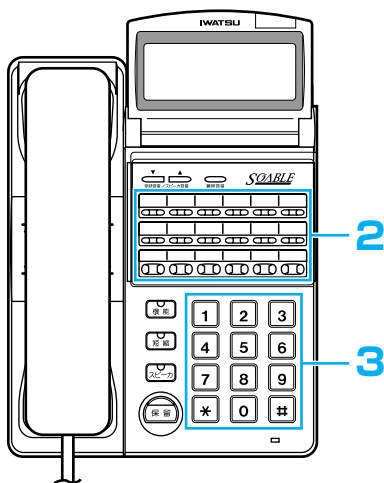
4 モード番号（「1」または「2」）をダイヤルします。
モードが切り替わると、「ブップブツ」という確認音が聞こえます。
※モード番号が「1」のときは昼間モード、「2」のときは夜間モードの市外発信クラスになります。

Note

- 内線電話機ごと、または内線グループごとに、市外発信クラスを1つまたは2つデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 内線電話機ごと、または内線グループごとに切り替えるかを、あらかじめデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

時刻調整

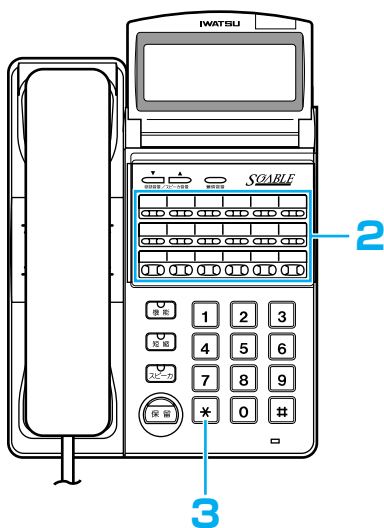
システム内の時計をセット、または微調整できます。



時刻の設定方法

- 1 内線に接続します。
- 2 「時刻調整」キー（または「機能」ボタン+「6」「4」）を押します。
- 3 24時間表記で時刻をダイヤルします。
 〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」とダイヤルします。
 時刻がセットされると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

時刻の微調整方法



- 1 内線に接続します。
- 2 「時刻調整」キー（または「機能」ボタン+「6」「4」）を押します。
- 3 「*」ボタンを2回押します。

Note

- 時刻の微調整を行った時点で、0～29秒のときは分はそのまま表示され、また30～59秒のときは1分プラスして表示されます。いずれの場合も、秒は0にリセットされます。
- 操作は指定電話機で行います。指定電話機はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

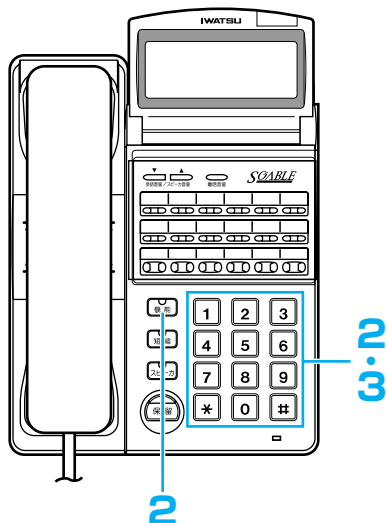
4 ISDN

5 システムコントローラ

6 ご参考に

保留音切り替え

システム内の保留音の曲名を切り替えることができます。



- 1 内線に接続します。
- 2 「機能」 ボタン+ 「6」 「6」 を押します。
現在の保留音が聞こえます。
- 3 選曲番号「1」～「6」のいずれかを押します。
選曲された保留音が聞こえます。
保留音には以下の種類があります。

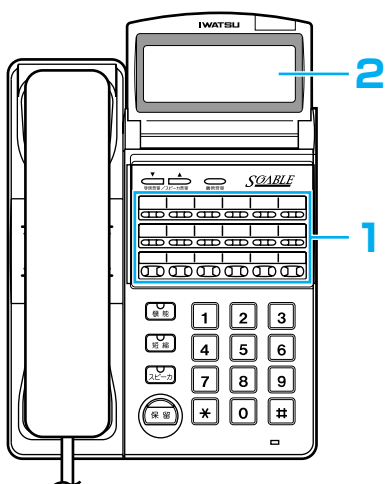
曲番	曲 目
1	瞳がほほえむから
2	HERE COMES THE SUN
3	ハイ・ホーⅠ
4	未来予想図Ⅱ
5	I NEED TO BE IN LOVE
6	ハッヘルベルのカノン

Note

- 選曲番号は繰り返し押すことができます。
- 操作は指定電話機で行います。指定電話機はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

LCD表示切り替え

ディスプレイに表示する情報を切り替えられます。



- 1 「表示切り替え」キー（または「機能」ボタン+「6」「3」）を押します。
 - 2 ディスプレイに表示される情報が切り替わります。
- 表示内容の切り替えは、行ごとに行われます。ただし、該当する情報がない場合は、次のレベルの情報を繰り上げて表示します。

表示レベル	表示内容	
	1 行	2 行
4	データ表示 ガイダンス表示 通話料金管理表示	データ表示 入力データ表示
3	外線発信捕捉 内線発信 呼状態表示	タイムコール着信 不在メッセージ
2	外線着信（着信識別） 内線着信（着信識別）	外線通話中（通話時間） {内線通話中（名前）} 注1 {内線通話中（内線識別）} 注2
1	外線通話中（着信識別） {内線通話中（着信識別）} 注2	外線着信（外線識別・名前） {内線着信（名前）} 注1
0	時計	状態表示

注1：名前は登録されている場合のみ表示されます。

注2：名前の登録がないときは2行目のレベル2のみ表示します。

ディスプレイ表示の主な例

1
前に
ご利用
いただく Note

あらかじめ日、曜日、時刻はデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

 Note

- 表示はダイヤル数字が右から左へ流れていきます。
- 16桁以上になると左（先にダイヤルしたもの）が見えなくなります。
- 短縮番号など、登録されている番号でかけるときも表示されます。

カレンダー・時刻表示

- 使用していないときに、年月日、時刻を表示します。

1 5 TUE 1 0 : 3 0 AM
1 1

内線番号

2
多機能
電話機

ダイヤルモニタ

- ダイヤルすると、その番号が表示されます。

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

ダイヤル番号

3
単独
電話機

内線相手番号表示

- 内線で着信
- 相手の内線番号、および登録されている発信者氏名が表示されます。
※発信者氏名は、あらかじめデータ設定により、登録されている場合に表示されます。

登録発信者名

ナイチャク イワツウーソアブ ル
1 2

- 転送で着信
- 発信内線番号、および転送内線番号が表示されます。

登録発信者名

ナイチャク イワツウーソアブ ル
1 3 → 1 4

- 会議通話中
- 会議に参加している内線番号が表示されます。

1 5 1 6 1 7

会議参加している内線番号

4
I S D N5
システ
ムコン
トロー
ラ6
ご参
考に

ディスプレイ表示の主な例

通話時間・料金表示

100分以内の外線通話時間が表示されます。

Note

- 通話時間が100分を超えると00:00表示に戻ります。
- 通話料金が1,000,000円を超えると0表示に戻ります。
- あらかじめ内線電話機ごとに、外線通話中の料金表示の有無をデータ設定することが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 非課金ダイヤル（0120、114などの100番系など）をダイヤルしたときは、通話時間のみ表示します。
- 表示される通話料金は、電話局の通話料金と異なることがあります。異なった場合でも、公式データとして電話局などに提出・申し立てすることはできません。
- 通話料金の改訂などに伴うプログラム変更等は有償となります。

- 国内電話、国際電話、自動車電話、船舶電話、NCC（日本テレコム、KDDI）に対する外線通話料金が表示されます。

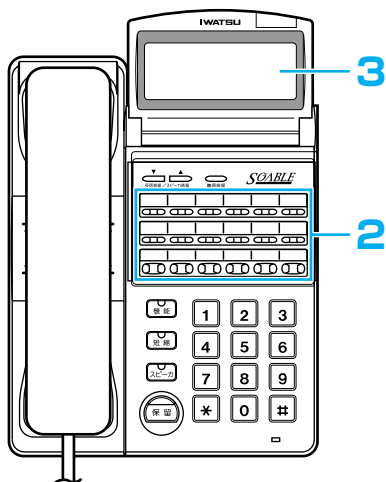
発信外線番号

発信外線グループ番号

キョクセン # 3	GP. 1
15:32	320円

電話機番号表示

自分の電話機の内線番号、および登録してある発信者名を表示できます。



- 1 受話器は置いたままにします。
- 2 「自番号」キー（または「機能」ボタン+「9」「9」）を押します。
- 3 約10秒間、下の例のようにディスプレイの表示が変わります。

論理番号

内線番号

EXT # 11	21
イワツウソアブル	

登録発信者名

Note

論理番号、内線番号は、あらかじめデータ設定されたものです。

通話料金集計表示

各電話機ごとに前回分、本日分、今月分、先月分の通話料金を表示できます。

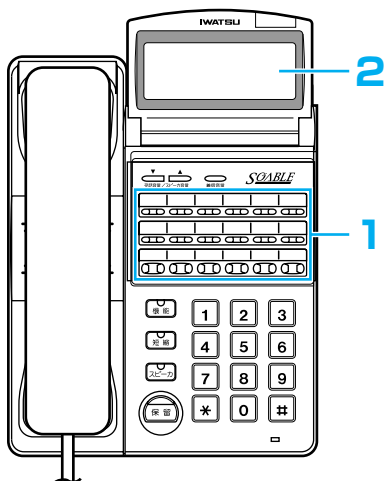
● 前回分の集計方法

1 「前回」キー（または「機能」ボタン+「7」「1」）を押します。

2 直前にかけた通話料金が表示されます。

通話料金

ゼンカイ 80円



Note

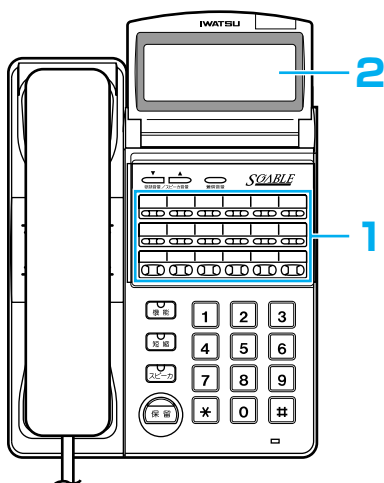
- 通話料金は、1,000,000円を超えると0表示に戻ります。
- あらかじめ集計日（1～28日）、集計時刻（00～23時）はデータ設定をする必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● 本日分の集計方法

1 「本日」キー（または「機能」ボタン+「7」「2」）を押します。

2 その日の通話ごとの料金集計が表示されます。

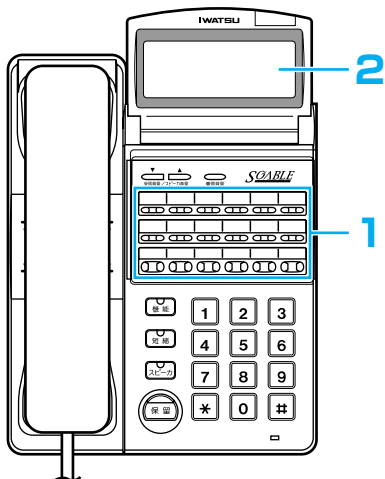
ホンジツ 2480円



Note

当日0時以降が集計範囲です。

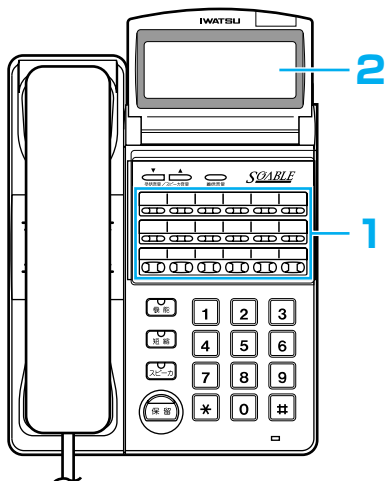
ディスプレイ表示の主な例



● 今月分の集計方法

- 1 「今月」キー（または「機能」ボタン+「7」「3」）を押します。
- 2 定時に集計した本日分の通話料金集計が表示されます。

コンゲツ 23480円



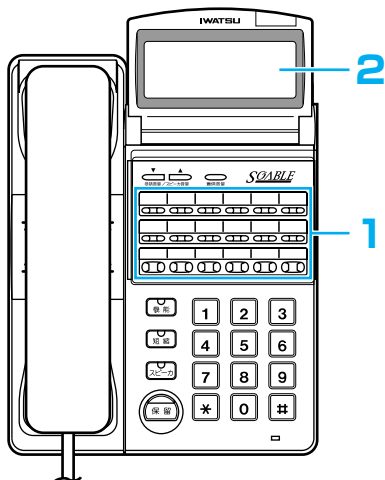
● 先月分の集計方法

- 1 「先月」キー（または「機能」ボタン+「7」「4」）を押します。
- 2 決められた集計日、集計時刻まで1ヶ月分の通話料金集計が表示されます。

センゲツ 32840円

通話料金使用率表示

- 部署ごとなどに通話料金予算額を設定でき、またそれに対する使用率を表示できます。



- 1 「使用率」キー（または「機能」ボタン+「7」「5」）を押します。
- 2 通話料金予算額に対する使用率が表示されます。

G03 90000円 180%

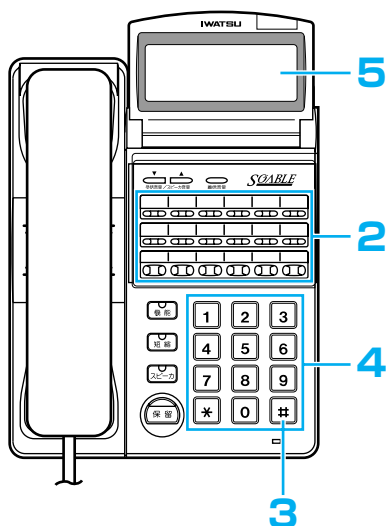
Note

- ・ 通話料金予算額は指定電話機で設定します。予算額は百円単位で100円～999,900円まで設定できます。
- ・ 通話予算額が0の場合は、使用率200%まで表示できます。
- ・ 予算額超過の場合は、使用率200%まで表示できます。
- ・ 通話料金予算額管理のための内線グループ（部署などの分け方）は、あらかじめデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・ 指定電話機は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

通話料金集計

指定電話機は、内線番号を指定することで他の電話機ごとに前回分、本日分、今月分、先月分の通話料金を集計することができます。

- 集計日（1～28）、集計時刻（00～23時）は、あらかじめデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「前回」キー、「本日」キー、「今月」キー、「先月」キーは、あらかじめデータ設定する必要があります。
- 通話料金は、1,000,000円を超えると0表示に戻ります。



1 受話器は置いたままにします。

- 2 前回分の場合 → 「前回」キー
 (または「機能」ボタン+「7」「1」)
 本日分の場合 → 「本日」キー
 (または「機能」ボタン+「7」「2」)
 今月分の場合 → 「今月」キー
 (または「機能」ボタン+「7」「3」)
 先月分の場合 → 「先月」キー
 (または「機能」ボタン+「7」「4」)
 を押します。

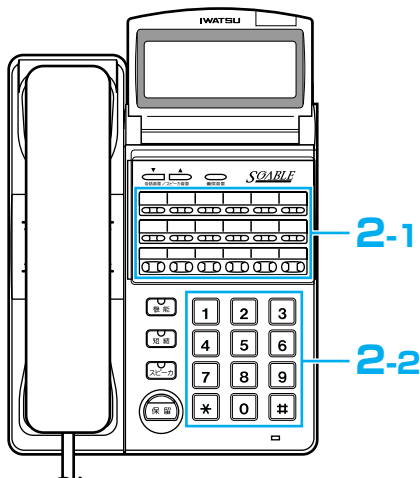
3 「#」ボタンを押します。

4 料金表示を行いたい内線電話機の内線番号を、ダイヤルします。

5 ディスプレイに通話料金が表示されます。

Note

- 本日は当日0時以降が集計範囲です。
- 今月分の集計結果は、その集計時点で先月分に積算されます。
- 表示される通話料金は、電話局の通話料金と異なることがあります。異なった場合でも、公式データとして電話局などに提出・申し立てすることはできません。
- 通話料金の改訂などに伴うプログラム変更等は有償となります。



- 他の電話機の集計額をクリアする（0に戻す）方法

1 内線に接続します。

2 クリアしたい集計操作を行い、最後に「*」ボタンを押します。

ディスプレイ表示の主な例

不在メッセージ表示

- 登録した不在メッセージは常に表示されます。また、その間に内線呼び出しがあったときは、相手の多機能電話機に、同様の不在メッセージが表示されます。
- 登録できるメッセージは戻り時間、戻り日、会議終了時間、行き先電話番号の4種類です。

 **Note**

登録方法、消去方法は58ページをご参照ください。

戻り時間

1 5 T U E 1 0 : 3 0 A M
1 3 : 3 0 マデ フザ イ

戻り日

1 5 T U E 1 0 : 3 0 A M
1 5 ニチ マデ フザ イ

会議終了時間

1 5 T U E 1 0 : 3 0 A M
1 1 : 0 0 マデ カイギ

行き先電話番号

1 5 T U E 1 0 : 3 0 A M
ユキサキ→0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

ナンバーディスプレイ表示

外線着信で、相手から発信者番号が通知されたときは、かかってきた相手の電話番号や名前を表示します。

かかってきた相手先の番号

アイテサキ 0 6 1 2 3 4 5 6 7 8

かかってきた相手先の番号と名前

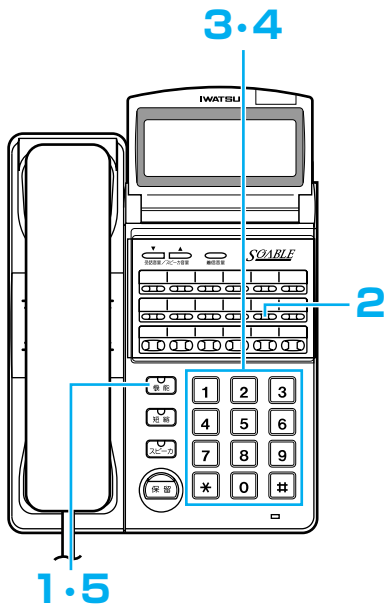
アイテサキ イワツウーニシニホン
0 6 1 2 3 4 5 6 7 8

 **Note**

- 「INSネット64」回線間の発信者を除いてナンバーディスプレイ表示はNTTとの契約が必要になります。
- 相手先の名前を表示するには、あらかじめ相手先の電話番号に対応した名前の登録が必要です。登録方法は「ナンバーディスプレイを利用するとき」(71ページ)をご参照ください。
- 相手先の名前(または番号)が11桁を超える場合は'アイテサキ'の文字は表示されません。

ナンバーディスプレイを利用するとき

ナンバーディスプレイサービス（NTTとの契約が必要です）を利用して相手先の名称を表示することができます。



相手先の電話番号の登録方法

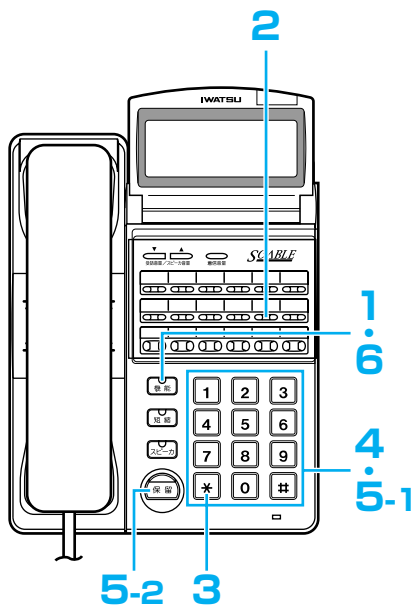
- 1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
- 2 「呼び返し」キーを押します。
- 3 登録番号（001～500）を押します。
- 4 相手先の電話番号（12桁以内）をダイヤルします。
相手先の電話番号は市外局番を含めて入力してください。
〈例〉相手先が大阪の場合は、「0」「6」とダイヤルします。
- 5 「機能」ボタンを押します。
続けて「相手先名の登録方法」に従って相手先名を登録してください。



Note

- 相手先の電話番号および相手先名は指定電話機で登録します。指定電話機はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 夜間切り替え（86ページ）で夜モードのときに対象とする相手先の電話番号および相手先名は登録番号501～999で登録します。
- 手順（3）で登録番号のかわりに「#」ボタンを押すと、空いている登録番号が自動的に検索されディスプレイに表示されます（空きが無い場合は000が表示されます）。空き登録番号が検索できたら、その登録番号で手順（1）から登録してください。

相手先名の登録方法



- 1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
- 2 「呼び返し」キーを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録番号（001～500）を押します。
- 5 相手先名（16文字以内）を入力します。
 1. 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 2. ダイヤルボタンで文字を選択し、「保留」ボタンで確定します。再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字がキャンセルされます。
 3. 文字対応表（17ページ）をご参照ください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

1
ご利用いただく
前に

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
ISDN

5
システムコントローラ

6
ご参考に

多機能電話機の音について

多機能電話機の受話器で聞こえる音

音の種類	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
内線発信音	400	ツツツツツツツツツツ・・・	受話器を取り上げたとき
第二ダイヤルトーン	400	ツツツツツ・・・	通話を転送するとき
内線呼出音	432/480	ブルルルル、ブルルルル、・・・	電話機を呼び出しているとき
話中音	400	ツー、ツー、ツー、・・・	呼び出した相手が話し中のとき
警告音	400	ツーツ、ツーツ、ツーツ、・・・	操作が適切でないとき
確認音	800	プッププッ、	機能が完了したとき
秘話解除音	800	プー、	外線通話中に秘話解除の操作をしたとき
転送音	800	プー、	通話の転送が完了したとき
話中呼出音	432/480	ブル、ブル、ブル、・・・	通話中に電話がかかってきたとき
バイパス音	800	プー、	通話中に他の電話機から割り込み操作が行われたとき
アッドオントーン	800	プー、	会議通話の用意ができたとき
会議中トーン	400	ツ、ツ、ツ、・・・	会議通話中のとき
ハウラ音	1532	キーン・・・	受話器が長い間外れているとき
保留音	メロディIC /外部	┌──────────────────┐ └──メロディ	通話を保留したとき
外線発信音	400	ツー・・・	外に電話をかけるとき
ドント・ディスターブ音	800	プーツ、プーツ、プーツ、・・・	呼び出し先が着信拒否中のとき
ウェイティングトーン	800	プブ、プブ、プブ、・・・	外線がすべて使用中のときに外線が空くのを待っているとき
不在メッセージトーン	800	プーツ、プーツ、プーツ、・・・	呼び出し先に不在メッセージが登録されているとき
インタセプトトーン	A:624 B:400	ブルブル、	優先順位の高い電話機から割り込み着信があるとき
確認音 (長音)	800	プッププッ、プッププッ、・・・	登録操作が完了したとき
内線音声呼び (冒頭音)	400	プー、	内線で音声呼び出したときに鳴るお知らせ音

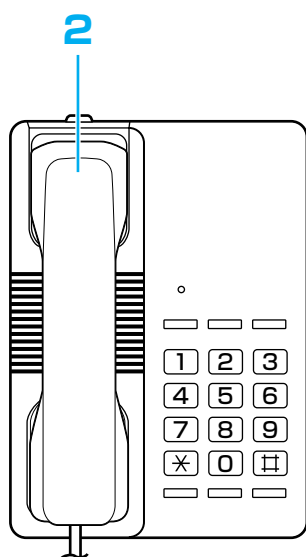
■多機能電話機で鳴る音

音の種類	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
タイムコール (設定時刻になるアラーム音)	800 (800)	ブブブブ、 ブブブブ、 . . .	タイムコールで設定した時刻に鳴る お知らせ音
長時間通話アラーム音	(800)	ブブブ、	一定時間お話ししたことをお知らせ するアラーム音
内線音声呼び (冒頭音)	480/624	トゥルルルル、	内線で音声呼び出しされたときに鳴 るお知らせ音
転送保留リコール	432/480 (400/500)	ブブブブ、 ブブブブ、 . . .	通話の転送ができなかったとき、ま たは転送操作を途中でやめたとき
外線保留警報	432/480 (400/500)	ブブブブ、 ブブブブ、 . . .	保留状態が一定時間を超えたとき
外線キャンプオン1	432/480 (400/500)	ブルルルル、 ブルルルル、 . . .	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンプオン2	432/624/16 (400/667/16)	トゥルルルツ、 トゥルルルツ、 . . .	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンプオン3	432/480 (400/500)	ブルブル、 ブルブル、 . . .	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンプオン4	保留音 (400/800)	┌─────────── メロディ	外線通話が転送されてきたとき
着信警報音	480/624 (400)	ポポポポポ、 ポポポポポ、 . . .	設定した電話機が一定時間以上応答 しないとき
外線着信1	432/480 (400/500)	ブルルルル、 ブルルルル、 . . .	外線に電話がかかかってきたとき
外線着信2	432/624/16 (400/667/16)	トゥルルルツ、 トゥルルルツ、 . . .	外線に電話がかかかってきたとき
外線着信3	432/480 (400/500)	ブルブル、 ブルブル、 . . .	外線に電話がかかかってきたとき
外線着信4	保留音 (400/800)	┌─────────── メロディ	外線に電話がかかかってきたとき
優先内線着信 (トーン)	A:624, B:400 (667/400)	ブルブル、 ツツツ、 ブルブル、 ツツツ、 . . .	着信中に優先の高い割り込み着信が かかってきたとき
優先内線着信 (音声)	A:624, B:400	ブルブル、 ┌─────────── 音声	着信中に優先の高い割り込み着信の 音声呼び出しがあったとき
内線リコール	480/624 (400)	ポポポポポ、 ポポポポポ、 . . .	内線通話の転送操作を途中でやめた とき
内線コールバック	480/624	ポポポポポ、 ポポポポポ、 . . .	お話し中の内線通話が終了したとき
内線キャンプオン	480/624 (400)	トゥルルルル、 トゥルルルル、 . . .	内線通話が転送されてきたとき
内線着信	480/624 (400)	トゥルトルトルトル、 トゥルトルトルトル、 . . .	内線から電話がかかかってきたとき
ドアホン着信1	ピンポン1 (400)	ピンポーンピンポーン、	ドアホンからの呼び出しがあったと き
ドアホン着信2	ピンポン2 (400)	ピンポンピンポンピンポン、	ドアホンからの呼び出しがあったと き

多機能電話機の音について

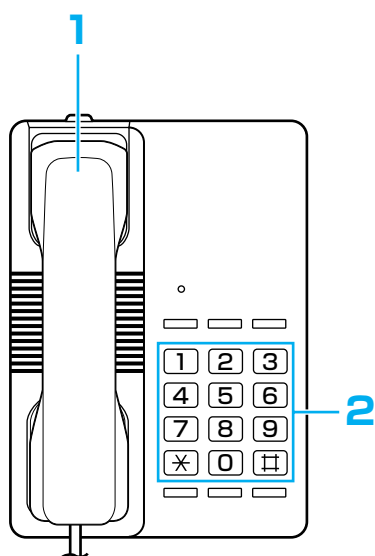
音の種類	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
ドアホン着信3	480/624 (400)	トゥルトゥルトゥル、 トゥルトゥルトゥル、 . . .	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信4	480/624 (400)	ポポポポポ、 ポポポポポ、 . . .	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ページング	音声	┌ 音声	一斉/グループ/ページング呼び出しされているとき
BGM	音声	┌ ミュージック	バックグラウンドミュージック
パーソナライズ-1	432/480	ブルルルル、 ブルルルル、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます
パーソナライズ-2	432/624/16	トゥルルルツ、 トゥルルルツ、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます
パーソナライズ-3	432/480	ブルブル、 ブルブル、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます
パーソナライズ-4	480/624	トゥルトゥルトゥル、 トゥルトゥルトゥル、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます
パーソナライズ-5	480/624	ポポポポポ、 ポポポポポ、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます
パーソナライズ-6	480/624	トゥルルルル、 トゥルルルル、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます
パーソナライズ-7	432/480	ブブブブ、 ブブブブ、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます
パーソナライズ-8	800	プーツ、プーツ、プーツ、 . . .	各電話機ごとに、お好きな着信音が選べます

基本的な使い方



電話がかかってきたとき

- 1 着信音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。



内部の人を呼び出すとき

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 相手の内線番号をダイヤルします。
- 3 相手とつながり、お話しができます。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

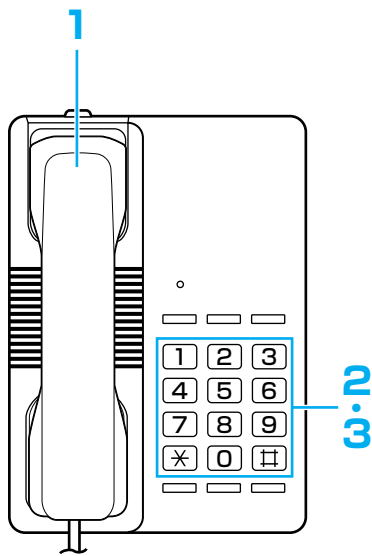
3
単独
電話機

4
I
SDN

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

基本的な使い方



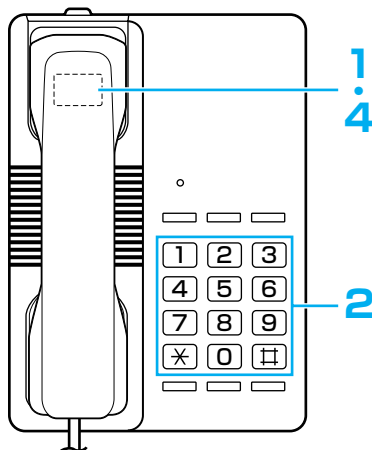
Note

特番の設定は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外へ電話をかけるとき

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 外線を選ぶための「特番」をダイヤルします。
空いている局線が捉えられたら、「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
- 4 相手とつながり、お話しができます。

電話を内部の人に回すとき



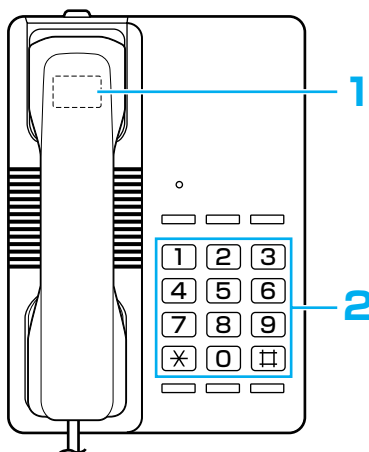
Note

内線で呼び出している途中で受話器を置くと、保留警報着信となります。このとき受話器を取り上げれば保留応答となり、お待たせしていた人との通話になります。フッキングを行なうにはデータ設定が必要です。

- 1 通話中にお待たせすることを伝えてから、「フッキング」（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
保留となり、お話ししていた相手にはメロディーを聞かせます。自分の電話機の受話器から「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 通話を回したい人の内線番号をダイヤルします。
- 3 相手が応答したら、電話を回すことを伝えます。
- 4 受話器を置きます。
- 5 お待たせしていた人と通話を回された人の通話になります。

機能特番の使い方

機能特番をダイヤルするとき



1 通話中の場合は「フッキング」（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

※ 使用していない場合は受話器を取り上げます。

2 機能特番をダイヤルします。

下表の機能特番が使用できます。

※ ダイヤル番号は、データ設定により設定されます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 以下の機能の機能特番が使用できます。

表の特番空欄部には、設定したダイヤル番号を書き込みます。

ダイヤル番号は、データ設定により設定されます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

特番	機能	特番	機能
	外線発信特番		ロングフラッシュ特番
	LCR発信特番		ショートフラッシュ特番
	キャンセル特番		複数外線会議特番
	短縮番号発信特番		コールバック特番
	短縮番号登録特番（グループ無）		メッセージウェイト特番
	短縮番号登録特番（グループ有）		転送先変更特番
	ラストナンバリダイヤル特番		転送モード切り替え特番
	内線グループ代表特番		転送特番
	保留応答特番		ドント・ディスターブ特番
	グループ内代理応答特番		ミーティング・ミーティング特番
	グループ外代理応答特番		電話機パスワード登録特番
	個別代理応答特番		代行発信
	個別パーク保留応答特番		代行切断
	個別パークリモート応答特番		すべての外線グループに対応する応答特番

1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 ISDN

5 システムコントローラ

6 ご参考に

基本サービス

NTTのISDN回線「INSネット64」を収容すると、電話をかけるだけでなく、高精細なファックス通信、高速データ通信も行えます。また、かけてきた相手の電話番号や相手の名前を表示したり、サブアドレスと呼ばれる番号を付加してダイヤルすることによって内線を呼び出すなど、便利なサービスが利用できます。

その他にもNTTと契約すれば様々な付加サービスを利用することができます。

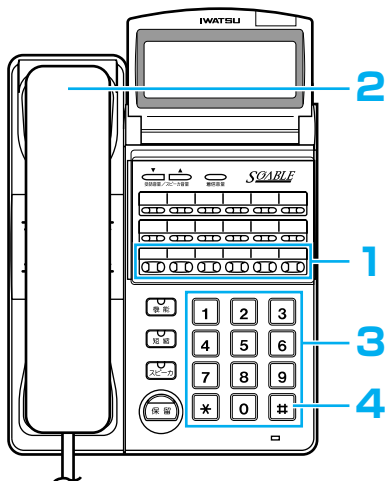
- ISDN回線の特長**：「INSネット64」回線は、2つの情報チャンネル（Bチャンネル）と1つの信号チャンネル（Dチャンネル）により構成されています。
INSネット64の1本の回線には2つの情報チャンネルがありますので、2つの外線を持つこととなります。
- 発信者番号通知**：「INSネット64」への着信の場合、かけてきた相手の電話番号が電話機に表示されます（ただし、相手から発信者番号が通知された場合のみです）。
発信者番号が通知された場合、発信者番号に対応した名称表示がデータ設定されていれば、その名称表示を行います。
また、本システムからかける場合、相手にこちらの電話番号を表示するかは工事段階で設定しますが、かける際の操作によって184（発信者番号非通知）、186（発信者番号通知）を相手電話番号の前につけることによって、その電話に限ってこれを切り替えることができます。
- サブアドレス通知**：「INSネット64」でかける際、サブアドレスと呼ばれる相手先の各端末に付けられた番号を付加してダイヤルすることで、内線を個別に呼び出すことができます。サブアドレスは、相手先電話番号をダイヤルしたあとに、「*」ボタンに続けてサブアドレスをダイヤルし、「#」ボタンを最後にダイヤルします。



Note

- 相手が一般回線でかけてきた場合の発信者番号表示は、NTTとの契約が必要になります。
- 相手先にISDN回線が収容されていない場合、サブアドレスによる個別呼び出しはできません。また相手が一般電話でかけてきた場合、サブアドレスによる本システムの内線を個別に呼び出すことはできません。

「INSネット64」で電話をかけるとき



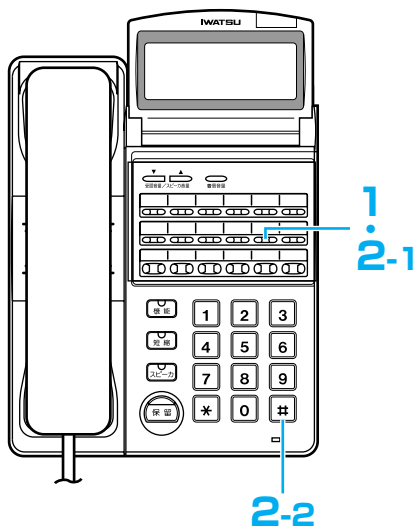
- ISDN回線が割り付けられている「外線」キーを押します。
緑色のランプが点滅します。
- 受話器を取り上げます。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
※手順(2) → (1)の順でもかかります。
- 相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイにダイヤル番号が表示されます。
- 「#」ボタンを押します。
- 相手とつながり、お話しができます。



Note

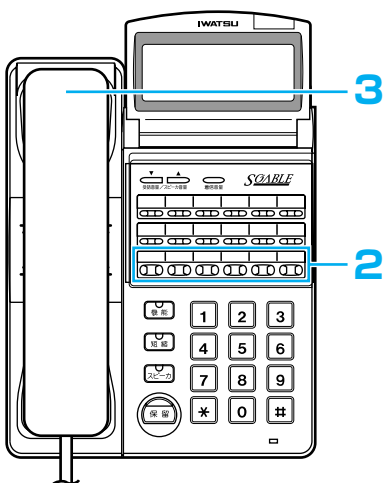
- 一般回線では、ダイヤルするごとにダイヤル信号を送出するのに対して、ISDN回線では「#」ボタンを押した時点でダイヤルをまとめて送ります。
- 「#」ボタンを押さなかったときは、約6秒後に自動的にそれまでのダイヤルが送出されます。
- 通話相手もISDN回線で、サブアドレスが設定されている電話にかけるときは、手順(3)のあとに、「*」ボタンとサブアドレスをダイヤルし、手順(4)を行ってください。「*」ボタンは、サブアドレスへの切り替えを意味します。

呼び返し発信



- 1 内線に接続し、「呼び返し」キーを押します。
記録された発信者番号をディスプレイで確認します。
- 2 「呼び返し」キー、「#」ボタンの順に押します。
相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。
- 3 相手が応答したら、お話しします。

「INSネット64」で電話を受けるとき



- 1 着信音が鳴り、相手の電話番号、または相手の名前がディスプレイに表示されます。
着信している「外線」キーのランプと、大型着信ランプが赤色に点滅します。
※着信音を止めている場合でも、「外線」キーのランプと大型着信ランプは点滅します。
- 2 赤色に点滅している「外線」キーを押します。
ランプが緑色に変わります。
- 3 受話器を取り上げます。
- 4 お話しします。

Note

発信者番号が通知された着信に応答することで、その通話を切ったときに自動的に発信者番号を記録します。

1
前に
ご利用
いただく2
多機能
電話機3
単独
電話機4
ISDN5
システム
コントローラ6
ご参考
に

ISDN機器の接続

「INSネット64」増設ユニットには、G4FAXやターミナルアダプタなどのISDN機器を接続することができます。

- ISDN機器の接続に関しては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

Note

- ISDN機器を使用している場合、多機能電話機の「外線」キーのランプは点灯しません。
- ISDN機器を使用しているときは、多機能電話機からその外線を使った発信ができないことがあります。

付加サービス

ISDN回線「INSネット64」を収容すると、基本サービス以外にも以下の付加サービスが利用できます。

- ダイヤルインサービス
- グローバル着信サービス
- INSフレックスホンサービス

INSフレックスホンサービスの契約をした場合、着信転送、通話中転送、三者通話の各サービスが利用できません（通話中転送には、三者通話の契約が必要です）。

- INSボイスワープサービス
- i・ナンバーサービス
- マジックボックス

※ これらの付加サービスを利用するには、各サービスごとにNTTとの契約が必要になります。

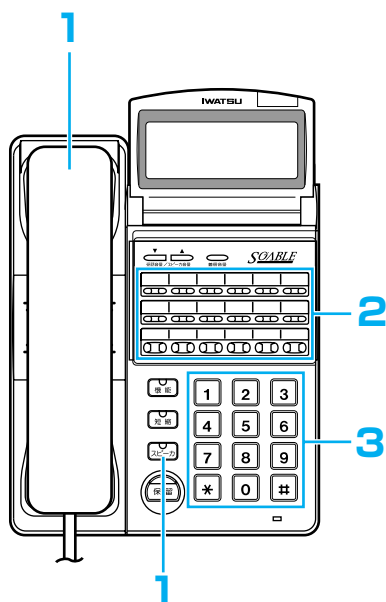
- **ダイヤルインサービス** : 契約電話番号とは別の電話番号（ダイヤルイン番号）を、使用できます。使用できる数は「INS64」で最大32個です。
ダイヤルイン番号へ電話がかかってきた場合、ダイヤルイン番号ごとにそれぞれ特定の電話機を呼び出すことができます。
- **グローバル着信サービス** : ダイヤルイン契約を行っておりグローバル着信を申し込んでいる場合、グローバル着信（着番号がない着信）があると、個別呼び出しするようにデータ設定した電話機を呼び出すことができます。
- **i・ナンバーサービス** : 契約電話番号（ポート1）とは別の電話番号（ポート2、ポート3）で特定の電話機を呼び出すことができます。
- **マジックボックス** : 「メッセージ録音」 + 「転送機能」 + 「キャッチホン機能」をまとめて利用できます。

Note

コールウェイトニング機能は、ご利用いただけません。

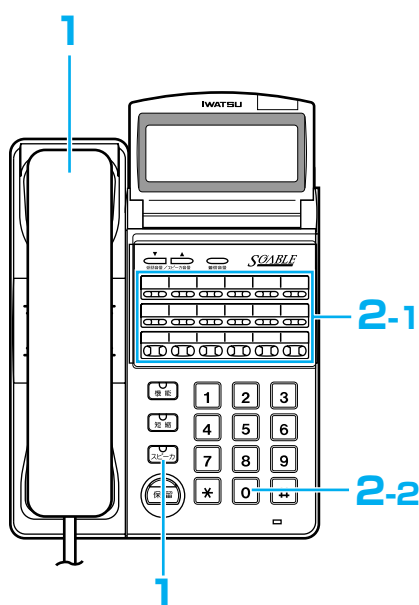
着信転送

転送先の電話番号をあらかじめ登録することにより、ダイヤルインでかかってきた着信に应答せずに転送先へ移すことができます。



着信転送動作を登録するとき

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「着信転送」キーを押します。
- 3 転送メッセージ登録番号（1～4）を押します。



着信転送動作を解除するとき

- 1 受話器を上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「着信転送」キーを押し、続けて「0」ボタンを押します。

Note

- フレックスホンサービスの着信転送サービスの場合、他の転送電話の場合と違い、転送先へは本システムからではなく、局から発信します。したがって、工事段階で転送電話の発信側に指定されている外線は、着信転送時の発信に使用されません。
- 転送先の番号は着信転送を登録した電話機の短縮98が使用されます。あらかじめ短縮98に転送先の電話番号を登録してください。
- 着信転送を登録した電話機へダイヤルインの設定を行ってください。
- 着信転送が登録されているときは「着信転送」キーが点灯します。
- 網が提供する転送メッセージには以下の種類があります。

登録番号	被転送先	転送先
1	メッセージなし	メッセージなし
2	メッセージあり	メッセージなし
3	メッセージなし	メッセージあり
4	メッセージあり	メッセージあり

1 ご利用いただく前に

2 多機能電話機

3 単独電話機

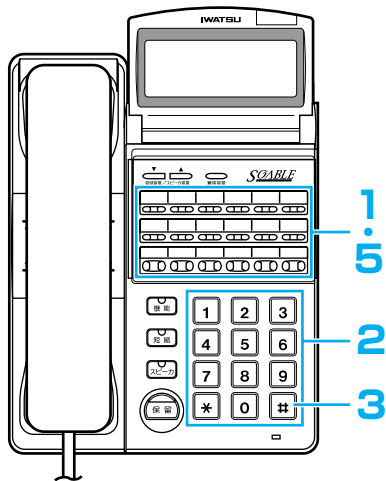
4 ISDN

5 システムコントローラ

6 ご参考に

通話中転送

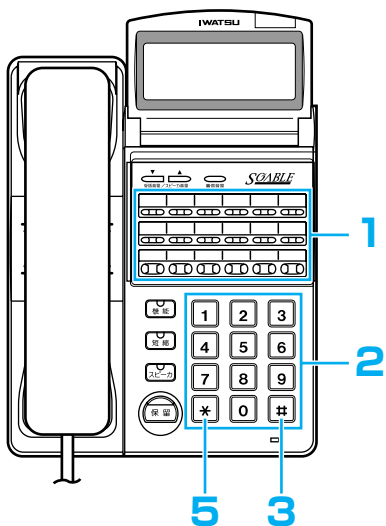
相手からかかってきた外線通話を、システム外の別の外線に転送できます。



- 1 外線と通話中に「ショートフラッシュ」キー（または「機能」ボタン+「1」「2」）を押します。
- 2 転送先の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイにダイヤル番号が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 相手がでたら転送することを伝えます。
※相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再度受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。
- 5 「通話中転送」キーを押します。
通話が転送されます。
- 6 受話器を戻します。

三者通話

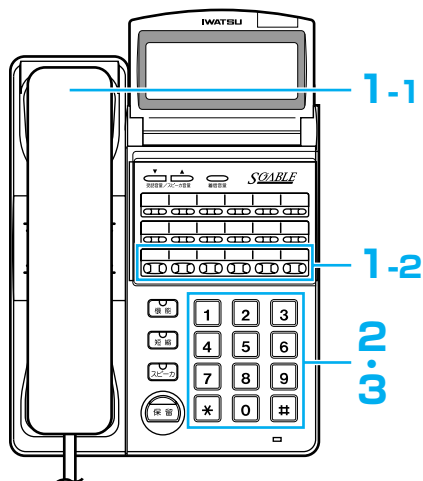
外線と通話中に、別の外線を呼び出して3人で通話できます。



- 1 外線と通話中に「ショートフラッシュ」キー（または「機能」ボタン+「1」「2」）を押します。
- 2 通話に加えたい相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイにダイヤル番号が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 相手がでたら3人で通話することを伝えます。
※相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再度受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。
- 5 「*」ボタンを押します。
3人で通話します。

INSボイスワープ

かかってきた電話を、あらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送するサービスです。
(詳しくは、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」を参照してください。)



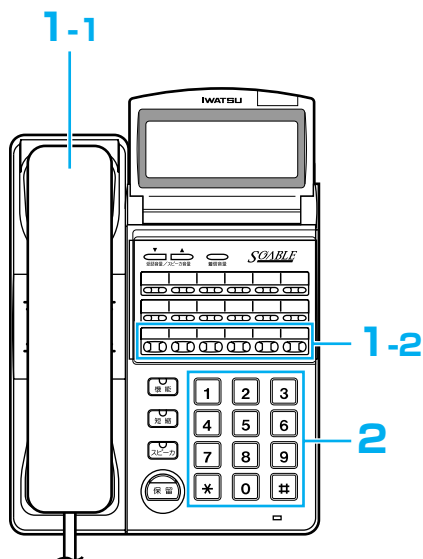
Note

転送方法を指定する番号と動作は、以下のとおりです。

- 「1」：無条件転送
- 「2」：無応答時転送
- 「3」：話中時転送
- 「4」：無応答時および話中時転送

INSボイスワープ開始操作

- 1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」キーを押します。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
- 2 「1」「4」「2」「1」をダイヤルします。
- 3 転送方法を指定する番号（「1」～「4」）と「#」ボタンを押します。
局からアナウンスが聞こえます。
- 4 受話器を置きます。



INSボイスワープ停止操作

- 1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」キーを押します。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
- 2 「1」「4」「2」「0」「#」をダイヤルします。
局からアナウンスが聞こえます。
- 3 受話器を置きます。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

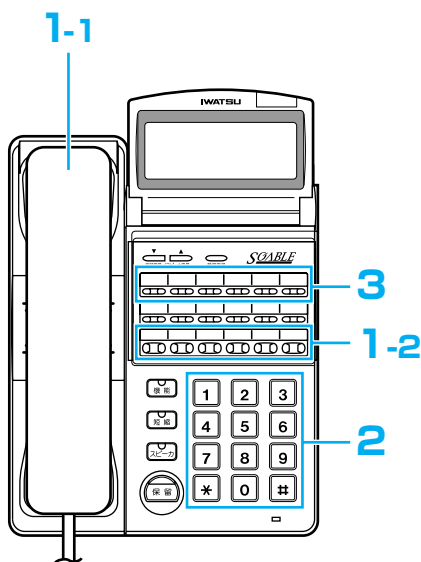
3
単独
電話機

4
ISDN

5
システム
コントローラ

6
ご参考
に

INSボイスワープ

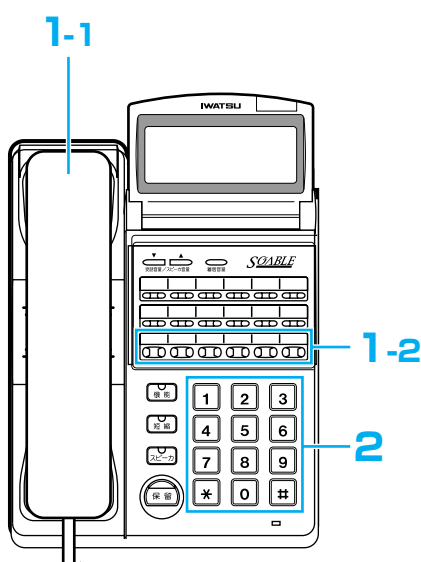


Note

- 本操作では局の転送先リスト「0」に登録されます。
- 転送先電話番号の登録方法は、短縮のほかに転送先電話番号を通話中ダイヤル操作でも行えます。この場合、アナウンスを聞いてから転送先電話番号をダイヤルし、最終ダイヤルから一定時間経過後に局へ転送先電話番号を通知します。

INSボイスワープ転送先電話番号の登録操作

- 1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」キーを押します。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
- 2 「1」「4」「2」「2」「#」をダイヤルします。
局からアナウンスが聞こえます。
- 3 転送先電話番号を登録してある短縮ダイヤルの「短縮」キーを押します。
局からアナウンスが聞こえます。
※短縮90に転送先電話番号を登録してあれば「短縮」「9」「0」ボタンを押してもできます。
- 4 受話器を置きます。



INSボイスワープ確認操作

- 1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」キーを押します。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
- 2 「1」「4」「2」「8」「#」をダイヤルします。
- 3 局から現在の設定内容がアナウンスされます。
- 4 受話器を置きます。

システムに関する概要

以下に出てくる機能は工事によって設定する必要があるものです。データ設定がされているかどうかはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

このシステムで使用できる回線

- NTT一般外線
- NTTダイヤルイン外線
- セントレックス回線（ビル電話）
- PBX内線
- LD/SR/IB専用線（オプション）
- 総合デジタル通話回線（ISDN）〔回線交換（基本）〕

システムのデータ設定に関して

- システムのデータ設定を多機能電話機から行うことができます。〈システムデータ設定〉

外線に関する機能

■ 市外発信クラス切り替え・市外発信規制

電話機ごとに外線発信できる範囲を、以下のように規制できます。

サービスクラス	規制内容
0	規制はありません。
1~4	指定外線に、あらかじめ設定された48桁以内の規制ダイヤルコードと一致する番号がダイヤルされた場合は、市外発信できます。
5	システム短縮ダイヤルのみで発信できます。
6	外線発信は全面的に禁止されます。ただし、外線着信には応答できます。
7	外線発信、外線着信ともに全面禁止です。ただし、鳴音指定されている外線の着信、および外線自動転送の着信には応答できます。



Note

電話機ごとに、市外発信クラスを1つまたは2つデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 外線グループ分け

部署ごとに発信できる外線を決められます。

- 最大10個に分けた外線グループの中から、使用できる外線グループを決めておくと、内線グループ（部署など）ごとの使用通話料が管理しやすくなります。



Note

あらかじめ電話機ごとの外線発信規制をデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1
前に
ご利用
いただく

2
多
機能
電話
機

3
単
独
電
話
機

4
I
S
D
N

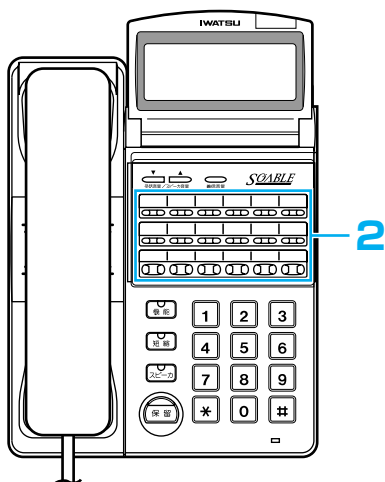
5
シ
ス
テ
ム
コ
ン
ト
ロ
ー
ラ

6
ご
参
考
に

システムにおける機能

■ 夜間切り替え・分散切り替え

- あらかじめデータ設定した時刻で着信音を鳴らす電話機、および外線応答規制を切り替えられます。
- 指定電話機で着信音を鳴らす電話機、および外線応答規制を手動で切り替えられます。



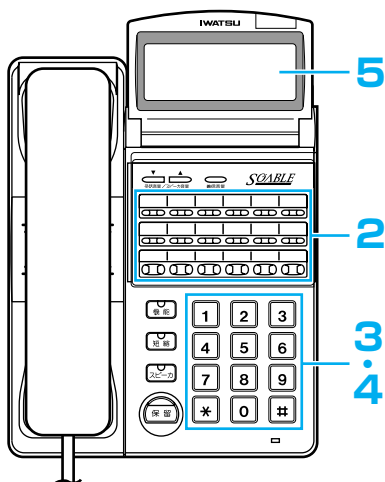
夜間切り替え方法

- 1 内線に接続します。
- 2 「夜間切り替え」キーを押します。
切り替えが完了すると、「ブップブツ」という確認音が聞こえます。



Note

- あらかじめ設定した時間により自動的に切り替えを行うことができます。
- 夜モードから昼モードへの切り替えはマニュアル操作でしかできません。
- 外線使用中にモードを変更すると、その外線が空になった時点で、新しい設定モードに切り替わります。



分散切り替え方法

- 1 内線に接続します。
- 2 「分散切り替え」キーを押します。
- 3 外線グループ番号をダイヤルします。
- 4 モード番号（1または2）に該当する数字ボタンを押します。
切り替えが完了すると、「ブップブツ」という確認音が聞こえます。
 - 昼モード→「1」ボタン
 - 夜モード→「2」ボタン
- 5 ディ스플레이にモードが表示されます。



Note

- あらかじめ昼モード、夜モードで着信音を鳴らす電話機を設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- システムが夜間切り替えでモードを切り替えられていても、分散切り替えを行うとサブシステム内の外線グループごとにモードを切り替えられます。
- 外線使用中にモードを変更すると、その外線が空になった時点で、新しい設定モードに切り替わります。

■ プライムステーション

鳴音電話機がない場合にも、外線着信に応答できます。鳴音電話機がない場合は、プライムステーションが鳴ります。
※プライムステーションについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 外線着信鳴音指定・外線代表着信・スライド着信

外線着信音を鳴らす電話機を指定できます。

● 外線着信鳴音指定

各外線ごとに、外線の着信を鳴らす電話機を指定できます。

Note

- 着信音を鳴らす電話機は、1つの外線に対して夜モード、昼モードの各モードで最大16台までです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- 鳴音する電話機は、外線代表着信やスライド着信が設定されているときでも鳴り続けます。

● 外線代表着信

内線グループ内の空いている電話機を選択して、外線の着信音を鳴らすことができます。

Note

- 着信鳴音設定されている電話機は、本機能に関係なく着信時に鳴ります。
- 着信音を鳴らす代表着信グループは、外線ごとの夜モード、昼モードの各モードで1つだけです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線代表着信指定されている同一グループの電話機でも鳴りません。
- 外線ごとに着信させる代表着信グループ番号を、あらかじめデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● スライド着信

指定した電話機が応答しない場合に、他の電話機に着信を回すことができます。外線着信鳴音指定した電話機が一定時間以上応答しない場合に、最大16台の電話機に着信を回すことができます。

Note

- スライド着信できるのは一般着信だけです。
- スライド着信を指定した電話機は、夜モード、昼モードともに共通です。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- スライドするまでの時間、およびスライド着信先の電話機を、あらかじめデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

システムにおける機能

外線応答規制

外線ごとに応答できる内線グループ（部署など）を指定できます。

- 内線グループ分け（テナント）することにより、電話機を以下のように指定できます。
 - ・外線ごとに自由に発着信できる電話機
 - ・着信が一部規制される電話機
 - ・着信が全面的に禁止される電話機
- グループ分け（テナント）したときの多機能電話機表示は、以下のようになります。

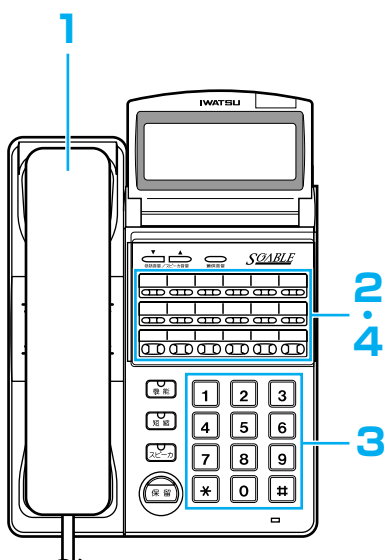
局線テナント種別	可視表示	
	テナント内多機能電話機	テナント外多機能電話機
テナントフリー	通常表示	通常表示
着信テナント	通常表示	着信はビジー表示
発着信テナント	通常表示	保留のみ表示
完全テナント	通常表示	表示なし

- グループ分け（テナント）の種別により、以下のように電話機のグループ間の発着信が規制されます。

	着信テナント	発着信テナント	完全テナント
着信応答	×	×	×
保留応答	○	○	×
キャンプオン応答	○	○	×
転送	○	○	×
秘話解除・応答	○	○	×
リコール応答	○	×	×
パーズイン	○	○	×
スライド着信応答	○	○	×

転送電話

かかってきた電話を外部にある電話機に転送できます。



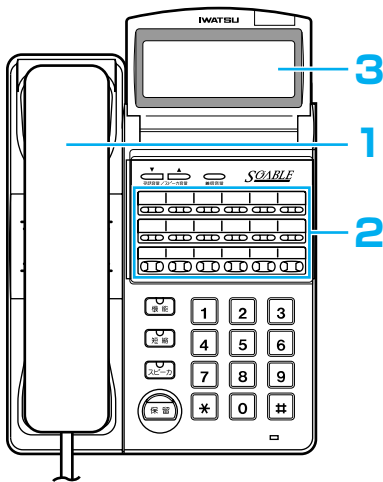
転送先の登録方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」キーを押します。
- 3 転送先の電話番号を48桁以内でダイヤルします。
 - ※短縮ダイヤルの場合は、「短縮」ボタンを押して、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。
 - ※相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する1～9の数字ボタンを押します。
- 4 「転送電話」キーを押します。

Note

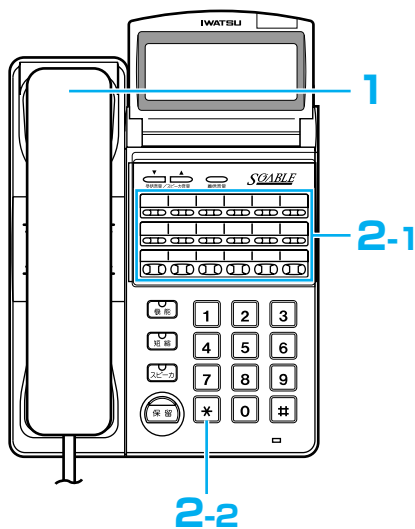
- 転送できる外線はISDN回線に限ります。
- 転送できる外線、転送電話のグループ、転送監視時間などは、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

転送先電話番号の確認方法



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」キーを押します。
- 3 転送先の電話番号がディスプレイに表示されます。

転送電話の取り消し方法



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」キーに続いて「*」ボタンを押します。

Note

- 転送先電話番号の確認は、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話の取り消しは、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話登録中は「転送電話」キーが赤色に点灯します。

■NTTダイヤルイン

NTTのダイヤルインサービスを利用できます。

- 呼び出す内線電話機、内線代表番号をあらかじめ指定します。

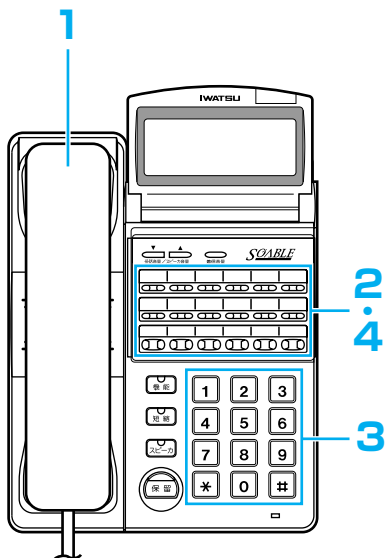
Note

NTTダイヤルインサービスへの加入が必要です。

システムにおける機能

■ 着番号毎転送

NTTのダイヤルインサービスを利用して、外部のある電話機に転送できます。



転送先の登録方法

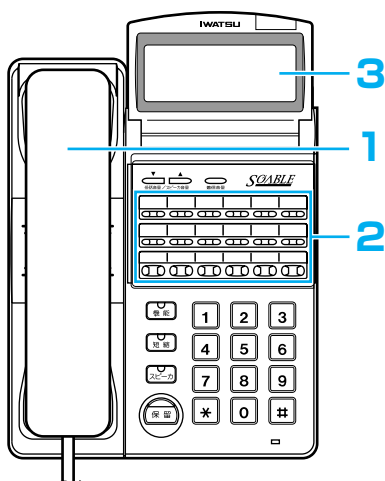
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「DIN転送」キーを押します。
- 3 転送先の電話番号を48桁以内でダイヤルします。
 ※ 短縮ダイヤルの場合は「短縮」ボタンを押して、続けて転送先の共通短縮番号をダイヤルします。
 ※ 相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する1～9の数字ボタンを押します。
- 4 「DIN転送」キーを押します。



Note

- 登録が完了した場合、確認音と「DIN転送」キーが赤色に点灯します。
- 以降かかってきた電話は転送されます。
- 転送できるためには、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- NTTダイヤルインサービスへの加入が必要です。

転送先電話番号の確認方法



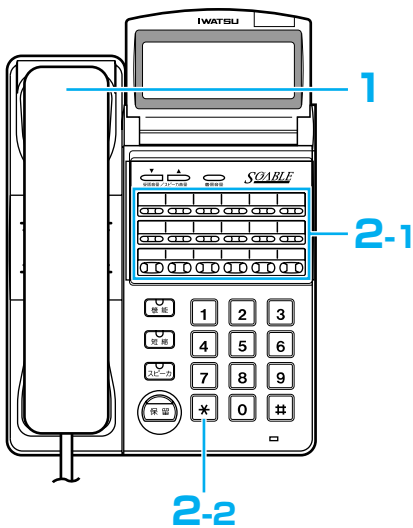
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「DIN転送」キーを押します。
- 3 転送先の電話番号がディスプレイに表示されます。



Note

上記操作以降に転送先電話番号を変更したい場合は、続けて「転送先の登録方法」3以降の操作で行えます。

転送先電話番号の取り消し方法



1 受話器を取り上げます。

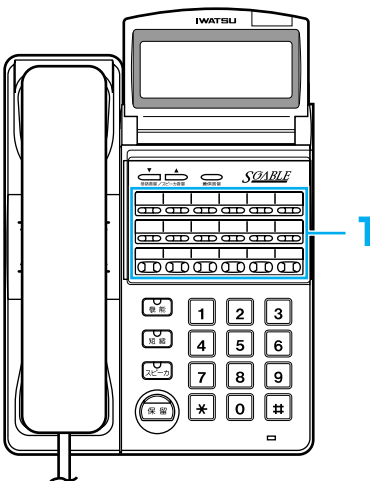
2 「DIN転送」キーに続いて「*」ボタンを押します。



Note

- 取り消しが完了した場合、確認音と「DIN転送」キーが消灯します。
- 取り消しが行えるのは、登録されている場合のみです。

転送の一時解除方法



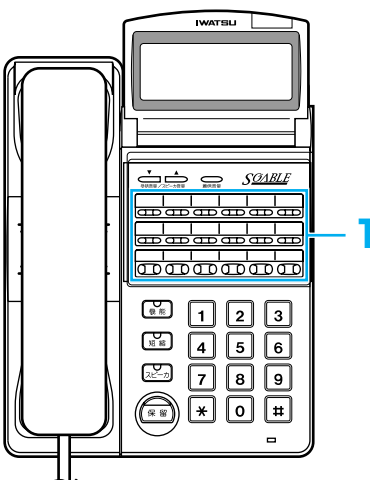
1 赤色点灯中の「DIN転送」キーを押します。



Note

- 一時解除が完了した場合、「DIN転送」キーが消灯します。
- 一時的に転送することをやめますので、以降かかってきた電話は転送されません。
- 一時解除が行えるのは、登録されている場合のみです。
- 外出先から帰ってきたときに便利です。

転送の開始方法



1 消灯中の「DIN転送」キーを押します。

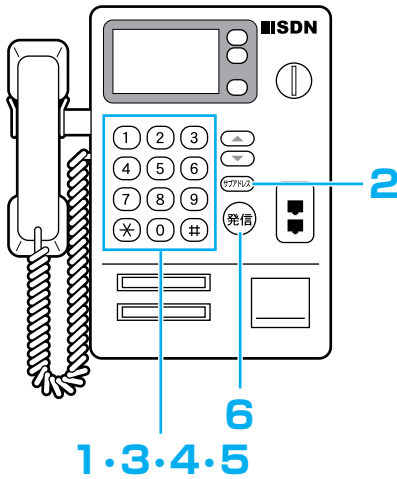


Note

- 転送開始が完了した場合、「DIN転送」キーが赤色に点灯します。
- 以降かかってきた電話は転送されます。
- 転送開始が行えるのは、登録されている場合のみです。
- 外出するときに便利です。

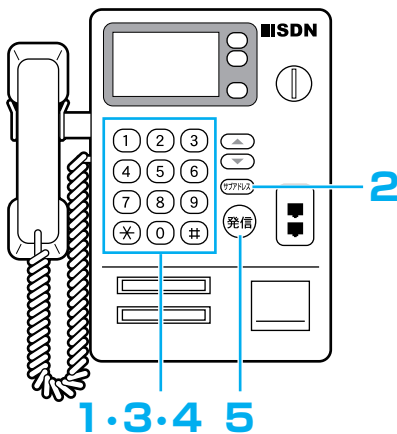
システムにおける機能

外出先から転送先変更・登録方法



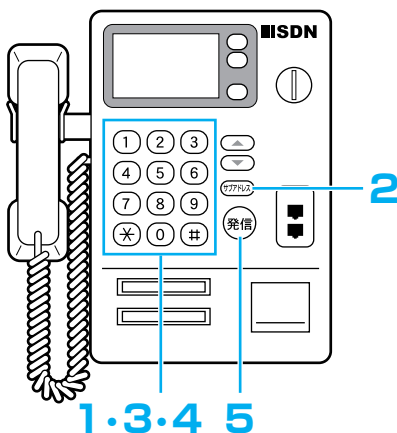
- 1 外出先のサブアドレス発信のできる電話機から転送登録されている電話番号をダイヤルします。
- 2 「サブアドレス」ボタンを押します。(電話機によって異なります)
- 3 リモート特番をダイヤルします。
- 4 「2」(登録種別=転送先変更・登録)をダイヤルします。
- 5 転送先の電話番号をダイヤルします。
- 6 「発信」ボタンを押します。(電話機によって異なります)

外出先から転送先の取り消し方法



- 1 外出先のサブアドレス発信のできる電話機から転送登録されている電話番号をダイヤルします。
- 2 「サブアドレス」ボタンを押します。(電話機によって異なります)
- 3 リモート特番をダイヤルします。
- 4 「3」(登録種別=転送取り消し)をダイヤルします。
- 5 「発信」ボタンを押します。(電話機によって異なります)

外出先からの転送の一時解除方法



- 1 外出先のサブアドレス発信のできる電話機から転送登録されている電話番号をダイヤルします。
- 2 「サブアドレス」ボタンを押します。(電話機によって異なります)
- 3 リモート特番をダイヤルします。

4 「0」（登録種別＝転送一時解除）をダイヤルします。

5 「発信」ボタンを押します。（電話機によって異なります）

外出先から転送の開始方法

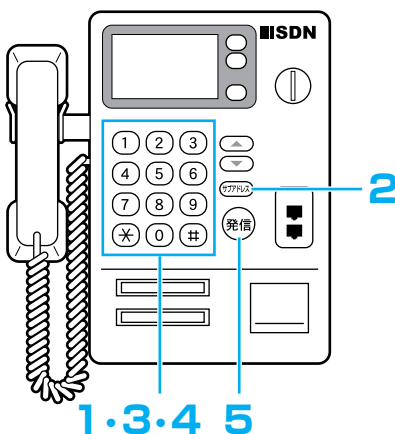
1 外出先のサブアドレス発信のできる電話機から転送登録されている電話番号をダイヤルします。

2 「サブアドレス」ボタンを押します。（電話機によって異なります）

3 リモート特番をダイヤルします。

4 「1」（登録種別＝転送開始）をダイヤルします。

5 「発信」ボタンを押します。（電話機によって異なります）



Note

- 操作が正常に完了した場合、呼出音となります。またできなかった場合は話中音となります。
- この操作はISDN回線に限り行えて、携帯電話等からは行えません。
- 登録操作するためには、あらかじめデータ設定（リモート特番等）が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

i・ナンバー

NTTのi・ナンバーサービスを利用できます。

- 呼び出す内線電話機、内線代表番号をあらかじめ指定します。

Note

- i・ナンバーサービスへの加入が必要です。
- 呼び出す電話機は、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

固定不在転送

- あらかじめ登録している電話機に、着信を自動的に転送できます。

Note

- 転送先の電話機を、あらかじめデータ設定する必要があります。
- 不在転送、話中／未応答転送、未応答転送の3種類の転送モードがあります。あらかじめデータ設定をする必要があります。

システムにおける機能

内線に関する機能

フレキシブルナンバリングプラン

内線電話番号、機能特番を決められます。

- 内線番号（1～4桁）を決められます。
お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線テナント

各電話機を内線グループに分けられます。内線テナントグループに分けられた電話機は、同一グループ間での電話機との通話は可能ですが、他グループの電話機との通話はできません。

- 最大32個の独立した内線テナントグループに分けられます。
- 内線テナント番号「0」に設定された電話機では、すべての内線と通話が可能になります。

内線通話規制

内線の通話を規制できます。

- 電話機によって、内線相互の通話、ホットライン、不在転送、話中転送、未応答転送を規制できます。ただし、規制されていない電話機とは通話できます。



Note

- 内線通話規制されている電話機間で通話したい場合は、内線通話規制されていない電話機による自動転送、会議通話、その他内線キャンブオン、不在転送、話中転送、未応答転送などで通話することができます。
- 内線通話規制する電話機は、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

通話料金に関する機能

通話明細プリントアウト

オプション

電話機ごとに通話明細をプリンタで印刷できます。

- 通話の通し番号、日付、内線電話機番号、通話開始時刻、使用外線番号、通話時間、発信ダイヤル、通話料金などの明細をプリンタに出力して印刷できます。



Note

- 通話明細の連続番号は001～999の繰り返しです。
- 日付が変わると改ページされます。
- 通話明細プリントアウトの指定、出力条件は、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求め販売店にお問い合わせください。

課金装置接続

オプション

通話明細データを解析し、課金管理を行えます。

- TFX [岩通製] を接続して通話明細データを出力できます。



Note

- 接続できる課金装置は1台のみです。
- 通話明細データの出力先は、あらかじめデータ設定する必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

予算オーバー発信規制

あらかじめ設定したグループ予算額を超えたとき、その内線グループの発信を規制できます。対象とする電話機をデータ設定することで規制できます。

専用線に関する機能

対磁石専用線アダプタ方式

オプション

専用線の相手が対磁レピータ、または磁石式電話機の場合にも対応します。

●対磁石専用線アダプタを取り付けることにより、通常の外線と同様に扱うことができます。

Note

あらかじめ対磁石アダプタの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

TLAD接続

オプション

アナログの局線インタフェースで専用線を収容できます。

Note

使用できる機能は、内線個別呼び出し、内線代表呼び出し、ページング呼び出しです。

その他の機能に関して

着信鳴音優先順位

呼び出し機能には以下のような優先順位が定められています。ただし、同じ呼び出しが同時に入っている場合は、着信順となります。

優先順位	呼び出し状態	優先順位	呼び出し状態
0	優先内線着信（音声）	9	外線着信
1	優先内線着信（トーン）	10	内線リコール
2	内線音声呼び出し	11	内線コールバック
3	タイムコール	12	内線キャンプオン
4	転送保留コール	13	内線トーン
5	外線リコール	14	ドアホン
6	外線コールバック	15	ページング
7	外線着信アラーム	16	BGM
8	外線キャンプオン		

Note

強制呼び出しができる内線電話機の呼び出しを最優先します。

システムにおける機能

内部保留音

外線、内線、専用線の通話を保留すると、相手に保留音を流すことができます。複数の保留音からいずれか1つを選択できます。

保留音は、指定電話機から変更することができます。(64ページ)

Note

保留音はデータ設定によっても選択できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

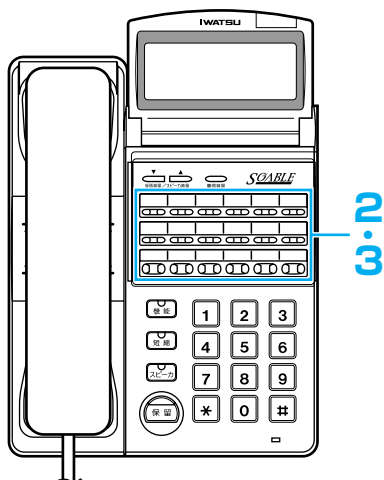
外部保留音

外線、内線、専用線の通話を保留すると、相手に外部に接続した音源の保留音を流すことができます。

BGM

空いている多機能電話機のスピーカ、外部スピーカから音楽を聞けます。

多機能電話機のスピーカの場合



- 1 電話機が空いていることを確認します。
- 2 「BGM」キー（または「機能」ボタン+「6」「2」）を押すと、BGMが聞けます。
- 3 そのままの状態再度「BGM」キー（または「機能」ボタン+「0」「6」「2」）を押すと、BGMが止まります。

外部スピーカで音楽を流す場合

- BGMアンプが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ハウラ音送出

受話器が外れたままのとき、「キーン」という音を鳴らして受話器の戻し忘れを防止します。

Note

警告音が約30秒鳴っても受話器が置かれない場合は、警告音が止まりますので受話器を戻してお使いください。

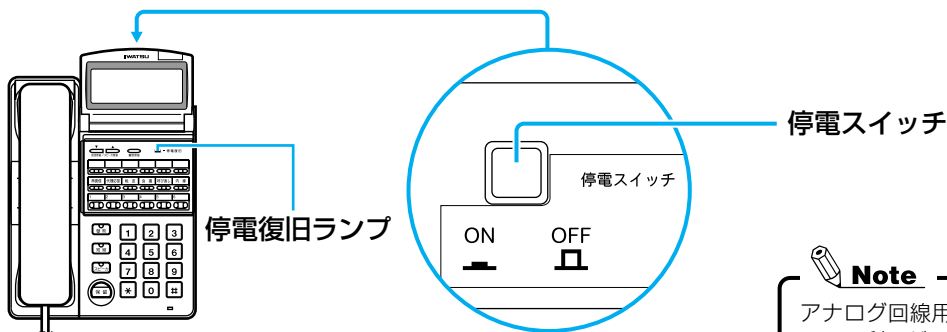
停電のとき

このシステムは、オプションバッテリーを実装すると、停電しても正常に動作します。バッテリーの容量がなくなったあとは、停電電話機から外へ電話をかけたり受けたりすることができます。

アナログ回線用

オプション

- 停電したときは、停電電話機から外線発信、着信応答ができます。
- 停電になったら、停電電話機の停電スイッチを押してください。
 - ・ 外線発信
受話器を取り上げて、ダイヤルします。
 - ・ 着信応答
「ブルルルブルルルル」という着信音が鳴ったら、受話器を取り上げてお話しします。
- 停電が復旧したときは、必ず停電スイッチをもとの位置に戻しておいてください（停電スイッチが押されている間に停電が復旧すると、停電復旧ランプが点灯します。このランプが点灯したら停電スイッチを戻してください）。



アナログ回線用停電電話機（正面）

（背面）

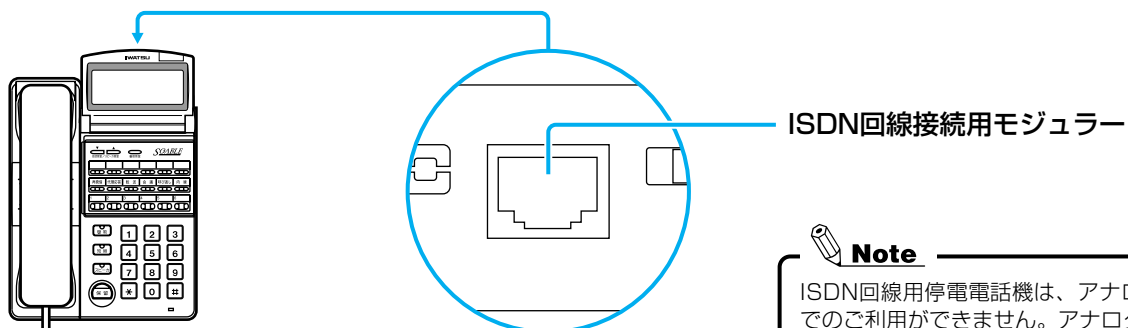
Note

アナログ回線用停電電話機は、ISDN回線でのご利用ができません。ISDN回線には、ISDN回線用停電電話機をご利用ください。

ISDN回線用

オプション

- 停電したときは、自動的に停電電話機に切り替わります（通話中に停電した場合は、そのままではお使いになれませんのでご注意ください。ご使用になるためにはオンフック操作が必要となります）。また、通話は強制的に切断されます。
 - ・ 外線発信
受話器を取り上げて、ダイヤルトーンを確認してからダイヤルします。サブアドレスを付加する場合は相手先番号のあとに「*」をダイヤルし、続いてサブアドレスをダイヤルします。サブアドレスは最大19桁まで入力可能です。ダイヤルの最後に「#」を押すと発信が速くなります。
 - ・ 着信応答
「ピリピリピリ」という着信音が鳴ったら、受話器を取り上げてお話しします。
サブアドレス指定の着信には対応していません。
- 停電から復旧したときは自動的に通常の電話機に切り替わります。通話中に停電が復旧した場合には、通話は強制的に切断されます。また、システムが立ち上がった後、しばらくの間通話ができないことがありますので、ご注意ください。



ISDN回線用停電電話機（正面）

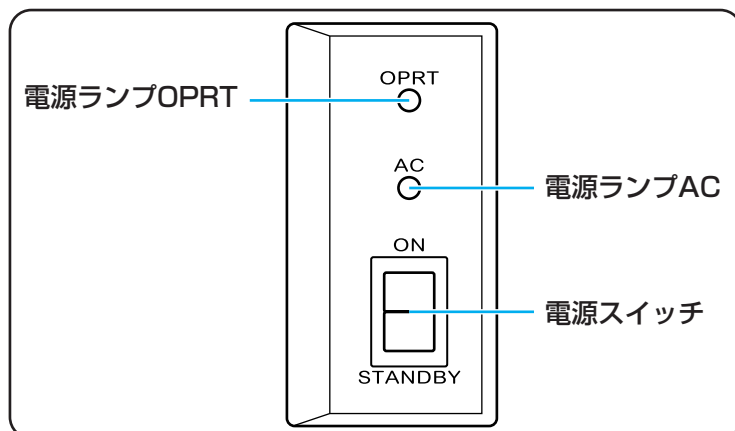
（背面）

Note

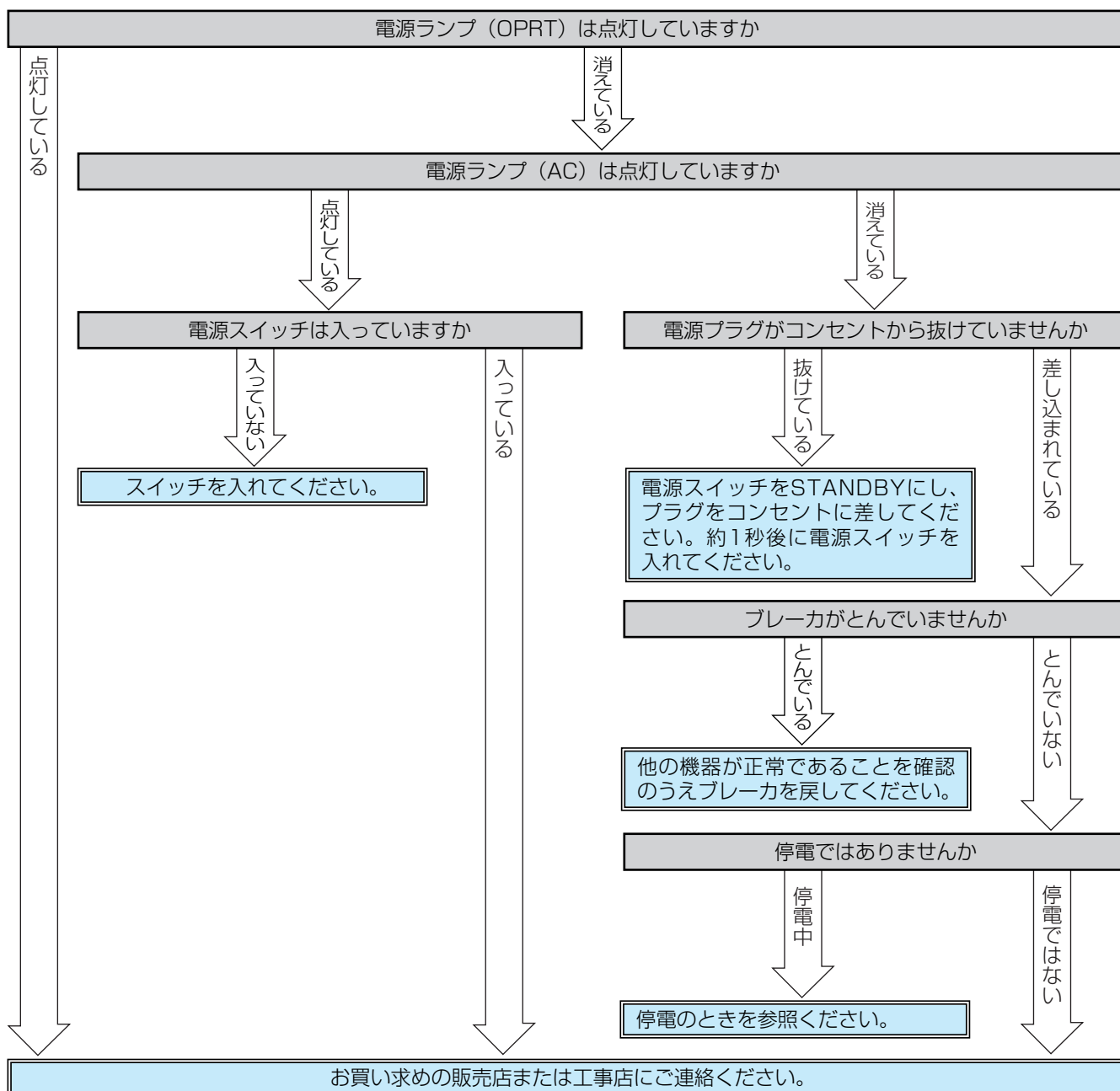
ISDN回線用停電電話機は、アナログ回線でのご利用ができません。アナログ回線には、アナログ回線用停電電話機をご利用ください。

故障！とお考えになる前に

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下の手順にしたがって主装置を点検してください。



主装置の正面



アフターサービスについて

● この商品には保証書があります。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

なお、以下の記載内容についてご確認ください。

- 設置されている電話機の台数が記載されていること
- お買い求めの日が記載されていること
- お客様のご住所とお名前が記載されていること
- 販売店の住所と名前が記載されていること

● 保証期間はご購入の日から1年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

● アフターサービスはご購入の販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてご購入の販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

● 保証期間経過後の修理はご購入の販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

- 補修用部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご購入の販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。
- 電子情報の消去について
お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについてご不明な点はお買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

またはお近くの岩崎通信機営業所にご連絡ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

使い方などご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

〈お客様相談センタ：☎0120-186102〉

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

情報通信事業本部 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41

TML098251